

令和7年度 第1回 ふるさと向日市創生計画委員会

日時：令和7年10月29日（水）午前10時

場所：永守重信市民会館1階 第1会議室

次 第

1 開 会

2 議 題

- ・第2次ふるさと向日市創生計画 令和6年度進捗状況等について
- ・第3次ふるさと向日市創生計画 改訂（令和8年度版）等について
- ・デジタル田園都市国家構想交付金事業、新しい地方経済・生活環境創生交付金事業について

3 その他

4 閉 会

<配布資料>

- 資料1 第2次ふるさと向日市創生計画の進捗状況等について
- 資料2 第2次ふるさと向日市創生計画 令和6年度進捗状況等一覧
- 資料3 第3次ふるさと向日市創生計画 改訂（令和8年度版）案
- 資料4 第3次ふるさと向日市創生計画 令和8年度版見直し箇所一覧
- 資料5 第3次ふるさと向日市創生計画 令和7年度進捗見通し一覧
- 資料6 令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金事業、
令和7年度新しい地方経済・生活環境創生交付金事業について

第2次ふるさと向日市創生計画の進捗状況等について

資料1

第2次ふるさと向日市創生計画の令和6年度進捗状況等について報告します。

取組及び目標の進捗状況

区分	進捗状況	取組件数	取組及び目標	資料ページ
済	完了	18	・国登録有形文化財旧上田家住宅の整備	※
			・農商工の連携による特産品の開発への支援 …特産品の開発	5
			・ゾーン30区域の拡大	6
			・病児病後児保育所の開設 …病児病後児保育所数	9
			・市役所新庁舎のゼロエネルギービルディングによる整備 …市役所新庁舎の省エネルギー化	15
			・市役所資源ごみ終日回収ステーションの拡充	16
			・災害備蓄物資の分散配備 …配備箇所数	18
			・浸水対策下水道雨水幹線等の整備の促進 …和井川1号幹線の整備完了	※
			・小型電波発信機やスマートフォンの位置情報機能など、IoT技術を活用した見守りネットワークの構築	19
			・通学路や地下道、幹線道路、公園、分別収集ステーションなどへの防犯カメラ整備促進 …防犯カメラ稼働台数 …自治会等への防犯カメラ整備補助による稼働台数	19
			・向日消防署新庁舎整備	20
			・水道料金の見直し	21
			・トイレ改修の計画的な推進	27
			・コミュニティスクールの導入	29
			・公共施設における貸館サービスの充実 …貸館施設予約・決済システムサービスの実施	32
			・市役所新庁舎の整備	38
			・住民票交付場所の拡大と公金納付の利便性向	※

			<u>上</u> …住民票の交付機及び公金収納機設置 • <u>公金納付の利便性向上</u> …市役所窓口でのクレジットカード・電子マネーによるキャッシュレス決済の実施	38
S	計画以上に進んでいる	7	• <u>国登録有形文化財旧上田家住宅の活用</u> …旧上田家住宅来訪者数 • <u>創業希望者へのきめ細かな支援</u> …創業件数 • <u>特定保健指導の実施</u> …実施率（向日市国民健康保険実施分） • <u>生活支援コーディネーターと協議体の設置による生活支援体制づくり</u> …住民主体で介護予防に資する取組を実施する集いの場の数 • <u>地域での生活を支援する福祉サービスの充実</u> …就労移行支援事業の利用者数 • <u>地域共生社会実現サポート事業の推進</u> …実施事業所数 • <u>家庭ごみの発生抑制及び事業系ごみの排出抑制</u> …ごみ排出量	1 4 10 12 13 14 16
A	計画どおり進んでいる	8 7	済、S、B、Cの項目以外全て	—
B	計画より遅れている	2 3	• <u>史跡長岡宮跡や史跡乙訓古墳群の整備</u> …朝堂院公園来訪者数 • <u>向日市観光交流センターにおける観光誘客のための事業の実施</u> …向日市観光交流センター来館者数 • <u>土産等特産品の開発・認定</u> …開発・認定件数 • <u>観光入込客数</u> • <u>観光消費額</u> • <u>地元農産物の販路拡大と地産地消の促進</u> …向日市観光交流センターにおける地元農産物の販売促進 • <u>都市計画道路及び幹線市道の整備</u> …整備路線	1 2 2 2 5 6

		・<u>交通安全対策の一層の推進</u> …通学路	6
		・<u>地籍調査の推進</u> …地籍整備率	7
		・<u>名神高速道路スマートインターチェンジ開設事業の推進</u>	7
		・<u>特定健診の受診率向上</u> …受診率（向日市国民健康保険実施分）	10
		・<u>長寿健康診査の受診結果を活用した介護予防</u> …長寿健康診査受診率	10
		・<u>がん検診の受診勧奨、がん予防の啓発</u> …大腸がん検診受診率 …乳がん検診受診率	11
		・<u>防災マップの周知</u> …防災出前講座・出前授業の実施回数・参加人数	17
		・<u>小中の接続を重視した外国語教育の実施</u> …英語が好きな子どもの割合	22
		・<u>ふるさと向日市への愛着と誇りをはぐくむ「ふるさと学習」の充実</u> …今住んでいる地域の自然や歴史について関心がある子どもの割合	23
		・<u>読書活動を通じた創造力・表現力等の育成</u> …読書が好きな子どもの割合	24
		・<u>不登校の子どもへのきめ細やかな支援の充実</u> …不登校の児童生徒の割合	25
		・<u>体力・運動能力の向上</u> …新体力テストにおける全種別において、全国の平均を上回る	26
		・<u>文化芸術資源を活かした市民と来訪者の交流の創出</u> …文化資料館入館者数	32
		・<u>防災拠点としての機能を備えた多目的グラウンドの整備検討</u>	33
		・<u>地域コミュニティの活性化</u> …自治会加入率	34
		・<u>市民活動活性化のための情報交換ネットワークの構築</u>	34

			…交流・連携を主とした情報交換を行う団体 数	
C	未着手	0		
計		1 3 5		

注) ※は、令和3年度～令和5年度改訂時に改訂された「取組及び目標」のため、R6実績調書には記載されていない。

施策の柱Ⅰ 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり		資料 2			
施策分野1 歴史あふれるまちづくりの推進					
施策1 歴史・文化資源の整備と活用					
基本方向					
○史跡長岡宮跡や史跡乙訓古墳群等市内に所在する文化財の保護及び積極的な整備・活用に努め、歴史・文化資源を活かしたまちづくりを推進し、未来に継承します。					
取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課		
史跡長岡宮跡や史跡乙訓古墳群の整備 … <u>朝堂院公園来訪者数</u> 【H30： 8,455人 →R6：10,000人】	【史跡長岡宮跡】 ・「大極殿東面回廊地区」は令和5年度の整備実施設計に引き続き、保全整備工事を実施した。 ・朝堂院公園来訪者は前年度とほぼ同じである。 <u>令和6年度 6,118人(令和7年3月31日現在)</u> ※参考：令和5年度 6,106人 【史跡乙訓古墳群】 ・史跡乙訓古墳群の樹木や竹の伐採、除草、清掃等の維持管理を実施した。 ・史跡乙訓古墳群寺戸大塚古墳の規模と性格を把握するため、埋蔵文化財発掘調査を実施した。 寺戸大塚古墳前方部東側の墳丘裾位置と外表施設(葺石、埴輪列等)の状況が明らかになる等、大きな成果が得られたため、令和7年3月22日に現地説明会を実施した。参加人数：150人	B	文教課		
国登録有形文化財旧上田家住宅の活用 … <u>旧上田家住宅来訪者数</u> 【R6：6,000人】	【国登録有形文化財旧上田家住宅】 <u>旧上田家住宅来訪者 令和6年度 9,020人</u> <u>同上貸室利用者 令和6年度 152組3,954人</u> 目標値である来訪者数6,000人を大きく上回る9,020人の実績となっている。	S	文化推進課		
進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手					

第2次ふるさと向日市創生計画 令和6年度 進捗状況等一覧

施策の柱Ⅰ 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

施策分野1 歴史あふれるまちづくりの推進

施策2 観光振興の推進

基本方向

○「観る・食べる・買う」を充実させるとともに、国内外から積極的に観光客を誘致し地域経済の活性化を図るため、ハード・ソフト両面での総合的、多角的な観光施策を推進します。

取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課
向日市観光交流センターにおける観光誘客のための事業の実施 …来館者数 【H30: ー → R6:92,000人】 …向日市観光人材育成プログラム受講者数 【R1:26人 → R6:200人(R1～6累計)】	R6来館者数(1～12):73,253人(R5来館者数(1～12):88,610人) ＜指定管理者実施事業＞ まちてらすマルシェ、乙訓メロン予約販売、4周年イベント等を実施した。 か →令和7年4月から新指定管理者に交代。(指定管理期間:令和7年4月1日～令和12年3月31日) ＜観光人材育成プログラム＞ 新型コロナウイルス感染症の影響により中断した事業の再構築について検討を行った。	B	産業振興課
「竹の径」来訪者のための憩いの空間整備	市が誇る観光資源として、竹の径の景観をさらに向上させるため、竹垣を整備した。	A	産業振興課
土産等特産品の開発・認定 …開発・認定件数 【H30:7件(H27～30累計) → R6:30件(H27～R6累計)】	開発・認定延件数:8件／目標30件(H27～R6累計) これまで開発した商品向日市観光交流センター等で販売することで、土産品を通じた市の魅力の更なる発信と拡散を図り、「ツーリズムEXPO2024」など観光プロモーションの機会において、土産等特産品のPRを行った。 また、市のPRに寄与する既存商品を土産物認定するための事業スキームについて、検討を行った。	B	産業振興課
ホテル等の複合型宿泊施設の誘致事業の推進	複合型宿泊施設の誘致に向けて、土地区画整理事業の支援を行い、区画整理組合において造成工事が推進された。	A	産業振興課 まちづくり推進課
観光入込客数 【H30:510,000人 → R6:765,000人】	R6(1～12):319,469人 R5年比 8,847人減少 コロナ禍後、秋の「竹の径・かぐやのタベ」開催等による復調傾向はあるものの、市の一大イベントであった向日市まつりの中止により、コロナ禍以前と比較すると減少している。向日市観光交流センターの来館者数も前年度を下回ったため、前年比では数が下回る結果となった。 ※参考R5(1～12):328,316人	B	産業振興課
観光消費額 【H30:150,000千円 → R6:338,000千円】	R6(1～12):34,706千円 R5年比 15,952千円減少 コロナ禍後、秋の「竹の径・かぐやのタベ」開催等による復調傾向はあるものの、市の一大イベントであった向日市まつりの中止により、コロナ禍以前と比較すると減少している。向日市観光交流センターの来館者数も前年度を下回り、連動して消費額も下振れし、前年比では数が下回る結果となった。 ※参考R5(1～12):50,658千円	B	産業振興課

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

第2次ふるさと向日市創生計画 令和6年度 進捗状況等一覧

施策の柱Ⅰ 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

施策分野1 歴史あふれるまちづくりの推進

施策3 まちの魅力の戦略的発信

基本方向

○ふるさと向日市に対する理解と愛着を深められるよう、まちの魅力を様々なツールを有効に活用し、戦略的に発信します。

取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課
SNS（LINE@、Facebook等）による情報発信力の強化 … <u>LINE@及びFacebookに対する満足度(アンケート結果)</u> 【LINE@ R1:2.92 → R6:3.40 Facebook R1:2.91 → R6:3.40】	向日市公式LINEを通して、イベント情報・行政情報の配信を積極的に行ったほか、防災メールと連携し市公式LINEにおいても緊急情報を配信した。また、市民の方々がLINEから、欲しい情報にすぐたどり着けるようリッチメニューの更新を随時行ったほか、昨年度に引き続き、リサーチ機能を活用し、「上植野浄水場配水塔の愛称募集」や「京都アリーナ（仮称）」に係るアンケート調査を実施し、幅広く意見収集を行った。 お友だち登録者数 17,771人（R7.3.31現在） 参考：17,056人（R6.3.31現在） 情報発信回数 平均16.8回／月（R7.3.31現在） <u>LINEによる情報発信に対する満足度 R6：3.04、Facebook・Instagrmlによる情報発信に対する満足度R6：2.92</u>	A	企画広報課
「向日市いいとこPR隊たけのこりん」による情報発信の充実 … <u>たけのこりんのイベント等への登場回数</u> 【H30：－ → R6:50回】	昨年度に引き続き、さまざまなイベントにおいて積極的に着ぐるみの活用を行うとともに、定期的に広報誌の表紙等にも掲載することで、市民の方への認知度向上にも努めた。また、市外に向けても、着ぐるみの認知度向上を図るため、他市のゆるキャラと触れ合う様子を市公式SNSで配信するなど積極的にPRを行った。さらに、身近なキャラクターとして認識いただけるよう各SNSのアイコンを「たけのこりん」に変更した。 <u>R7.3月末時点でのイベント等登場回数:45回</u> <u>R6.4号～R7.3号広報誌 掲載数:25回</u>	A	企画広報課
本市に対する市民の定住意向の割合 【R1:76.7% → R6:80%以上】	市公式ホームページを全面リニューアルし、デザインをよりシンプルなものへと変更し、掲載情報を精査することで、幅広い世代の方が使いやすく見やすいホームページになるよう努めた。また、広報誌の裏表紙では、向日市に関わるさまざまなトピックスを取り上げ、1年を通してシリーズ特集として掲載しており、令和6年度は「わたしのまちの公園」を題し、幅広い年代に向けて市内にある公園を写真つきで紹介し本市のイメージの向上を図り、子育て世代を中心に市民の定住意向の促進に努めた。 <u>市民の定住意向の割合 R6:80.4%</u>	A	企画広報課

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

第2次ふるさと向日市創生計画 令和6年度 進捗状況等一覧

施策の柱Ⅰ 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

施策分野2 産業の活性化

施策1 商工業の活性化

基本方向

○歴史を活かしたまちづくりの施策と連携しながら、向日市商工会や金融機関とともに、商工業者の育成や経営安定を支援する取組を推進し、市内商工業の振興、にぎわいの創出を図ります。

取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課
顧客に愛される魅力的な店づくりへの経営支援 …<u>経営指導数</u> 【H30:1,400件 → R6:H30実績比10%増】	向日市商工会経営支援員による事業者への訪問や窓口での相談を実施した。 <u>経営指導数 R6実績数 :2,021件(R5実績数 :2,168件、R4実績数:2,317件)</u> 市内の小規模事業者が、持ち味を活かした経営が出来るよう、向日市商工会が行う経営改善普及事業に対して助成を行った。 ①市内小規模事業者の経営(事業)計画書作成支援(作成件数 R5:84件→R6:39件) ②経営力向上や事業分野ニーズに応じたセミナー・講習会の開催数(R5:16回→R6:16回) ③事業所に対する各種補助金・計画認定申請の支援(採択件数 R5:74件→R6:34件)	A	産業振興課
創業希望者へのきめ細かな支援 …<u>創業件数</u> 【H30:3件 → R6:35件(R2～6累計)】	創業者に対する補助金の交付と、専門家の経営指導による創業支援を行った結果、以下の創業件数につながった。 <u>R6新規創業:7件(R5:13件、R4:9件、R3:10件、R2:4件)⇒R2～R6累計:43件</u>	S	産業振興課

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

第2次ふるさと向日市創生計画 令和6年度 進捗状況等一覧

施策の柱Ⅰ 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり				
施策分野2 産業の活性化				
施策2 農業の活性化				
基本方向				
○新鮮で安心・安全な農産物を提供するために地産地消を推進するとともに、担い手の育成や新たなブランド農産品の開発支援、農業資源を活用した農商工の連携を推進し、やりがいのある農業経営を支援します。				
取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課	
地元農産物の販路拡大と地産地消の促進 … <u>向日市観光交流センターにおける地元農産物の販売促進</u> 【R3:売上額 約960万円 → R6:R3実績比 10%増】	地元農産物の販売促進及び地産地消を推進するため、向日市観光交流センターに常設の農産物販売所の充実を図った。 売上額は、天候不良などにより野菜の生育に大きな影響(品薄)があり、約700万円となった。 <u>売上額 R6:約700万円(R5:約670万円) (R3実績比:30%減)</u>	B	産業振興課	
耕作放棄地の防止施策や放置竹林対策の実施 … <u>市民ボランティアによる竹林保全</u> 【H30:未実施 → R6:2箇所】	令和2年10月に発足した向日市竹林ボランティアにより、 <u>市が整備した適正管理モデル竹林2カ所</u> に加え、寺戸大塚古墳付近の竹林について、引き続き適正な整備に取り組んだ。 また、令和7年1月に農業委員会において、竹やぶの利用状況調査を行い、放置竹林所有者又は耕作者に対し、適切に管理するよう指導を行った。	A	産業振興課	
農商工の連携による特産品の開発への支援 … <u>特産品の開発</u> 【H30:0件 → R6:2件(R2～6累計)】	令和5年度 完了		産業振興課	
進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手				

第2次ふるさと向日市創生計画 令和6年度 進捗状況等一覧

施策の柱Ⅰ 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

施策分野3 都市基盤の整備

施策1 道路整備の推進

基本方向

○都市計画道路や幹線市道の整備を推進することで幹線道路のネットワークを構築し、活力と魅力あるまちを目指します。

○市民生活に密着した生活道路・細街路の整備を推進することで、安全で快適な住環境づくりを目指します。

取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課
都市計画道路及び幹線市道の整備 …整備路線 【都市計画道路牛ヶ瀬馬場線、第3064号線、寺戸森本幹線2号、寺戸幹線6号、第2013号線(R6)】	・都市計画道路牛ヶ瀬馬場線:延長約700m 道路新設整備(R5年度完了) ・市道第3064号線:延長100m 電線共同溝及び道路詳細設計(R6年度完了) ・寺戸森本幹線2号:延長約100m 森本東部地区土地区画整理事業による歩道拡幅整備(R6年度完了) ・寺戸幹線6号:拡幅整備に必要となる用地について、土地所有者と取得交渉を行った。(未整備) ・市道第2013号線:阪急京都線以西の約200mについて整備(R5年度完了) ただし、阪急京都線以东の300mについて未整備	B	道路整備課
生活道路・細街路の整備 【10路線整備完了(R2～6累計)】	・寺戸鶏冠井幹線:延長約80m 観光ルート整備事業による歩行空間の整備(R3年度完了) ・市道第4029号線:延長約160m 観光ルート整備事業による歩行空間の整備(R4年度完了) ・市道第6010号線:延長約350m 観光ルート整備事業による歩行空間の整備(R5年度完了) ・市道第2263号線:延長約180m 側溝改修による歩行空間の整備(R2年度完了) ・市道第2029号線:延長約190m 側溝改修による歩行空間の整備(R4年度完了) ・市道第3018号線:延長約450m 側溝改修による歩行空間の整備(R6年度完了) ・市道第3034号線:延長約200m 森本東部地区土地区画整理事業による歩道拡幅整備(R6年度完了) ・物集女寺戸幹線:延長約90m(第2向陽小) 道路拡幅による歩行空間の整備(R6年度完了) ・市道第6035号線:延長約360m 区画線等による歩行空間の整備(R6年度完了) ・市道第4009号線:延長約110m 側溝改修による歩行空間の整備(R6年度完了)	A	道路整備課
交通安全対策の一層の推進 …通学路 【10箇所整備完了(R2～6累計)】 …自転車通行レーンの整備 【1路線整備完了(R2～6累計)】	・物集女幹線:延長約20m 水路改修による歩道整備(R6年度完了) ・物集女寺戸幹線:延長約200m(京都大学) 道路拡幅による歩行空間の整備(R6年度) ※R7年度整備完了 ・寺戸幹線4号:延長約120m 水路改修による歩道整備(R5年度完了) ・市道第2029号線:延長約190m 側溝改修による歩行空間の整備(R4年度完了) ・市道第2263号線:延長約180m 側溝改修による歩行空間の整備(R2年度完了) ・寺戸森本幹線2号:延長約250m 歩道及び側溝改修による歩行空間の整備(R6年度完了) ・市道第4029号線:延長約80m 側溝改修による歩行空間の整備(R3年度完了) ・市道第4047号線(鶏冠井町):延長約130m 水路改修による歩道整備(R6年度) ただし、延長約20mをR7年度整備予定 ・上植野幹線:延長約340m 区画線等による歩行空間の整備(R3年度完了) ・市道第6054号線:延長約100m 側溝改修による歩行空間の整備(R3年度完了) ・市道第4047号線(上植野町):延長約320m 水路改修による歩道及び自転車通行レーンの整備(R3年度完了)	B	道路整備課
ゾーン30区域の拡大 【H30:1箇所22.4ha → R6:2箇所30ha】	ゾーン30区域の拡大が完了した。	済	道路整備課

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

第2次ふるさと向日市創生計画 令和6年度 進捗状況等一覧

施策の柱Ⅰ 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

施策分野3 都市基盤の整備

施策2 快適で安全便利なまちづくり

基本方向

○アクセス拠点の整備等、市民の利便性の向上と産業・観光の振興を図るとともに、都市計画制度を活用した快適で安全便利なまちづくりを推進します。

取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課
土地利用の転換による事業所の誘致事業の推進	森本東部土地区画整理組合及び阪急洛西口駅西土地区画整理組合に対して、区画整理事業の円滑な推進のための支援を行った。	A	まちづくり推進課
幹線道路沿道のにぎわい創出に向けた都市計画変更	幹線道路沿道の商業・業務機能の強化を図ることを目的とし、都市計画変更（用途地域等）手続きを行った。	A	都市計画課
ぐるっとむこうバスをはじめとする公共交通の利用促進	公共交通の利用促進を図るため、市内転入者へ「公共交通利用案内」を配布した。 また、ぐるっとむこうバスについては、春・夏・冬休み期間に小学生を対象として無料おためし乗車を実施するなど利用促進に努めた。	A	まちづくり推進課
歴史探索に利用できる公園整備	大極殿公園の樹木剪定や上植野城公園の竹垣改修等、史跡や周辺公園の維持管理を行った。 深田川橋公園にパーゴラやベンチ等の休憩施設を設置した。	A	都市計画課
地籍調査の推進 … <u>地籍整備率</u> 【H30:2.5% → R6:10%】	令和5年度に地籍調査を開始した（物集女町五ノ坪）について、土地所有者とスケジュール調整を行い、現地立会を行った。 <u>令和6年度時点整備率:8.0%</u>	B	都市計画課
空家等対策計画の推進	令和3年度に認定した特定空家等について、空き家を除却した土地の公売を実施し、除却費用の回収をした。また、令和6年度に認定した特定空家等について、向日市空家等対策計画に基づき、法定等手続きを行い、所有者により空き家の除却がされた。	A	公共建物整備課
地域特性に応じたまちづくり計画等の支援	地域特性に応じたまちづくり計画の策定に向け、鶏冠井・上植野東部地区まちづくり協議会に対し、アンケート分析・広報を含む地区まちづくり協議会設立の支援を行った。	A	都市計画課
名神高速道路スマートインターチェンジ開設事業の推進	関係機関との情報交換、協議等を実施した。	B	まちづくり推進課

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

第2次ふるさと向日市創生計画 令和6年度 進捗状況等一覧

施策の柱Ⅰ 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

施策分野3 都市基盤の整備

施策3 駅周辺の都市基盤整備

基本方向

○JR向日町駅周辺を整備し、駅への利便性や安全性を向上させるとともに、中心にぎわいゾーンへの都市機能の誘導を図ることで、まちの活性化を図ります。

○阪急東向日駅について、「古都のむこう、魅力のふるさと」にふさわしい整備を行います。

○阪急京都線の連続立体交差事業の検討を行い、阪急東向日駅周辺の都市基盤整備を推進します。

取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課
JR向日町駅周辺整備事業の推進 …東西自由通路・駅前広場の整備 …市街地再開発事業の事業化 …駅周辺における安全対策の調査・検討	駅東口へのアクセス道路となる市道第3064号線において、無電柱化について関係機関と協議を行い、無電柱化工事のための設計を行った。 東西自由通路について、建築工事を推進するとともに、支障物件の移転工事を行った。 市街地再開発事業について、埋蔵文化財調査や円滑な事業推進のための支援を行った。 駅周辺における安全対策について、関係機関等と協議を行った。	A	道路整備課 まちづくり推進課
阪急東向日駅周辺整備事業の推進	阪急東向日駅前における市道について、関係機関と道路拡幅等について協議を行った。	A	道路整備課
阪急京都線連続立体交差事業の事業化に向けた検討	調査検討結果を基に、実現可能な整備手法・スキームについて内部検討を進め、鉄道事業者との協議を行った。	A	まちづくり推進課

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

第2次ふるさと向日市創生計画 令和6年度 進捗状況等一覧

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野1 少子化対策・子育て支援

施策1 安心して産み育てる体制づくり

基本方向

○安心して子どもを産み、健やかに育てることができる環境づくりを推進します。

取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課
幼児教育・保育のベストマッチを推進 …【待機児童0人を継続】	保育を必要とする方等について、保育所だけではなく、預かり保育を行っている幼稚園についても案内するなどし、申請者の意思に寄り添うとともに、保育所と連携し可能な限りの入所先の確保に努めた。 <u>待機児童(4月時点)</u> R1:24人 R2:10人 R3:3人 R4:0人 R5:0人 R6:0人	A	子育て支援課
病児病後児保育所の開設 … <u>病児病後児保育所数</u> 【H30:1か所 → R2:2か所】	令和2年度 完了		子育て支援課
子ども虐待の未然防止対策の推進 … <u>家庭児童相談室の機能強化</u> 【R1:虐待対応専門員未配置 → R4:配置】	令和6年度は、専任課長と保健師、保育士、社会福祉士兼精神保健福祉士、社会福祉主事、事務職員2名の6名を配置した。また、家庭児童相談や虐待対応に関する専門研修を受講し、様々な児童虐待ケースに対応できるよう職員の資質向上に努めた。子どもの虐待の未然防止対策として、令和6年度も子育てに悩む家庭を対象に前向き子育てプログラムを実施し、家庭の支援を行った。	A	子ども家庭課
放課後児童健全育成事業の推進 …【入会要件を充たす全ての児童の受入れを維持】	入会要件を、R6途中入会からは小学1～4年生と変更したうえで、引き続き、要件を満たす児童を全て受け入れた。	A	生涯学習課
乳幼児健診全対象者に子育てに関する支援を実施 … <u>乳幼児健診未受診者の面接割合</u> 【H30:72.2% → R6:100%】	<u>令和6年度乳幼児健診未受診者の面接割合…100%</u> 乳児前期健診…100%(面接等対応済4人) 乳児後期健診…100%(面接等対応済5人) 1歳9か月健診…100%(面接等対応済8人(海外在住1人、他市での受診3人含む)) 3歳6か月健診…100%(面接等対応済14人(海外在住2人含む)) 乳幼児健診未受診者に対しては電話による受診勧奨を実施。受診勧奨を実施しても未受診の場合は家庭訪問による面接を実施した他、必要に応じて子ども家庭課、保育所と連携し、見守りを行っている。	A	健康推進課
伴走型相談支援の実施 …【面談の実施割合100%を維持】	全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てを行うことができるよう、妊婦、出生児の保護者を対象に面談による伴走型相談支援を実施した。 令和6年度妊娠届出時の妊婦・出生時の面接割合…100%(令和7年3月末現在) 妊娠届出時…100%(妊娠届出時に面談344人、翌月以降面談者19人) 妊娠8か月前後…100%(アンケート送付292人、訪問希望者8人、訪問実施8人) 2か月児訪問時…100%(訪問対象者325人、訪問実施者325人)	A	健康推進課

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

第2次ふるさと向日市創生計画 令和6年度 進捗状況等一覧

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野2 健康づくりの推進

施策1 生活習慣病予防による健康生活への支援

基本方向

○市民が主体的に健(検)診を受け、生活習慣の改善等の健康づくりに取り組めるよう支援します。

○生活習慣病予防と介護予防との一体的な健康づくりを推進します。

取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況
特定健診の受診率向上 … <u>受診率(向日市国民健康保険実施分)</u> 【H30:47.9% → R5:55%】	広報むこうやLINEを活用した受診勧奨に加え、対象者が来庁された際は、窓口での説明を行うなど、受診率向上に努めた。 特定健診の受診率は令和6年度に令和5年度実績が把握できることから、 <u>令和5年度の実績は41.4%</u> であり、令和4年度の44.0%と比較すると僅かに減少した。要因としては、受診率の高い70歳以上の被保険者が後期高齢者制度へ移行されたことによるものと考えられる。	B
特定保健指導の実施 … <u>実施率(向日市国民健康保険実施分)</u> 【H30:59.1% → R5:65%以上】	<u>特定保健指導実施率…78.9%(令和5年法定報告(令和6年10月公表))</u> 特定保健指導対象者に対し、血管年齢や骨密度の測定会を開催し個別の相談事業に参加してもらいやすい環境を整備した。また、相談事業に参加されない方には、複数回、曜日や時間帯を変えて家庭訪問を行い、保健指導を実施した。	S
糖尿病など生活習慣病の重症化予防 … <u>糖尿病の保健指導を実施した割合</u> 【H30:60.1% → R5: 65%以上】	<u>糖尿病の保健指導実施率…66.7%(令和5年度77.9%)</u> (内訳)未治療者への保健指導実施率…66.7%(令和5年度76.2%) 治療中断者への保健指導実施率…50.0%(令和5年度88.9%) 重症化ハイリスク者への保健指導実施率…69.0%(令和5年度68.6%) 〔糖尿病性腎症重症化予防事業〕 人工透析者の減少を図るため、糖尿病が重症化するリスクの高い方で医療機関への未受診者や、治療中断者に対して家庭訪問による受診勧奨を行い医療につなげるとともに、治療中の方に対し食事や運動等の生活習慣改善に向けた保健指導を家庭訪問により実施した。対象者全員に家庭訪問を実施したが、時間帯や曜日を変えて訪問を実施しても会えないケースがあり、前年度より保健指導実施率が減少した。	A
長寿健康診査の受診結果を活用した介護予防 … <u>長寿健康診査受診率</u> 【H30:52.2% → R6:65%】	<u>長寿健康診査受診率…47.8%(令和5年度49.9%)</u> 〔高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業〕 健康寿命の延伸と、高齢者の増加による医療・介護費用増加抑止を図るため、75歳以上の後期高齢者を対象に、重症化予防事業・フレイル予防についての普及啓発事業を実施した。 重症化予防事業：糖尿病、高血圧、腎機能低下、心電図有所見者への受診勧奨及び保健指導を実施 実施率…77.4%(令和5年度77.3%) フレイル予防事業：出前講座、健診結果相談会等における講義・リーフレットの配布を実施 参加者…168人(令和5年度87人) 健康状態不明者(過去1年間に健診・医療・介護を受けていない方)の把握、フレイル予防リーフレットの配布、長寿健診受診勧奨を実施した。 健康状態不明者へのアンケート返送率…37.1%(令和5年度53.3%) アンケートの返送がなかった方へ家庭訪問を実施し、健康状態の把握及び長寿健診受診勧奨を実施 実施率…81.9%	B
	長寿健診実施医療機関に対し、検診結果を返す際に配布していただけるよう、介護予防等事業を案内するチラシを作成し、効果的な啓発を実施した。 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施として、保健指導や介護予防体操を実施した。また、長寿健診の問診表をもとにオーラルフレイル対策等を取組に追加した。 実施回数：R6:21回 うち、オーラフレイル対策実施11回	A

担当課
健康推進課
医療保険課
健康推進課
医療保険課
健康推進課
健康推進課

第2次ふるさと向日市創生計画 令和6年度 進捗状況等一覧

取組及び目標		令和6年度実績	進捗状況	担当課
がん検診の受診勧奨、がん予防の啓発 …大腸がん検診受診率【H30:12.1% → R6:14.0%】 …乳がん検診受診率【H30:10.9% → R6:14.0%】		令和6年度大腸がん検診受診率…10.0%（令和5年度10.0%） 受診者数 集団健診:131人（令和5年度157人） 個別検診:3,371人（令和5年度3,318人） 大腸がん検診の受診勧奨を目的として、健康づくり年間予定表の各戸配布に加え、国保加入者で前年度大腸がん検診未受診者のうち、41歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳の男女635人に対し、7月に受診勧奨ハガキを送付した。また、実施医療機関に受診勧奨チラシを配布し、個別検診における受診勧奨も併せて実施したことにより、個別検診では受診者数が増加した。	B	健康推進課
		令和6年度乳がん検診受診率…8.1%（令和5年度8.5%） 受診者数 集団検診:465人（令和5年度493人） 個別検診:305人（令和5年度264人） 乳がん検診の受診勧奨を目的として、健康づくり年間予定表の各戸配布に加え、9月下旬に令和6年度無料クーポン対象者（41歳）で9月中旬時点で未受診者325人、45歳、47歳、49歳女性で国保加入者かつ9月中旬時点で未受診者441人に封書による受診勧奨を送付した。 また、広報むこうに年間で大腸がん検診1回、乳がん検診2回の掲載を行った他、公共施設でのポスター掲示やかぐやの灯のライトアップを行う等、がん予防の啓発に努めた。		
自発的な健康づくりの推進 …健康ポイント事業達成者数【H30:61人 → R6:200人】		令和6年度は、上半期に紙媒体を活用した「健康ポイント事業」を実施し、下半期にアプリを活用した「健康ウォーキングアプリ向日市 KENPOS」を実施した。年度内に二つの事業を実施したため、「健康ポイント事業」の実施期間を短縮し、協賛いただいた賞品をそれぞれの事業に分けて実施した結果、「健康ポイント事業」については、前年度よりも規模を縮小しての開催となった。 そのため、応募者数は107名であったが、下半期に実施したアプリを活用した事業の参加者1,087名を含め、全体では1,194名であり、目標を達成したと考えている。 なお、令和7年度から、「健康ポイント事業」は終了し、アプリを活用した「健康ウォーキングアプリ向日市KENPOS」に移行する。	A	医療保険課
進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手				

第2次ふるさと向日市創生計画 令和6年度 進捗状況等一覧

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野3 高齢者が安心して暮らせる体制の充実

施策1 地域包括ケアシステム及び認知症施策の推進

基本方向

○地域全体で高齢者を支える地域包括ケアシステムの機能強化を図るとともに、認知症に対する市民の理解を深め、認知症の早期発見・早期対応への取組を推進します。

取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課
生活支援コーディネーターと協議体の設置による生活支援体制づくり …住民主体で介護予防に資する取組を実施する集いの場の数 【H30:2か所 → R6:21か所】	新規集いの場6か所の立ち上げ支援と、既存22か所の活動支援を行った。 ・集いの場28か所(うち新規6か所)＜令和7年3月31日現在＞ 高齢者の居場所づくりや生活支援体制づくり等について検討する協議体の会議を8月と3月に開催した。	S	高齢介護課
認知症高齢者を支える体制づくり …認知症サポーター数 【H30:8,000人 → R6:9,500人】 …見守りSOSネットワーク協力事業所(登録事業所数) 【H30:108 → R6:130】	認知症地域支援員による認知症サポーター養成講座を実施。 認知症サポーター養成講座の受講者数 188人 認知症サポーター数 9,920人＜令和7年3月31日現在＞ 認知症高齢者等への見守り意識の向上やSOSネットワーク事業の周知を図るため、ステッカーを活用しながら、協力事業所の増加に努めた。 見守りSOSネットワーク協力事業所数 130件＜令和7年3月31日現在＞ QRコードシールや認知症ケアサイトの周知、「きょうと認知症あんしんナビ」に関する啓発物配布の協力など、家族介護者の負担軽減を図るとともに、認知症に対する地域の理解を深める取組を推進した。	A	高齢介護課
認知症初期集中支援システムによる早期発見・早期対応への取組の推進 …認知症初期集中支援チームの周知媒体数 【H30:2 → R6:5】	認知症に対する初期段階での早期発見、支援、家族の負担軽減のため、認知症初期集中支援チームが活動し、介護保険等のサービス利用に繋ぐことができた。 新規受付件数 3件、チーム員会議 11件＜令和7年3月31日現在＞ 認知症初期集中支援チームについて、「きょうとあんしんナビ」や「認知症ガイドブック」への掲載、パンフレットの配布、市広報、市HPに掲載し周知に努めた。 周知媒体数 5つ＜令和7年3月31日現在＞	A	高齢介護課

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

第2次ふるさと向日市創生計画 令和6年度 進捗状況等一覧

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野4 障がい者福祉の充実

施策1 安心して暮らし続けられる共生社会の実現

基本方向

○障がいの有無にかかわらず、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる施策の充実に努めます。

取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課
相談支援体制の強化 … <u>計画相談支援 作成率</u> 【H30:100% → R6:100%】	R6:100% サービス等利用計画・障害児支援利用計画を作成し、作成率100%を維持した。	A	障がい者支援課
地域での生活を支援する福祉サービスの充実 … <u>就労移行支援事業の利用者数</u> 【R1:11人 → R6:15人】	R6:35人 就労移行支援事業については、向日が丘支援学校の進路相談において、卒業後の福祉サービスの紹介を丁寧に説明してきたこともあり、令和6年度の利用者数は35人（R5は26人）となった。 一方、就労移行支援事業の利用者が、一般就労に結びついていないという課題も指摘されているため、今後は就労移行支援事業所などと更なる連携を密にして、利用者への支援を行う。	S	障がい者支援課
手話言語条例の啓発・推進 … <u>事業所向けの啓発事業</u> 【H30:未実施 → R6:実施】	商工会を通じて、市内の700事業所に対して手話マンガや市の手話動画を紹介するチラシを配布し、手話の普及・啓発を図った。 他にも、上植野浄水場でのライトアップを行い、9月23日の「国際手話言語デー」の啓発を実施した。	A	障がい者支援課

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

第2次ふるさと向日市創生計画 令和6年度 進捗状況等一覧

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野5 地域福祉の充実

施策1 福祉のまちづくりの推進

基本方向

○市民一人一人がご近所や地域で助け合い、支え合えるまちづくりを進めます。

取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課
地域共生社会実現サポート事業の推進 …実施事業所数 【R6:14事業所 (R2～R6累計)】	京都府と連携し、地域福祉共生社会実現サポート事業を実施することで、社会福祉法人の地域貢献活動や災害対応力向上、組織体制の強化などが図られ、福祉のまちづくりの推進を図った。 <u>地域共生社会実現サポート事業 R6実施事業所数／4事業所</u> <u>(R2～R6累計実施事業所数:19事業所)</u>	S	地域福祉課
地域の見守りネットワーク事業の推進 …協定事業者数 【H30:10事業者 → R6:17事業者】	高齢者が住み慣れた地域で安心・安全に暮らし続けられるよう見守りネットワークを構築し、地域での見守り体制を推進した。 <u>協定事業者数 17事業者<令和7年3月31日現在></u>	A	高齢介護課

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

第2次ふるさと向日市創生計画 令和6年度 進捗状況等一覧

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野6 地球温暖化防止対策・資源循環の推進

施策1 ゼロカーボンシティの実現

基本方向

○将来にわたって、恵み豊かな自然や文化、都市環境を次世代に引き継いでいくため、ゼロカーボン(脱炭素)への取組を強化します。

取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課
太陽光など再生可能エネルギーの利用推進 …戸建住宅の太陽光発電設備設置件数 【R2:883件 → R12:1,800件】	環境省及び京都府と連携し、戸建住宅に太陽光発電設備を導入する個人に対して、導入費用に係る補助金交付事業を実施した。 また、事業の利用推進を図るため、広報等で普及啓発に努めた。 【実施内容】 向日市ゼロカーボン推進補助金（令和5年7月から実施） 向日市家庭向け自立型再生可能エネルギー導入事業費補助金（平成29年度から実施） 【交付件数（上記補助金の合計）】 R2年度：15件、R3年度：9件、R4年度：13件、R5年度：25件、R6年度：28件 補助金交付事業の実施により、戸建住宅の太陽光発電設備設置件数の増加を図ることができた。 【実績（戸建住宅の太陽光発電設備設置件数）】 R2年度末：883件、R3年度末：925件、R4年度末：994件、R5年度末：1,132件、 <u>R6年度末：1,218件</u> ※資源エネルギー庁公表資料から抜粋	A	ゼロカーボン推進課
公用車における電気自動車（EV）の導入 …公用車導入台数 【R2:0台 → R12:40台】	令和6年度末時点で23台であり、計画どおり進んでいる。	A	ゼロカーボン推進課 財産管理課
公共施設におけるLED照明の導入推進 …LED照明導入率 【R3:55%→R12:100%】	国の交付金事業等を活用し、公共施設におけるLED照明の導入を推進した。 【導入施設】 小学校（第3向陽、第5向陽）、中学校（勝山、寺戸） 【実績】 R3:55%、R4:60%、R5:77%、 <u>R6:90%（見込）</u>	A	ゼロカーボン推進課
市役所新庁舎のゼロエネルギービルディングによる整備 …市役所新庁舎の省エネルギー化	令和2年度 完了		新庁舎・市民会館準備課 財産管理課 公共建物整備課

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

第2次ふるさと向日市創生計画 令和6年度 進捗状況等一覧

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野6 地球温暖化防止対策・資源循環の推進

施策2 ごみの減量と資源化の推進

基本方向

○ごみの減量と資源化への取組を強化し、持続可能な循環型社会を目指します。

取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課
市役所資源ごみ終日回収ステーションの拡充	令和3年度 完了		環境衛生課
家庭ごみの発生抑制及び事業系ごみの排出抑制 … <u>ごみ排出量</u> 【H30:531g/日・人 → R6:457g/日・人】	家庭ごみの発生量抑制に関しては、「ごみの出し方・分け方カレンダー」の各戸配布や広報、ホームページによりごみ減量の方法や工夫を紹介するなど周知・啓発に努めた。 また、古紙類の再生利用について、広報6月号にて集団回収助成金制度利用者の生の声を届けることで利用のしやすさをPRするなど、利用促進の広報に努め、制度利用登録団体数を32団体までに増やすことができた。 また、古紙等回収拠点の認知度向上にも努めた結果、月平均約40tの回収量となり開設時と比べ、月平均20t以上回収量が増加した。 事業系ごみについては、本市の一般廃棄物収集運搬許可業者を通じて、店舗と住居が同一の小規模事業所等に対して、家庭ごみに混入せずに排出するよう周知・啓発に努めた。また、大規模事業所30か所に対しては、事業系一般廃棄物減量等計画書の提出を求め、排出抑制を促した。 【人口: 56,561人(R5) → 56,340人(R6)】 【家庭系ごみ量: 9,346t(R5) → 9,035t(R6)】 【家庭系ごみ/日・人: 452g(R5) → <u>439g(R6)</u> 】 【事業系ごみ量: 3,389t(R5) → 3,325t(R6)】	S	衛生環境課
ごみ分別の周知徹底及びごみ袋透明化などの実施	資源物ステーションを中心に、見回りや分別指導員による分別収集の徹底を図った。分別されていないごみは一定期間持ち帰らず、注意を促すシールを貼ることで、誤って排出された方へ向けて注意喚起を行った。 指定ごみ袋導入後、ほぼ100%の水準で指定ごみ袋による排出がされている。指定袋導入により、燃やすごみ量が減少し、資源物量が増加したことから、市民のごみの適正排出、分別意識が高まる効果を得ることができた。 「ごみ分別アプリ」については、令和6年度末で5,534件の累計ダウンロード数となった。 アプリではごみの出し方が検索できる「ごみ分別辞典」の検索品目数を900品目用意し、市民にさらなるごみ分別の意識啓発を図った結果、資源物の再生利用量が増加した。	A	衛生環境課
資源ごみの再生利用(リサイクル)推進 … <u>再生利用率</u> 【R1:4.4% → R6:8.7%】	指定ごみ袋制度の他、古紙等集団回収助成金事業、古紙等回収拠点の整備、ごみ分別アプリの配信により、市民の分別意識が高まり、再生利用量、再生利用率が高まった。 特に、古紙等回収拠点では、認知度向上に伴い、昨年度と比べ収集量が月平均10t程度増加した。 <u>再生利用量 1,354t(R5) → 1,520t(R6)</u> <u>再生利用率 10.1%(R5) → 11.5%(R6)</u>	A	衛生環境課

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり				
施策分野7 生活の安心・安全の確保				
施策1 災害対策の充実				
基本方向				
○自助・共助・公助の連携によりあらゆる災害に対する備えが強化され、誰もが安心して暮らすことのできるまちを目指します。 ○地震や大雨、台風などの災害に対する自助意識の醸成と高揚を図り共助を高めます。 ○情報伝達体制の強化や避難支援体制の整備、避難所運営体制の充実等、災害時の市民の安心・安全を守る取組を推進します。 ○局地化、激甚化する降雨にも対応するため、雨水幹線整備を進めるとともに、既存小規模排水路の改善等により、更なる浸水安全度の向上に努めます。				
取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課	
防災マップの周知 … <u>防災出前講座・出前授業の実施回数・参加人数</u> 【H30:17回・631人 → R6:20回・700人】	市民の防災知識の向上を目的として、防災マップを活用した学校への出前授業や地域での出前講座を行った。 【出前講座の実施回数・参加人数: (R5)8回・521人、 <u>(R6)6回・357人</u> 】	B	防災安全課	
自主防災組織の育成支援及び消防団との連携強化	自主防災組織を対象に、消火器や防火バケツ、車椅子(けん引仕様)などの購入費用について補助金を交付し、地域での防災資機材の充実を図ることで、地域コミュニティを高め、共助の確立を促した。 【補助金交付数: (R5)25団体、(R6)29団体】 令和6年度向日市防災訓練の本番及びリハーサルにおいて、自主防災組織と消防団が連携し避難所開設訓練を実施したことにより、顔の見える関係を築けた。(◎本番:地域住民184名 防災士16名 消防団60名参加)	A	防災安全課	
桂川・小畑川氾濫時などにおける情報伝達体制の強化	全国瞬時警報システム(J-ALERT)、エリアメール、防災・防犯メール、防災用デジタル無線を継続して配備するとともに、FMおとくにとの協定を継続することによって複数の伝達手段を確保した。 情報伝達の多重化・多様化を進めていくため、防災行政無線同報系システムについて情報収集を行った。	A	防災安全課	
要支援者に対する自主防災組織や消防団、民生委員などによる避難支援体制の整備	災害時に自ら避難することが困難で支援を要する方の名簿である避難行動要支援者名簿を作成し、関係機関と共有することで避難支援体制の整備を進めた。 令和6年度末現在、社会福祉法人向陵会(乙訓ひまわり園／平成26年4月)と福祉避難所の協定を締結しており、乙訓福祉施設事務組合(乙訓若竹苑・ポニーの学校／平成27年1月)とも、福祉避難所の開設について申し合わせを行なっている。また、向日が丘支援学校に対しては、再移転後に福祉避難所の協定締結に向けて、協議を行う予定である。	A	障がい者支援課	
	災害時に自ら避難することが困難で支援を要する方の名簿である避難行動要支援者名簿を作成し、関係機関と共有することで避難支援体制の整備を進めた。 市内の介護老人福祉施設2か所(特別養護老人ホーム向陽苑、特別養護老人ホームサンフラワーガーデン)及び介護老人保健施設1か所(回生会介護老人保健施設ケアセンター回生)と福祉避難所の協定を締結しており、加えて一般財団法人日本福祉用具供給協会と「災害時における福祉用具等物資の供給等の協力に関する協定」も締結している。	A	高齢介護課	
地域における避難所運営訓練の実施 … <u>訓練回数</u> 【毎年1回実施】	<u>感染症対策を踏まえた避難所開設訓練を、地域住民主体により7箇所で行った。</u> 災害時要配慮者のニーズに対応できるよう全7箇所において福祉コーナーを設置した。	A	防災安全課	

第2次ふるさと向日市創生計画 令和6年度 進捗状況等一覧

取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課
災害備蓄物資の分散配備 … <u>配備箇所数</u> 【H30:17か所 → R6:27か所】	令和4年度 完了		防災安全課
土砂災害特別警戒区域対策 の推進	土砂災害特別警戒区域がある物集女町長野(う2001)について、京都府と対策工事の実施に向け協議を継続した。	A	防災安全課
浸水対策下水道雨水排水路 等の整備の促進 … <u>東野辺地区雨水バイパス整備完了</u> 【R5:完了】 … <u>前小川の整備完了</u> 【R5:完了】	東野辺地区雨水バイパス整備については、令和5年度に完了。 前小川の整備については、京都府による接続施設工事が、用地買収が難航したために遅れている。 京都府の接続施設整備工事が完了した後、引き続き向日市が流入施設工事に着手できるよう、必要な設計は完了している。	A	上下水道施設課
雨水タンクの助成制度の推進 … <u>設置数</u> 【H30:13基 → R6:50基 (R2～6累計)】	広報むこう、ホームページ、ビラ配布等により市民へPRし、 令和6年度までの目標設置数50基を達成することができた。 <u>R2～R6設置数:51基</u>	A	上下水道施設課
進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手			

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり				
施策分野7 生活の安心・安全の確保				
施策2 防犯力の強化				
基本方向				
○地域力を活かした市民ぐるみの防犯運動を推進します。				
○防犯カメラやIoT技術を活用して犯罪の未然防止を図るなど、地域の防犯力を高めます。				
取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課	
地域の防犯ボランティア団体との連携充実	これまで犯罪のないまちの実現に向け、向日町警察署防犯推進委員協議会向日支部及び向日市生活安全推進協議会において、啓発活動や防犯パトロール等を実施することで連携強化に努めてきた。 本年度は街頭啓発と、防犯パトロールを実施した。 【防犯・生活安全啓発活動3回、パトロール数128回】	A	防災安全課	
小型電波発信機やスマートフォンの位置情報機能など、IoT技術を活用した見守りネットワークの構築	令和2年度 完了		学校教育課	
通学路や地下道、幹線道路、公園、分別収集ステーションなどへの防犯カメラ整備促進 …防犯カメラ稼働台数【H30:32台 → R6:300台】 …自治会等への防犯カメラ整備補助による稼働台数【H30:3台 → R6:13台】	令和2年度 完了		防災安全課	
進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手				

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野8 消防力の強化

施策1 防火体制と救急救助体制の充実

基本方向

○自主防災組織や消防団活動を支援するとともに、市民一人一人の救急救命に関する知識を深め、技術の向上に努めることなどによって、火災や事故などの災害への対応能力向上を図ります。

取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課
自主防災組織や自治会・町内会での消火器設置補助	自治会・町内会を対象に、消火器と格納箱の購入費用について補助金を交付し、地域での防火資器材の充実を図った。 【補助金交付数:23団体(R5)→28団体(R6)】	A	防災安全課
消防団による地域行事における警戒活動の実施	地域の安全を守るため、地元要請により、竹の径・かぐやの夕べの警戒(10月12日～13日)及び年末特別警戒(12月25日～30日)等を実施した。	A	防災安全課
救急講習受講の啓発	乙訓消防組合と連携し、毎月、「広報むこう」で救急講習受講の啓発を行った。 向日消防署で開催した救急講習には、168名の受講があった。	A	防災安全課
火災警報器等防火機器普及促進の啓発	各分団車庫に住宅用火災警報器普及啓発ポスターの掲示を行い、乙訓消防組合と連携して「広報むこう」の春・秋号の2回、住宅用火災警報器の普及啓発について掲載した。	A	防災安全課
向日消防署新庁舎整備	令和3年度 完了		向日消防

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野9 ライフラインの強化

施策1 上下水道事業の安定経営

基本方向

○水道施設の計画的な整備や財源の確保、更なる経営改善に努め、運営基盤を強化します。

○水道施設を強化し、災害時や緊急時でも安全で良質な水を安定供給します。

○下水道施設の長寿命化を図るため、予防保全型の維持管理を行います。

取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課
水道料金の見直し	令和2年度 完了		公営企業課
水道管路の耐震化 …重要な管路(基幹管路)の耐震適合率 【H30:25% → R6:40%】	重要な管路(基幹管路)の耐震化を1,932m実施し、計画どおり工事が進んでいる。 (森本町上町田、東ノ口、鶏冠井町上古、上植野町柳ヶ町) ※配管工事は完了しているが、水道の供用開始ができていないため、耐震適合率については、令和5年度末時点の数値を据え置いている。 耐震適合率 32.8%	A	上下水道施設課
下水道施設の長寿命化の推進 …マンホール等管路施設の内部の点検及び調査 【年間300箇所】	マンホール調査は、管渠の整備年度に合わせて行っており、今年度の調査対象箇所120箇所の調査を実施した。 (うち職員による調査は50箇所)	A	上下水道施設課

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり				
施策分野10 学校教育の充実				
施策1 豊かな学びの創造と確かな学力の育成				
基本方向				
○児童生徒が学ぶことの意義や楽しさを感じられる多様な学びの実現に努めるとともに、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行い、確かな学力をはぐくむ教育を推進します。				
取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課	
「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善 …授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていた子どもの割合 【H30:小学4年生(82.9%)、中学2年生(90.6%) → R6:増加】	各学校の実態に応じて、「主体的・対話的で深い学び」に係る授業改善の視点に立ち、市研究指定校として研究テーマを掲げ、具体的な児童生徒の姿を定めるとともに、児童生徒に必要な資質・能力を身に付けさせるため、各単元や授業の目標を明確にした上で、授業改善に取り組んだ。 各学校においては、発達段階に応じた話し合い活動(自らの考えを交流し、他者の意見を聞き、表現する等)を積極的に取り入れるとともに、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見出して解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりする学習の過程を重視した授業改善に努めた。 【授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていた子どもの割合(小4、中2)】 R6:小学4年生(84.2%)、中学2年生(84.5%)	A	学校教育課	
ICTを効果的に活用した授業の実施	向日市GIGAスクールプロジェクトチーム会議において児童生徒に配付したタブレット端末の効果的な活用について授業実践をもとに交流し、互いに学んだ活用方法を各校の授業改善に取り入れた。また、導入したソフトウェアの授業活用研修会を各学校において開催し、教員のICT活用指導力の向上を図った。 各学校では授業支援ソフトを活用し、児童生徒が相互の意見交流やグループ発表を行うなど、協働的な学習に積極的に活用される場面が増加している。 昨年度に引き続き、すべての学校が文部科学省の「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」の指定を受け、端末を活用してデジタル化された教科書を使用した。また、一部の小中学校では、京都府の「CBT調査システム構築・活用実証研究」の協力校として、端末を活用してCBT学力・学習状況調査を受検するなど、配付された端末を幅広く活用した。 加えて、端末を家庭に持ち帰り、デジタルドリル等を活用し、各単元で身に付けた知識・技能の習得状況を個別に振り返るなど、家庭学習の充実に向けた活用にも取り組んでいる。	A	学校教育課	
小中の接続を重視した外国語教育の実施 …英語が好きな子どもの割合 【H30:中学2年生(63.3%) → R6:中学2年生(80%)】	小学校では、3,4年生の外国語活動では外国語による聞くこと、話すことの言語活動、5,6年の外国語では、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力の育成を図った。また、小学校の外国語教育の充実に向け、専科教員や小中連携加配教員による授業を実施するとともに、引き続き全小中学校にALTを配置した。 令和5年度より、本市中学3年生を対象とした向日市中学生英語検定チャレンジ事業を実施し、一層英語への関心と学習意欲を高める機会とした。 中学生英語スピーチ大会については、令和6年度より英語で自らの思いや考えを伝えることから、さらに発展して、人との関わりの中で伝え合う力を高め合うことを重視した大会にリニューアルした 【英語が好きな子どもの割合】 R6 中学2年生(45.4%)	B	学校教育課	

第2次ふるさと向日市創生計画 令和6年度 進捗状況等一覧

取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課
伝統や文化、芸術に関する教育の推進	各学校において、演劇や音楽鑑賞など芸術鑑賞等の活動を実施することができた。 日本の伝統文化に関わる音楽授業において琴の演奏などの体験活動を実施するとともに、総合的な学習の時間では、能などの伝統文化に触れる機会を設定した。 また、各学校の「ふるさと学習」では、校区の歴史及び向日市の歴史や伝統文化について探究する活動を実施した。	A	学校教育課
ふるさと向日市への愛着と誇りをはぐくむ「ふるさと学習」の充実 <u>…今住んでいる地域の自然や歴史について関心がある子どもの割合</u> 【H30:小学4年生(72.4%) → R6:小学4年生(80%)】	各学校では「ふるさと学習」として、史跡、施設(図書館や文化資料館等)の見学、市職員等を外部講師とした学習を進めた。また、一部の小学校においては、京都府教育委員会から「絆の作り手育成プロジェクト研究校」の指定を受け、6年生児童が向日市の史跡等について関係機関(文化財調査事務所、産業振興課、企画広報課など)と連携し、調査・研究を行い、その成果を伝えることができた。 また、各学校で取り組んだ「ふるさと学習」の学習成果物を文化資料館に展示することにより、児童生徒が向日市について学んでいる状況を市民に伝えた。 各中学校においては、総合的な学習の時間において「WEB版 向日市ふるさと検定」を受検し、ふるさと向日市への関心を一層高める機会とした。 令和6年度、中学2年生を対象とした「職場体験活動」を再開することができた。91の事業所に協力を得ることができ、事業を実施することができた。 【今住んでいる地域の自然や歴史について関心がある子どもの割合】 <u>R6:小学4年生(58.5%)</u> ※参考 R5:小学4年生(64.6%)	B	学校教育課
進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手			

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野10 学校教育の充実

施策2 豊かな人間性の育成と多様性の尊重

基本方向

- 一人一人の尊厳と人権が尊重され、個性の違いや多様性を認め合い、主体的に行動し、自らの能力を最大限に発揮することができる教育を推進します。
- 多様な考えや価値観に触れることを通じて、人を思いやり尊重する心を育てるとともに、自らの考えや思いを伝えながら感性や情緒、創造力や表現力をはぐくみます。
- すべての児童生徒が安心して通うことができ、楽しく過ごすことができる学校づくりに取り組みます。

取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課
あらゆる人権問題の解決に向けて、自ら考え行動できる児童生徒の育成 …人が困っているときは進んで助けようとする子どもの割合 【H30: 小学4年生(90.1%)、中学2年生(79.4%) → R6: 増加】	各学校では、児童生徒や地域の実態等を踏まえ、人権に配慮した教育活動に努めるなど、教育活動全体に人権教育を適切に位置付け、一人一人を大切にした教育を推進した。 児童生徒を対象とした人権学習においては、人権意識の高揚及び人権問題の解決に向けた資質・能力の育成に向け、普遍的な視点からのアプローチと、個別的な視点からのアプローチによる学習を充実させた。とりわけ、同和問題学習では、学習したことが知的理解にとどまることなく、自分自身の課題としてとらえ、その解決に向けて実践できる意識・意欲・態度を育成する学習を実施した。 また、令和3年度に実施した「向日市立小中学校教職員の人権教育に関する意識調査結果」を踏まえ、20年以上のベテラン教職員や管理職を中心に、教職員研修を実施した。差別の当事者による講話を実施し、教職員の人権意識の高揚及び人権教育の充実を図った。 さらに、各学校において同和問題(部落差別)に係る知識の習得や自分事として考えることに重きを置いた校内研修会を実施することにより課題の解消に努めた。 【人が困っているときは進んで助けようとする子どもの割合】 R6: 小学4年生(91.3%) 中学2年生(80.1%)	A	学校教育課
道徳教育の推進、体験活動や読書活動の充実 …人の気持ちが分かる人間になりたいと思う子どもの割合 【H30: 小学4年生(94.9%)、中学2年生(96.0%) → R6: 増加】	各学校では「特別の教科 道徳」の授業を核とし、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、指導方法及び学習評価の工夫改善を行った。 また、児童生徒に豊かな人間性や社会性を身に付けさせるため、読書活動を充実させるとともに公共の精神や伝統・文化に関する体験活動を通して、社会の一員として主体的に生きるための基本となる豊かな人間性を育む道徳教育を推進した。 地域探検や動植物の観察などの体験活動に加え、地域の人材等を活用し、農作物の栽培や収穫、昔遊び体験などの体験活動を各校で実施方法を工夫して行った。 また、修学旅行等の宿泊行事を実施し、豊かな自然や文化に触れる体験を通して人間的な触れ合いを深めた。 【人の気持ちが分かる人間になりたいと思う子どもの割合】 R6: 小学4年生(92.1%)、中学2年生(93.1%)	A	学校教育課
読書活動を通じた創造力・表現力等の育成 …読書が好きな子どもの割合 【H30: 小学4年生(69.8%)、中学2年生(66.3%) → R6: 80%】	各学校では、朝読書など全校で一斉に読書をする機会を設定するとともに、学校図書館支援員を活用して図書室の環境整備や読み聞かせ、授業に関わる関連本を紹介するなど、児童生徒の創造力や表現力を高める取組を進めた。 【読書が好きな子どもの割合】 R6: 小学4年生(80.6%)、中学2年生(58.1%)	B	学校教育課
障がいのある子どもの自立や社会参加を目指した特別支援教育の充実	特別支援学級在籍の児童生徒の支援はもとより、通常の学級に在籍し支援が必要な児童生徒に対して、各学校の特別支援教育コーディネーターを核として個別の指導計画を立て、支援員を活用した支援や通級指導などを実施し、すべての児童生徒を大切にした特別支援教育の充実に努めた。 また、切れ目ない支援の充実のため、就学前と小学校、小学校と中学校、中学校と高等学校の校種間等で、移行支援シート(発達の状況等の記録)の活用を推進した。	A	学校教育課

第2次ふるさと向日市創生計画 令和6年度 進捗状況等一覧

取組及び目標		令和6年度実績	進捗状況	担当課
授業のユニバーサルデザイン化など一人一人を大切にした指導の充実		各学校では、すべての児童生徒にとってわかりやすい授業、過ごしやすい学級となるよう、教室環境が整理整頓されていることはもとより、児童生徒が生活の見通しを持ちやすい視覚支援等の工夫に努めた。 また、多様な視点からアセスメントを行い、各教科等の授業の場面においては、教員のタブレット端末を効果的に活用し課題を提示したり、児童生徒の学習状況をタイムリーに把握したりするなど、明確な指示の出し方や個別支援を確立するとともに、一人一人の学習の状況に応じた学習支援に努めた。	A	学校教育課
いじめや暴力行為の防止対策の充実		各学校は、向日市いじめ防止基本方針及び各学校のいじめ防止基本方針を踏まえ、いじめの未然防止やいじめへの対応、重大事態への対応等について共通理解を図るとともに、特定の教職員が、いじめに係る情報を抱え込むことのないよう組織的な対応に努めた。校長、教頭、教務主任、生徒指導主任、学年主任、養護教諭等で構成したいじめ対策防止委員会を定期的に開催し、校内での情報共有を行うとともに、児童生徒及び保護者への対応方針等を検討している。 また、年2回のいじめアンケート及び個別面談を実施し、児童生徒一人一人の状況を把握するとともに、いじめと認知した事象について3か月後に追跡調査を行うなど、きめ細かな指導・支援に努めた。 年度当初には、問題事象への対応方針についても全教職員で共通理解を図るとともに、とりわけ暴力行為に対しては、決して許されない行為であり、指導に当たっては家庭と連携し、毅然とした対応を行った。 <u>R6 重大ないじめ発生件数 0件 ※3月末現在</u>	A	学校教育課
不登校の子どもへのきめ細やかな支援の充実 …不登校の児童生徒の割合 【H30:小学校(1.38%)、中学校(4.33%) → R6:減少】		各学校では、不登校の未然防止、早期対応を図るため、保護者と連携し、児童生徒一人一人の状況を把握し、指導・支援に努めた。また、不登校の状況に応じて、ひまわり広場やフリースクール等の関係機関と連携し、児童生徒の学びの機会の保障に努めた。加えて、児童生徒一人一人の状況に応じた支援を充実させるため、SCやSSW等の専門家を活用し、学校として組織的な支援を継続した。 教育委員会では、ひまわり広場を開所し、学びの保障に努めた。また、各学校に対しては、心の相談サポーターを配置し、不登校の未然防止に努めた。さらに、SCやSSW等の専門家を、不登校早期対応チームとし、各学校への巡回相談の回数を拡充し、学校の不登校対応の充実を図った。 さらに、京都府教育委員会の指定を受け、勝山中学校区の1中学校2小学校で校内支援センターを設置し、児童生徒の教室復帰や自立に向け、小中連携のもと、アセスメントに基づいた支援の充実に取り組んだ。 【不登校の割合】 <u>R6 小学校(2.15%)、中学校(6.41%) ※3月末現在</u> 【R5 小学校(2.12%)、中学校(6.34%)】 【R4 小学校(1.78%)、中学校(5.82%)】	B	学校教育課
保幼小、小中等の校種間連携・接続の充実		幼保小の円滑な接続を図るため、小学校教員と保育所や幼稚園の保育士や教員との連絡会を実施し、幼児と児童に係る情報交流を行った。 小学校の児童と近隣の保育所・幼稚園の幼児との交流については、遊びや学校行事、学習等での交流を行った。 また、中学校ブロックごとに児童生徒の学習状況についての情報交換や、授業などの指導方法の改善についての研修会を実施した。	A	学校教育課
進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手				

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり				
施策分野10 学校教育の充実				
施策3 健やかな身体の育成				
基本方向				
○生涯を通じて体育・スポーツ活動に親しむ能力と体力の向上を図ります。				
○知育・徳育・体育の基礎となる食育の推進とともに、現代的な健康課題への理解を深める等、健やかな身体の育成を図ります。				

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり				
施策分野10 学校教育の充実				
施策4 学びを支える安心・安全な教育環境の充実 基本方向 ○自然災害や事故などの多様な危機から子どもを守り、いかなる事態においても子どもたちの学びを止めない危機管理体制を整備します。 ○すべての子どもが将来に希望をもって成長していけるように、学びと生活の支援が充実した居場所としての学校づくりに取り組みます。 ○強い使命感と高い専門性を持つ教員の育成を図り、児童生徒が明るくいいきと学ぶ魅力ある学校づくりを目指します。 ○子どもの豊かな成長を支える教職員の資質能力の向上を図ります。				
取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課	
学校危機管理・安全対策の充実	学校では、児童生徒一人一人の状況について日常的に把握するとともに、いじめや暴力のない学校・学級づくりに努めた。 また、避難訓練や交通安全教室、とりわけ自転車の安全な乗り方など、安全教育の取組を充実させることにより、安心・安全な生活を送ることができる児童生徒の育成に努めた。	A	学校教育課	
学校施設個別計画を踏まえた改修等の実施	令和3年度から3年間は、緊急度の高い施設の改修に順次取り組むこととしており、令和6年度は、トイレの改修工事及び照明のLED改修工事を行い、学校施設の環境改善を図った。 【トイレ改修箇所】 向陽小学校中校舎、第3向陽小学校北校舎・南校舎、第5向陽小学校北校舎、勝山中学校北校舎・南校舎・体育館、西ノ岡中学校南校舎、寺戸中学校体育館 【LED改修箇所】 第3向陽小学校、第5向陽小学校、勝山中学校、西ノ岡中学校	A	文教課 公共建物整備課	
トイレ改修の計画的な推進	令和2年度 完了		文教課	
バリアフリー改修の推進 … <u>全小中学校のバリアフリースロープ等による段差解消等の改修</u> 【R7:完了】	令和2年5月のバリアフリー法の改正を踏まえ令和7年度末までに、バリアフリースロープ等の整備及びスロープ等による段差解消を完了することとしており、令和6年度は第5向陽小学校及び西ノ岡中学校においてバリアフリースロープ設置工事を行うとともに、西ノ岡中学校玄関及び体育館においてスロープ設置等による段差解消工事を実施し、安心して学べる施設整備を行った。	A	文教課 公共建物整備課	

第2次ふるさと向日市創生計画 令和6年度 進捗状況等一覧

取組及び目標		令和6年度実績	進捗状況	担当課
教職員の資質能力の向上に向けた、多様な教職員研修の充実	教職員の資質能力の向上を目的とした向日市教職員研修会を実施した。 キャリアに応じた講座を設定し、今年度は、管理職、生徒指導主任、教育相談主任、養護教諭、学年主任を対象にした「同和問題」、経験10年以上ぐらいの中堅教職員を対象にした「生徒指導」、経験1年目から10年未満までの若手教職員を対象にした「学力向上」とした。 各学校においては、学校ごとに設定した重点研究テーマに沿った校内研修の実施に加え、特別支援教育、教育相談、人権教育などの研修を実施した。 また、各学校の学力向上等に係る課題克服のため、京都府教育委員会から研究指定を受け実践研究を進めるとともに、大学教授等の専門家を講師として招いた校内研修を行うなど、各学校の児童生徒の実態や教員の状況に応じた研究等により学校の教育力を高めた。	A	学校教育課	
教育の質の向上と子どもたちの豊かな成長を目指す教職員の働き方改革の推進	市教委作成の「教育職員の勤務時間の上限等に関する方針」を踏まえ、学校運営における指導体制の充実を図るとともに、各校に業務支援員を配置し、学校業務のさらなる改善等を推進した。各学校では、これまでの取組を継続させるとともに、実態に応じ、「退勤時刻の設定」、「欠席連絡の電子化」や「ノー残業デー」の取組の徹底、会議におけるペーパーレス化など、学校業務全体の見直しを図った。 令和6年度から、保護者配布物のデジタル化を図った。	A	学校教育課	
進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手				

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野10 学校教育の充実

施策5 学校・家庭・地域の連携・協働による学校の教育力の向上

基本方向

○保護者や地域社会と連携・協働しながら、未来の創り手となる子どもの資質能力をはぐくむ「社会に開かれた教育課程」の実現を目指します。

○次代の社会の担い手としての責任を自覚し、現代社会が抱える課題に関心をもって、主体的に社会参画できる資質と能力をはぐくみます。

取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課
環境や情報などに係る現代的課題に対する関心や理解を深める教育の充実 … <u>新聞やテレビのニュースに関心がある子どもの割合</u> 【H30: 中学2年生(63.3%) → R6: 中学2年生(80%)】	各学校では、社会科や理科の授業及び総合的な学習の時間において、日常生活や社会と関連付けながら、自然環境を保全することの大切さを指導するとともに、持続可能な社会の構築(SDGs)等について考察する学習を通して、解決に向け一人一人の工夫が大切であることを指導した。また、市立図書館と連携したり、環境やSDGsに関する書籍の蔵書数を増やし、学習が充実するよう環境整備に努めた。 また、一部の小学校において、市役所及び市民会館の見学を通してゼロカーボンシティ宣言を踏まえた本市の取組について学習した。 なお、配付したタブレット端末を教科等の学習場面で活用しており、とりわけ情報ネットワーク等を活用する際には情報モラルについて指導するとともに、特別活動の時間において、スマホや携帯電話を使用する際に潜む危険を理解する指導や、トラブルを未然に防止する手段について指導した。 情報モラル教育については、企業による出前授業を実施する学校もあった。 【 <u>新聞やテレビのニュースに関心がある子どもの割合</u> 】 R6 中学2年生(85.8%)	A	学校教育課
コミュニティ・スクールの導入【R5】	令和5年度 完了		学校教育課

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

第2次ふるさと向日市創生計画 令和6年度 進捗状況等一覧

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野11 生涯学習の推進

施策1 生涯学習環境の充実

基本方向

○市民が生涯にわたり、多様な学習活動を行うことができるよう、自主的、自発的な学習活動を支援するとともに、学習機会の提供、学習の成果を活かす場や機会の充実に努めます。

取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課
ふるさと向日市の歴史を活かした講座等多様な学習機会の提供	小・中学生が西岡衆について学ぶワークショップ、古代の装飾品作りや復元古代衣裳着用体験を通じて長岡京について学ぶ催し、職員が展示準備や資料調査の中で調べたことを報告する日曜談話会、専門家が一堂に会しての物集女城跡国史跡記念シンポジウムなど、多彩なテーマと形態で多数の事業を実施し、幅広い年齢層に学習機会を提供することができた。	A	文化資料館
社会教育施設の特色を活かした学習機会と学習成果を活かした活動の場の充実	図書や雑誌などの資料購入に加え、館内では図書のテーマ展示を年間を通じて行った。また、LINE図書館案内システムや公式HP、広報、新聞をとおして情報を発信することで、さらなる学びの機会を提供することができた。 講座の実施などにより、ボランティア団体を支援し、おはなし会、本の修理、朗読会、ビブリオバトルの活動を通じて、それぞれの学びの成果を活かすことができた。 また、令和6年11月1日から電子書籍サービスの導入により、いつでもどこでも利用できる学習機会の提供をすることができるようになった。	A	図書館
	英文学者・書誌学者で和紙研究者でもあった寿岳文章の業績や居宅・向日庵について学習するとともに、本格的な紙漉きと和紙うちわ作りなどを通じて地域の歴史と和紙文化を学ぶ「夏休み親子歴史教室」を開催した。初めての試みとして、自分で漉いた和紙の葉書やうちわに筆で字を書く書道体験も取り入れ、より深く伝統文化に親しむ機会を創出することができた。 また、文化資料館を拠点として活動している自主学習グループ「むこうまち歴史サークル」への活動場所や学習資料の提供、古文書解説の助言などの支援を行った。	A	文化資料館
	プラネタリウム投影をはじめ天体観望会、天文教室、天文学講座など施設の特色を活かし、広く市民の皆様に天体に関する理解と関心を深めてもらうことを目標とした事業を実施した。 令和6年度総入場者総数は7,906人。令和5年度総入館者数は9,209人で1,303人減少した。これは、プラネタリウム室内の空調機器故障により、プラネタリウム投影を8月7日から9月29日まで（繁忙期）休止したため、観覧者数が減少したことが原因であるが、年間を通し他の事業については、多くの利用者があった。特に、定例天体観望会についてWEBでの申し込み方法が加わり申し込み人数が増加した。	A	天文館
	中央公民館及び地区公民館では、生涯学習講座や市民文化展などを開催し、市民の自主的・主体的な学習活動の支援を行った。 子どもふれあい講座（理科教室、将棋教室） 6回 参加者数153人 市民文化展 出展者数85人、出展数95点、来場者332人 市民教養講座、市民健康講座、市民文化講座及 計8回開催 参加者数284人 地区公民館趣味・教養講座 9回開催 参加者数212人 学習発表会「展示の部」 参加29クラブ、作品数773、来場者数553人 学習発表会「舞台発表」 参加7クラブ、出演者数96人、来場者数352人	A	中央公民館

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

第2次ふるさと向日市創生計画 令和6年度 進捗状況等一覧

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野11 生涯学習の推進

施策2 家庭・地域社会の教育力の向上

基本方向

○家庭教育はすべての教育の出発点であり、その担い手である保護者自身が学ぶための学習機会の充実に努めます。

○学校・家庭・地域社会が連携して、様々な活動を通して地域の絆を強め、地域全体で子どもたちをはぐくむ環境づくりを推進します。

取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課
家庭教育講座の実施等、就学前からの子どもの発達に応じた家庭教育に関する学習機会の提供	「家庭でできる『性』のお話～いつから？どんなふうに？」という題で家庭教育講座を開催し、子どもと接する際の心構えや伝え方のヒントを学ぶ機会を提供した。	A	生涯学習課
地域学校協働活動の推進等、地域社会の教育力の向上	コミュニティースクールと地域学校協働活動が一体となって「学校を核とした地域づくり」を進め、未来を担う子どもたちの成長を地域全体で支える社会を実現するために、各本部年2～3回の会議を行うなど、学校と地域の連携・協働が図れる環境づくりに努めた。また、向日市青少年健全育成連絡協議会やPTA連絡協議会など社会教育関係団体を支援し、地域社会の教育向上に努めた。	A	生涯学習課

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

第2次ふるさと向日市創生計画 令和6年度 進捗状況等一覧

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野11 生涯学習の推進

施策3 市民文化の振興

基本方向

○市民の自主的な芸術や文化活動に対する支援を行うとともに、文化事業の充実を図る等、優れた芸術文化に触れる機会の提供に努めます。

○本市の多様な歴史を活かした文化芸術資源を掘り起こし、新たな魅力を創出します。

取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課
新たな市民会館を文化芸術振興の拠点として活用	自主事業として、8月と3月に「ピアノリレーコンサート」、9月に「ヴァイオリンリサイタル」、11月に「市民音楽祭」、「市民ふるさとステージ」、3月に「ピアノコンサート」を開催するとともに、2月には乙訓文化芸術祭実行委員会主催の「乙訓文化芸術祭日本舞踊への招待」を開催した。また、市民会館を利用された市民主催のイベント等も数多く開催され、市民会館を文化芸術振興の拠点として、優れた芸術文化に触れる機会の充実に努めることができた。	A	文化推進課
文化芸術資源を活かした市民と来訪者の交流の創出 …文化資料館入館者数【R1:15,337人 → R6:19,000人】	令和6年度入館者数 13,455人(R7.3月末現在) 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度に入館者数が大幅に減少し、令和3年度・令和4年度も元の水準までは戻らなかったが、令和5年度に同感染症が5類に移行してからは増加傾向にあり、令和6年度も、前年度より開館日数が3日少なかったにも関わらず、入館者数が789人増加した。 (参考) 令和5年度 12,666人 令和4年度 10,298人 令和3年度 10,156人 令和2年度 8,214人	B	文化資料館
公共施設における貸館サービスの充実 …貸館施設予約・決済システムサービスの実施【R6:完了】	女性活躍センターあすもあに施設予約システムを導入し拡大を図った。	済	デジタル戦略課(市民会館)

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

第2次ふるさと向日市創生計画 令和6年度 進捗状況等一覧

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野12 生涯スポーツの振興

施策1 スポーツ活動の推進

基本方向

○スポーツを「する」「みる」「ささえる」を通じたスポーツ人口の拡大を目指し、市民が健康で心豊かに暮らせるよう、市民一人一人のライフステージに応じたスポーツ活動の推進とスポーツに親しめる環境の充実に努めます。

取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課
公益財団法人向日市スポーツ文化協会等との連携によるライフステージに応じたスポーツ活動の推進	公益財団法人向日市スポーツ文化協会と連携し、向日市立学校等体育施設開放事業やさまざまな世代を対象とした各種スポーツ教室を実施している。スポーツ文化協会内に事務局のあるスポーツ推進委員とも連携し、ハイキングなどの事業を広く声をかけて実施したり、各地区・団体のスポーツ事業での指導者派遣、協力依頼に応えられるよう月1回の研修会を実施している。子どもからシニアまでライフステージに応じたスポーツ環境と生涯学習の充実に取り組んだ。 「向日市スポーツ交流フェア」において、フレンドシップ協定を活用して、京都サンガサッカークリニック、京都カグヤライズ卓球クリニック、京都ハンナリーズ公開練習見学会、バスケットクリニックなどを開催した。	A	生涯学習課
防災拠点としての機能を備えた多目的グラウンドの整備検討	整備を検討するにあたり、用地や財源などの課題の抽出を行っている。	B	生涯学習課
成人がスポーツを実施する機会の充実 …成人向けスポーツ教室の開催 【R1:36回 → R6:60回】	公益財団法人向日市スポーツ文化協会と連携し、向日市立学校等体育施設開放事業やさまざまな世代を対象としたスポーツ教室の実施により、成人がスポーツを実施する機会の充実を図った。令和6年度に実施した向日市民のスポーツに関する意識調査では、成人週1回スポーツ実施率が50.1%であった。 成人向けスポーツ教室の開催数【R1:36教室(127回) → R6:22教室(806回)】	A	生涯学習課

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

施策の柱Ⅲ 信頼と協働で市民の声が届くまちづくり

施策分野1 市民協働の推進

施策1 市民のまちづくり参加の仕組みの構築

基本方向

○まちづくりの取組及び事業計画の企画・立案段階から市民の意見や意向を把握し、参画できる仕組みを構築します。

取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課
誰もがわかりやすく、利用しやすいホームページの作成や広報誌の充実	令和7年3月18日に、新CMS(コンテンツマネジメントシステム)を導入し、市ホームページの全面リニューアルを行った。新ホームページでは、誰もが目的の情報に簡便にたどり着けるようシンプルで見やすいデザインに変更したほか、新たに「申請・手続きナビ」コーナーを設け、利用したい手続きに関するチェック項目を選択するだけで欲しい情報にたどり着けるよう検索機能の充実を図った。 広報誌については、幅広い年齢層の方々に読んでいただけるよう、令和6年度に表紙・裏表紙デザインの変更を行った。掲載内容についても、写真を大きく使用した視覚的に訴える誌面作りを心がけ、また誰にでも伝わる文章となるよう記事の精査を行った。	A	企画広報課
地域コミュニティの活性化 …自治会加入率 【H30:65.5% → R6:増加】	市内8行政区へ自治振興補助金を交付し、地域の行事や自治会活動などの促進に寄与した。 また、5月に行政区長が一同に会する区長会総会を開催し、意見交換会を行うなどし各区の現状や課題を共有するとともに必要な議事等を決定した。 自治会加入促進のため、市でチラシを作成し、新たに本市に転入される方に配布するとともに、各行政区にも提供することにより、自治会加入率が向上するよう努めた。 なお、自治会加入率については、全国的に減少傾向にあり、本市においても長期的には同様の傾向を示している。(52.5%)	B	総務課
市民の主体的なまちづくり活動への支援	市民の主体的なまちづくり活動を支える環境づくりを支援するため、「かけはし交流会」や「かけはし講座」を年1回開催し、市民活動団体間の交流、情報交換の場及び学びの場を提供した。 また、京都府の地域交響プロジェクトの交付金、専門家派遣、セミナー、コーディネーター利用などの支援制度を案内し、まちづくり活動支援につながる情報を提供した。	A	広聴協働課
市民活動活性化のための情報交換ネットワークの構築 …交流・連携を主とした情報交換を行う団体数 【R3:20団体 → R6:40団体】	市民協働センター登録団体が互いに活動内容や課題を共有し合えるよう、「かけはし交流会」を開催した。 また、市民協働センターの掲示板を通じてイベント情報や募集情報を広く発信し、団体間の連携や新たな参加者が増えるきっかけづくりを支援した。 R6:19団体(R7.3月末現在)	B	広聴協働課

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

第2次ふるさと向日市創生計画 令和6年度 進捗状況等一覧

施策の柱Ⅲ 信頼と協働で市民の声が届くまちづくり

施策分野1 市民協働の推進

施策2 市民交流の推進

基本方向

○友好交流を通じた「ふるさと向日市」の再発見につなげる事業を展開するとともに、市民が市民交流に意欲を持ち市民同士が自ら交流事業を行えるまちを目指します。

取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課
幅広い分野における都市間交流の推進	京都市・向日市相互交流宣言に基づき竹結びフェスタやちびっこエコひろばを共催し、都市間交流を深めることができた。 ＜参加者数＞ ・竹結びフェスタ(京都市西京区)・・・8,000人 ・ちびっこエコひろば(京都市南区)・・・500人	A	秘書課
国際交流を通じた異文化理解の推進	竹の径・かぐやのタペにオーストリア、ミャンマーからの京都府名誉友好大使を招待し、本市の魅力を世界に向けてPRすることができた。 令和6年11月には、向日市・サラトガ市姉妹都市盟約締結40周年を記念し、サラトガ市から代表者が向日市を訪問され、記念品の交換及び交流会を実施した。 また、令和6年10月には、タイ王国の「ブッサバー少女舞踊団」が、令和7年2月にはタイ王国の高校生が向日市を表敬訪問し、伝統舞踊や伝統文化、日本語スピーチを披露するなど国際交流を図ることができた。	A	秘書課

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

第2次ふるさと向日市創生計画 令和6年度 進捗状況等一覧

施策の柱Ⅲ 信頼と協働で市民の声が届くまちづくり

施策分野2 人権・平和・男女共同参画の推進

施策1 多様性を認め合う社会の実現

基本方向

○市民一人一人がお互いの人権を尊重し合い共に生きることができるよう、人権について、学び、考え、実践していくことにより、人権という普遍的文化の構築を目指して人権教育・啓発事業に取り組むとともに、世界平和都市宣言の理念の実現に向け、平和施策を推進します。

取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課
「向日市人権教育・啓発推進計画」の推進	「第2次向日市人権教育・啓発推進計画」に基づき、市民一人ひとりの人権が尊重される社会の実現に向け、以下の取組を実施した。 【事業】 ・「平和と人権のつどい」の実施 【啓発】 ・北朝鮮人権侵害問題啓発週間に合わせ実施した、上植野浄水場配水塔の青色ライトアップ ・人権に関する市民意識調査を実施 ・人権イベントにおいて、「部落差別解消推進法」、「ヘイトスピーチ解消法」及び「障がい者差別解消法」などについてのパネル展示を実施 【人権侵害防止】 住民票不正取得するなどの個人の権利侵害を防ぐための「事前登録型本人通知制度」の周知に努め、登録数が増加した。 登録者数 R5 1,531人 ⇒ R6 1,665人(R7.3月現在)	A	広聴協働課
	第2次向日市人権教育・啓発推進計画」に基づき、人権教育の推進を図るためだれもが人権について学ぶことができるよう部落差別（同和問題）や障がいのある人への差別に関する研修会を実施した。	A	生涯学習課
京都府や近隣市町村と連携した人権教育・啓発の推進	法務局、京都府及び府内市町村、並びに乙訓人権擁護委員協議会等と連携を図りながら、街頭啓発や人権フェスタ、人権の花運動、情報誌の発行などを積極的に実施し、幅広く人権教育・啓発を展開することができた。	A	広聴協働課
平和行動計画に基づいた事業の展開	戦争の記憶を風化させないよう、第8期向日市平和行動計画に基づき、市民が平和の尊さや命の大切さについて考える機会となるよう、以下の取組を実施した。 【事業】 ・広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式への市民代表派遣 ・平和と人権のつどい ・平和書道展 ・平和親子バスツアー 【啓発】 ・平和学習DVDの貸出し ・向日市バーチャル平和資料館のコンテンツの充実	A	広聴協働課

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

第2次ふるさと向日市創生計画 令和6年度 進捗状況等一覧

施策の柱Ⅲ 信頼と協働で市民の声が届くまちづくり

施策分野2 人権・平和・男女共同参画の推進

施策2 男女共同参画社会の実現

基本方向

○男女の人権が等しく尊重され、あらゆる場において性別にかかわらず誰もがいきいきと暮らし活躍することができる男女共同参画社会の実現を目指します。

取組及び目標	令和6年度実績	進捗状況	担当課
女性活躍推進事業の充実 …女性活躍センター団体等登録数 【H30:21 → R6:65】	向日市女性活躍センターあすもあを拠点として、参加者同士が交流を図りながら、その個性や能力を十分に発揮し、自分らしい女性活躍を目指せる環境を創り出すことができた。併せて、女性の社会参画と就労支援の促進を目的に、以下の取組を実施した。 【事業】 ・あすもあマルシェ(4回開催) ・女性応援セミナー(4回開催) ・あすもあフェスティバル ・マザーズジョブカフェ共催事業 ・京都ジョブパーク共催事業(2回開催) 【環境整備】 ・向日市施設予約システムの導入 ・活動や交流の拠点としての室場の貸出 ・啓発資料の配架 女性活躍センター団体等登録数 R5:59 → R6:57(R7.3月末現在)	A	広聴協働課
ワーク・ライフ・バランスの普及・推進	ワーク・ライフ・バランスの重要性についての普及・推進を図るため、以下の取組を実施した。 【事業】 ・自分らしく生きよう！いきいきフォーラム ・男女共同参画講座 ・あすもあフェスティバル 【啓発】 ・性別による固定的役割分担意識チェックを自分らしく生きよう！いきいきフォーラムにおいて実施	A	広聴協働課

進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手

第2次ふるさと向日市創生計画 令和6年度 進捗状況等一覧

施策の柱Ⅲ 信頼と協働で市民の声が届くまちづくり							
施策分野3 行財政運営力の向上							
施策1 健全で持続可能な行財政運営							
基本方向							
○将来に渡って安定した行政サービスを行えるよう、変化する社会情勢や多様な市民ニーズに対応できる効果的・効率的な行財政運営を進めます。							
取組及び目標		令和6年度実績				進捗状況	担当課
市役所新庁舎の整備		令和2年度 完了					新庁舎・市民会館準備課
公金納付の利便性向上 …市役所窓口でのクレジットカード・電子マネーによるキャッシュレス決済の実施 【R6:完了】		市民課及び会計課窓口でお支払いいただく証明書交付手数料(住民票、戸籍、印鑑証明、税証明)について、クレジットカード等のキャッシュレス決済ができるよう、決済端末の購入や光配線工事等の整備が完了し、令和7年3月18日(火)より運用を開始した。 ○ 利用状況 6年度(令和7年3月18日～31日) 利用割合 9% (内訳)クレジットカード 42% PayPay 29% その他 29% 決済件数 72件 利用額 61,600円 支払い手数料 1,736円				済	会計課
健全財政の維持		事務の点検を行い経費の節減に努めるとともに、積極的な特定財源の確保及び交付税措置のある有利な地方債の借入に努めた。 健全化判断比率 R5 R4 R3 R2 R1 (早期健全化基準) 実質赤字比率 — — — — — (12.95) 連結実質赤字比率 — — — — — (17.95) 実質公債費比率 2.1 2.2 2.3 3.3 3.2 (25.0) 将来負担比率 — — — 8.4 0.2 (350.0) R5 R4 R3 R2 R1 財政力指数(3か年平均) 0.684 0.697 0.706 0.725 0.721 財政調整基金残高(令和5年度決算) 24億3百万円				A	財政課
進捗状況 「済」…完了 「S」…計画以上に進んでいる 「A」…計画どおり進んでいる 「B」…計画より遅れている 「C」…未着手							

(案)

第 3 次ふるさと向日市創生計画

改訂（令和 8 年度版）

向 日 市

【目次】

序論	1
基本フレーム	3
持続可能な開発目標（SDGs）	4
施策の柱Ⅰ 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり	5
施策分野1 歴史あふれるまちづくりの推進	6
" 2 産業の活性化	8
" 3 都市基盤の整備	10
" 4 ゼロカーボンシティの実現	15
" 5 循環型社会の確立	17
" 6 生活の安心・安全の確保	18
" 7 ライフラインの強化	20
施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり	21
施策分野1 少子化対策・子育て支援	22
" 2 健康づくりの推進	23
" 3 高齢者が安心して暮らせる体制の充実	24
" 4 障がい者福祉の充実	25
" 5 地域福祉の充実	26
" 6 学校教育の充実	27
" 7 生涯学習の推進	32
" 8 生涯スポーツの振興	35
施策の柱Ⅲ 信頼と協働で市民の声が届くまちづくり	37
施策分野1 市民協働の推進	38
" 2 人権・平和・男女共同参画の推進	40
" 3 自治体DXの推進	42
" 4 情報発信の充実	44

序論

（１）計画策定の目的

本市では、「歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり」「人と暮らしに明るくやさしいまちづくり」「信頼と協働で市民の声が届くまちづくり」の３つを施策の柱として、平成２７年度に「ふるさと向日市創生計画」を、令和元年度に「第２次ふるさと向日市創生計画」を策定し、達成すべき重要な施策を中心にまちづくりに取り組んでまいりました。

この間、我が国では、急速な少子高齢化や人口減少に伴う地域活力の低下等の構造的な課題がより深刻化しており、本市においても長期的には少子高齢化の進行が見込まれる中で、持続可能な社会の実現に取り組んでいかなければなりません。

また、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行や、ロシアのウクライナ侵攻に端を発する物価高騰などにより、社会経済環境が大きく変化していることに加え、気候変動による災害の激甚化・頻発化への対応が求められるなど、様々な課題が新たに生じています。

本計画は、このような状況を踏まえ、社会情勢の変化にしなやかに対応しながら、貴重な地域資源や利便性といった本市の魅力を高め発信するとともに、将来にわたって誰もが安心・安全・健康に暮らし続けられる環境づくりに取り組むことで、本市をより一層発展させ、全ての市民の皆さまが向日市のことを「ふるさと」だと思っていただけるまちづくりを推進するため策定するものです。

（２）計画の位置付け

本計画は、今後、本市が進むべき方向性を示したまちづくりの施策の柱となるものです。

（３）施策の柱

まちの魅力を広く発信する取組や、より一層の地域資源の活用、誰もが快適に暮らし続けられる地域づくり等を行い、市民の皆さまが誇りを持てるまちづくりを進めていくため、「歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり」「人と暮らしに明るくやさしいまちづくり」「信頼と協働で市民の声が届くまちづくり」の３つを本計画における施策の柱とします。

なお、本計画を推進するため、施策の柱ごとに、関連する施策分野、具体的な施策、施策の基本方向、取組及び目標を設定します。

Ⅰ 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

史跡長岡宮跡をはじめとする歴史・文化資源の活用や観光振興を進めるとともに、地域資源を活かした産業の活性化や将来を見据えた都市基盤整備事業を展開します。また、ゼロカーボンシティ（脱炭素社会）の実現を目指し、防災・防犯などへの対応による生活の安心・安全の確保に取り組むことで、活力と魅力あるまちづくりを推進します。

【施策分野】

歴史あふれるまちづくりの推進
産業の活性化
都市基盤の整備
ゼロカーボンシティの実現
循環型社会の確立
生活の安心・安全の確保
ライフラインの強化

Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

子育て支援や健康づくり、福祉・医療の充実に取り組むとともに、学校教育や生涯学習環境の整備などにより、誰もが健康でいきいきと暮らすことのできるまちづくりを推進します。

【施策分野】

少子化対策・子育て支援
健康づくりの推進
高齢者が安心して暮らせる体制の充実
障がい者福祉の充実
地域福祉の充実
学校教育の充実
生涯学習の推進
生涯スポーツの振興

Ⅲ 信頼と協働で市民の声が届くまちづくり

市民参画の機会や場の創設などに取り組み、市民の皆さまの信頼と協働によって、市民の声が届くまちづくりを進めます。また、行政のデジタル化を進め、効果的・効率的な行政運営を推進するとともに、まちの魅力発信の充実を図ります。

【施策分野】

市民協働の推進
人権・平和・男女共同参画の推進
自治体 DX の推進
情報発信の充実

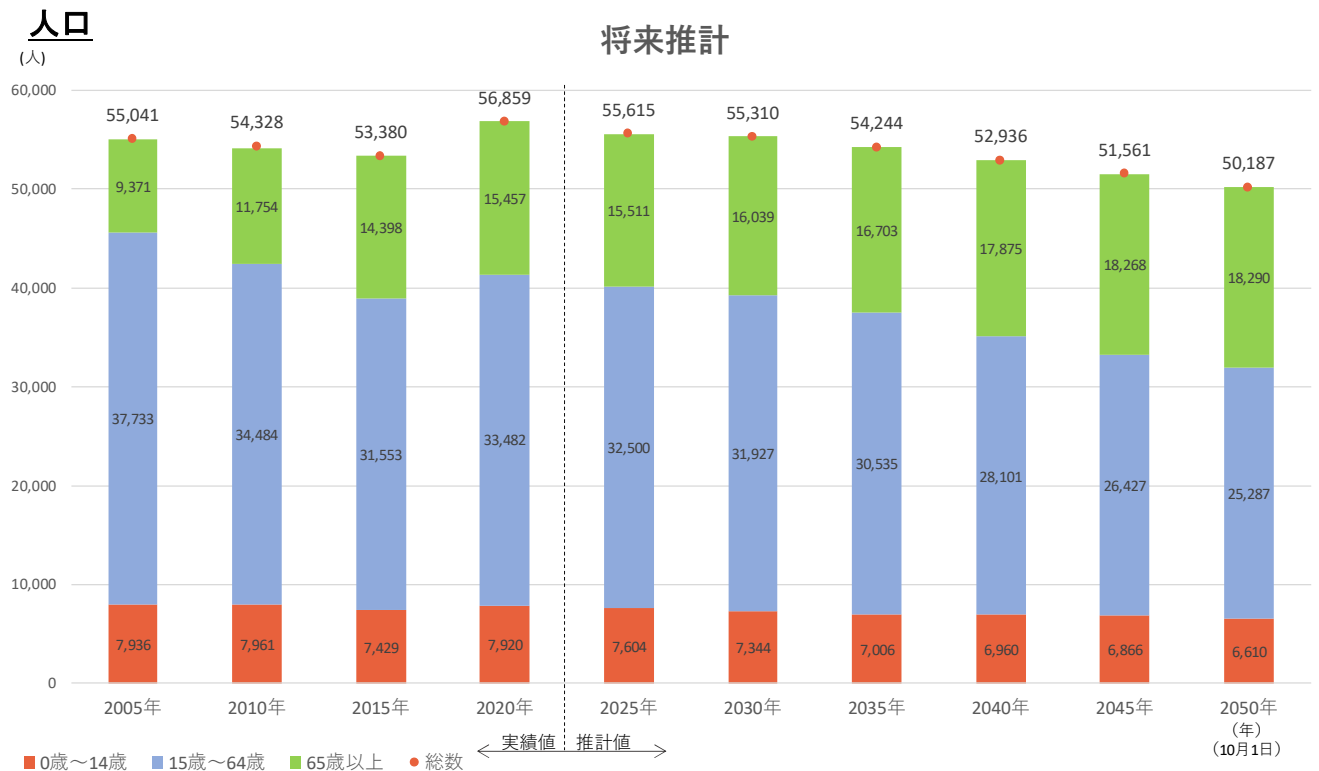
（４）計画の期間

この計画は、まちづくりの課題へ迅速に対応するとともに、次代の発展への礎を築いていくため重点的・優先的に取り組む施策を明らかにし、令和７年度から令和１１年度までの５か年度を計画期間とします。

なお、急激に変化する時代や環境の変化にスピード感を持って、しなやかに対応していくため、計画期間内においても毎年、見直しを行うものとします。

【基本フレーム（人口、土地利用）】

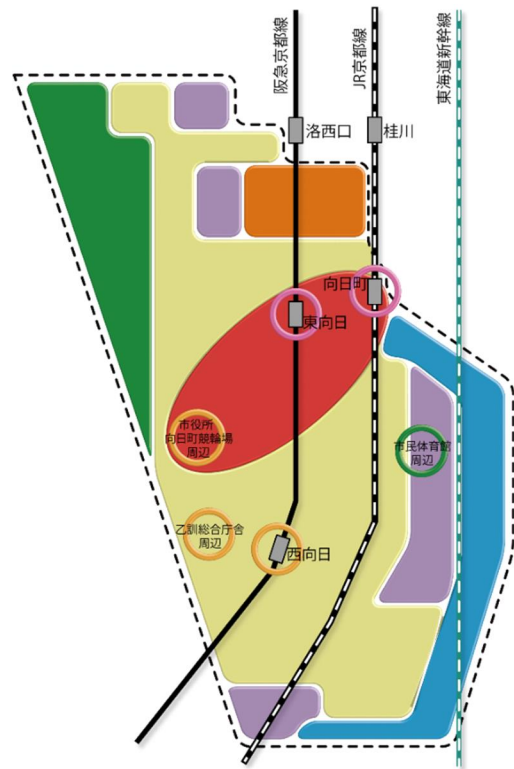
本計画を推進していく上で基本となる将来の人口推計と土地利用構想を次のように設定します。



※内訳の合計が総数と異なるのは年齢不詳者の数による。
参考：国立社会保障・人口問題研究所推計、実績値は国勢調査

土地利用

中心にぎわいゾーン	住環境との調和を図りつつ、幹線道路沿いや鉄道駅を中心に商業・業務・サービス等の多様な生活利便施設が集積し、街中を往来する人々にぎわう市の中心となるゾーン
交流にぎわいゾーン	広域的な商業・業務施設や宿泊施設など、近隣都市や広域からの来訪者のニーズも充足する機能が集積したゾーン
住居地ゾーン	うるおい空間や防災機能の充実した市民が安全で快適に生活できる居住地としてのゾーン
産業ゾーン	京阪神大都市に近く、幹線道路沿道という立地条件を活かした工業・流通業の集積地として、また、新たな産業を創出する場として、本市のものづくりを支えるゾーン
丘陵緑地ゾーン	豊かな自然緑地及び歴史・文化資源を保全・活用し、市民や来訪者のレクリエーションの場としてのゾーン
維持活用ゾーン	都市近郊農業の場として、また、新たな産業（農産業含む）や雇用の場の創出を図る際の余力として、適切な維持管理とまちの活性化に向けた都市的な利用も検討するゾーン



第3次向日市都市計画マスタープランより（令和7年4月1日時点）
※今後の改定状況により、変更の可能性があります。

【持続可能な開発目標（SDGs）】

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットにおいて、全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2030年を達成年限とする国際社会の共通目標です。

SDGsは、17の目標（ゴール）と169のターゲットから構成されており、地球上の「**誰一人取り残さない**」**持続可能で多様性と包摂性のある社会**の実現を基本理念としています。

本計画では、各施策の推進が、主にSDGsにおけるどの目標に資するかについて、アイコンで表示しています。



施策の柱 1

歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

＜施策分野 1＞歴史あふれるまちづくりの推進

＜施策分野 2＞産業の活性化

＜施策分野 3＞都市基盤の整備

＜施策分野 4＞ゼロカーボンシティの実現

＜施策分野 5＞循環型社会の確立

＜施策分野 6＞生活の安心・安全の確保

＜施策分野 7＞ライフラインの強化

<<施策分野1>>歴史あふれるまちづくりの推進

施策1 歴史・文化資源の整備と活用



■基本方向

○史跡長岡宮跡や史跡乙訓古墳群等市内に所在する文化財の保護及び積極的な整備・活用に努め、文化財を通じて市民の郷土愛を深める施策を推進し、その価値を未来に継承します。

■取組及び目標

取組及び目標	
世代を越えた多くの人々が文化財を身近に感じられる施策の推進 …文化財紹介動画を手軽に再生できる QR コード設置 【R5：0 か所 → R11：10 か所】	
国指定史跡物集女城跡の整備	取組名の変更

施策２ 観光振興の推進



■基本方向

- 「観る・食べる・買う」を充実させるとともに、国内外から積極的に観光客を誘致し地域経済の活性化を図るため、市内商工業の振興と合わせた、総合的、多角的な観光施策を推進します。

■取組及び目標

取組及び目標
向日市観光交流センターにおける観光誘客のための事業の実施 …来館者数【R5：88,610人 → R11：111,000人】
「竹の径」来訪者のための憩いの空間整備
土産等特産品の開発・認定 …開発・認定件数【R5：8件(H27～R5累計) → R11：20件(R7～11累計)】
観光入込客数【R5：328,316人 → R11：765,000人】
観光消費額【R5：50,658千円 → R11：338,000千円】
京都アリーナ（仮称）を活用した観光客誘致イベントの開催の検討

《施策分野2》産業の活性化

施策1 商工業の活性化



■基本方向

○計画期間中に整備が予定されている京都アリーナ（仮称）の活用をはじめとした商工業の活性化の方策について、向日市商工会や金融機関とともに検討・実施し、雇用の創出や市域全体への経済効果の波及を目指します。

■取組及び目標

取組及び目標
ものづくり産業などへの販路開拓支援 …支援件数【R5：6件 → R11：30件（R7～11累計）】
創業希望者へのきめ細かな支援 …創業件数【R5：36件（R2～5累計） → R11：50件（R7～11累計）】

施策2 農業の活性化



■基本方向

○新鮮で安心・安全な農産物を提供するために地産地消を推進するとともに、担い手の育成や農業資源を活用した農商工の連携を推進し、やりがいのある農業経営を支援します。

■取組及び目標

取組及び目標
地元農産物の販路拡大 …地元農産物の販売場所の拡大【R5：2か所 → R11：3か所】
地産地消の促進 …向日市観光交流センターの活用を軸とした地場製品の更なる販売促進

《施策分野3》都市基盤の整備

施策1 道路整備の推進



■基本方向

- 都市計画道路や幹線市道の整備を推進することで幹線道路のネットワーク及び交通の分散化を図ります。また、いろは呑龍トンネルが完全供用され、浸水安全度が改善されたことから、既存開水路を歩行空間に有効活用します。
- 市民生活に密着した生活道路の整備を推進することで、安全で快適な住環境づくりを目指します。

■取組及び目標

取組及び目標
都市計画道路及び幹線市道の整備 …整備路線【都市計画道路御陵山崎線及び牛ヶ瀬馬場線、第3064号線、第1083号線、物集女寺戸幹線】
生活道路の整備 …【7路線整備完了（R7～11累計）】
交通安全対策の一層の推進 …通学路【5箇所整備完了（R7～11累計）】 …自転車利用促進計画の策定【R7：完了】及び自転車通行レーンの整備【2路線整備完了（R7～11累計）】

※図1及び図2参照

図1 令和11年度 都市計画道路及び幹線市道の整備完了路線

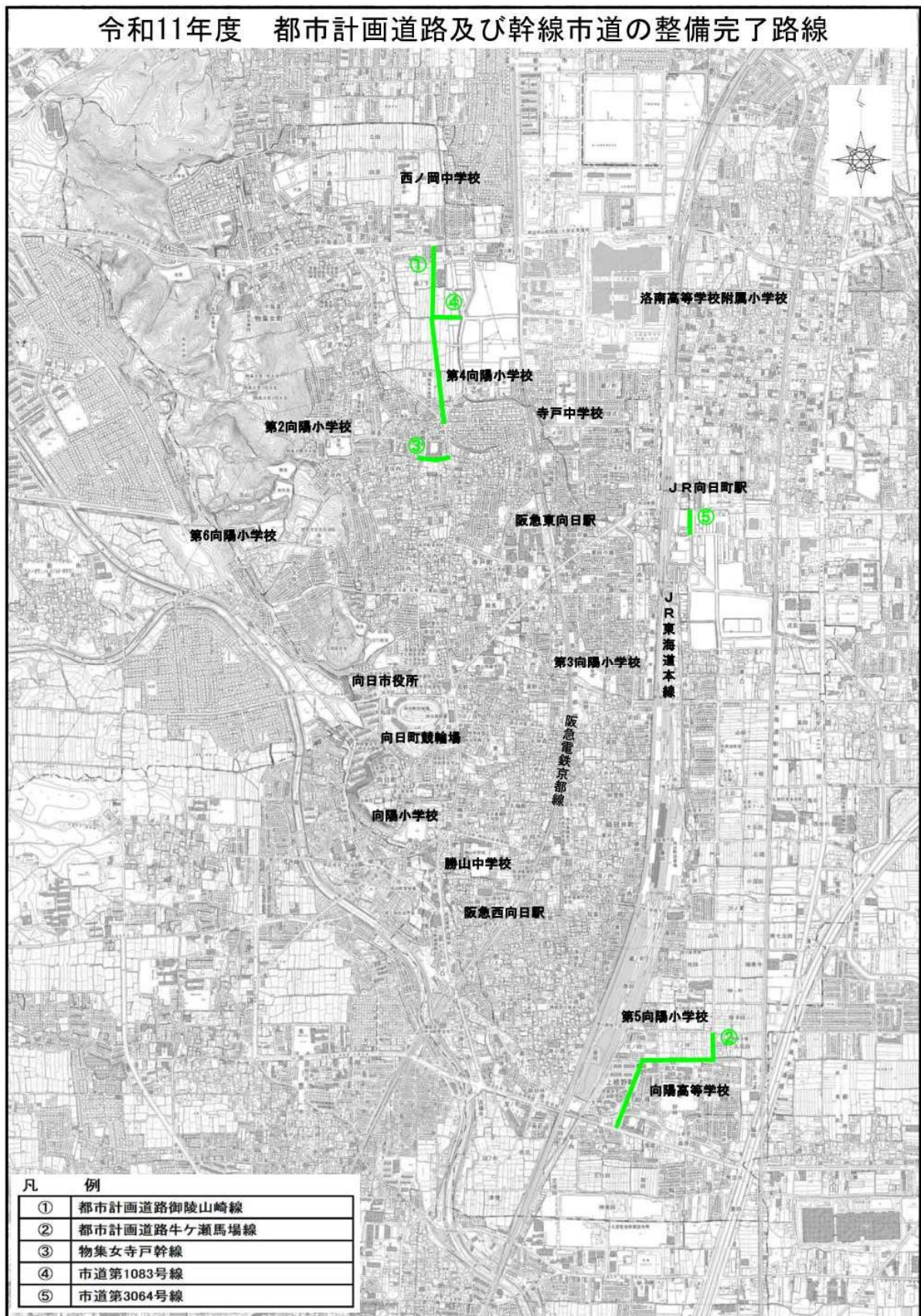
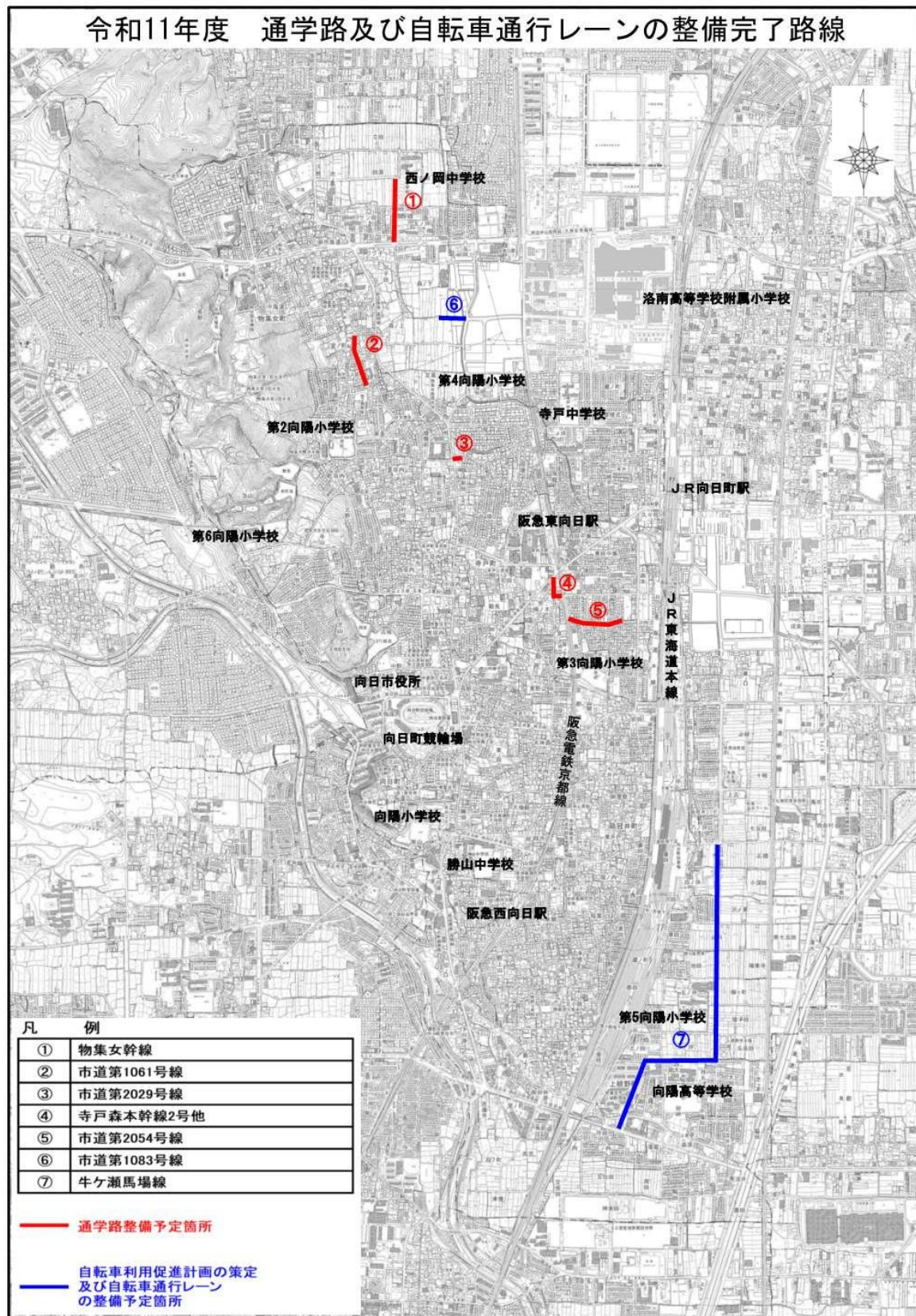


図2 令和11年度 通学路及び自転車通行レーンの整備完了路線



施策2 快適で安全便利なまちづくり



■基本方向

○市民の利便性の向上と産業・観光の振興を図るとともに、都市計画制度を活用した快適で安全便利なまちづくりを推進します。

■取組及び目標

取組及び目標
幹線道路沿道のにぎわい創出に向けた都市計画変更
土地利用の転換による事業所の誘致事業の推進
地域特性に応じたまちづくり計画等の支援
歩行者の移動経路におけるベンチ等の休憩施設の整備 …【100基（R7～11累計）】
ぐるっとむこうバスをはじめとする公共交通の利用促進 …向日市運転免許証自主返納支援事業の申請者【R5：702人 → R11：1,600人】
地籍調査の推進 …地籍整備率【R5：8% → R11：12%】
空家等対策計画に基づいた空家等の適正管理の推進
名神高速道路スマートインターチェンジ*1開設に向けた検討

*1 スマートインターチェンジ

… 高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリア、バスストップから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、通行可能な車両を、ETCを搭載した車両に限定しているインターチェンジのことをいいます。

施策3 駅周辺の都市基盤整備



■基本方向

- 東西自由通路や東口駅前広場など、ＪＲ向日町駅周辺を整備し、駅への利便性や安全性を向上させ、中心にぎわいゾーンへの都市機能の誘導を図るとともに、西口駅前広場の改良を検討します。
- 阪急京都線の連続立体交差の検討を行うとともに、阪急東向日駅周辺の整備を推進します。

■取組及び目標

取組及び目標
ＪＲ向日町駅周辺整備事業の推進 …東西自由通路・東口駅前広場の整備【Ｒ10：供用開始】 …西口駅前広場の改良検討 …市街地再開発事業による再開発ビル整備の推進
阪急京都線連続立体交差の検討及び駅周辺整備の推進

<<施策分野4>>ゼロカーボンシティの実現

施策1 気候変動対策の推進



■基本方向

○市民・事業者・行政が一体となって気候変動対策を進め、本市が掲げる2050年（令和32年）におけるゼロカーボンシティの実現を目指します。

■取組及び目標

取組及び目標
太陽光など再生可能エネルギーの利用推進 …戸建住宅の太陽光発電設備設置件数【R4：994件 → R13：1,800件】 地球温暖化対策実行計画【区域施策編】（令和4年10月策定）より
公用車における電動車の導入 …電動車導入率【R5：64.5% → R12：100%】 （代替可能な電動車が無い場合を除く。） 第2次向日市地球温暖化対策実行計画【事務事業編】より
公共施設におけるLED照明の導入推進 …LED照明導入率【R4：60% → R13：100%】 地球温暖化対策実行計画【区域施策編】（令和4年10月策定）より
温室効果ガス排出量の削減 …市公共施設における温室効果ガス排出量削減率 【R4：23.6% → R12：50%】 第2次向日市地球温暖化対策実行計画【事務事業編】より

施策２ 緑の保全



■基本方向

○本市を象徴する緑である竹林や、市内における公園の適正な維持管理を通じて、自然環境の保全や都市緑化に努めます。

■取組及び目標

取組及び目標
放置竹林対策の実施 …市民ボランティアによる竹林保全【R6：2か所 → R11：3か所】
公園等における緑地の適正管理

《施策分野5》循環型社会の確立

施策1 ごみの減量と資源化の推進



■基本方向

○ごみの減量と資源化への取組を強化し、持続可能な循環型社会を目指します。

■取組及び目標

取組及び目標	
ごみの発生抑制 …家庭系収集ごみ量【R5：452 g/日・人 → R11：442413 g/日・人】 向日市一般廃棄物処理基本計画より …ごみ総排出量【R5：13,450t → R11：13,218t】 向日市一般廃棄物処理基本計画より	目標数値 の見直し
ごみ減量と分別の啓発強化のためのごみ分別アプリ利用推進 …ごみ分別アプリダウンロード件数【R5：4,067 件 → R11：6,500 件】	
資源ごみの再生利用（リサイクル）推進 …再生利用率【R5：10.3% → R11：12.4%】 向日市一般廃棄物処理基本計画より	

≪施策分野6≫生活の安心・安全の確保

施策1 災害対策・地域防災の充実



■基本方向

- 自助・共助・公助の連携によりあらゆる災害に対する備えが強化され、誰もが安心して暮らすことのできるまちを目指します。
- 地震や大雨、台風などの災害に対する自助意識の醸成と高揚を図り共助を高めます。
- 情報伝達体制の強化や避難支援体制の整備、避難所運営体制の充実等、災害時の市民の安心・安全を守る取組を推進します。
- 自主防災組織や消防団活動を支援し、火災や事故などの災害への対応能力向上を図ります。

■取組及び目標

取組及び目標
防災マップの周知 …防災出前講座・出前授業の実施回数・参加人数 【R5：8回・521人 → R11：50回・3,500人（R7～11累計）】
桂川・小畑川氾濫時などにおける情報伝達体制の強化
要支援者に対する避難支援体制の整備
地域における避難所運営訓練の実施 …訓練回数【毎年1回実施】
災害備蓄物資の計画的な購入
土砂災害特別警戒区域対策の推進
自治会・町内会の自主防災組織への自主防災用器具設置の推進 …自治会等自主防火防災用器具設置補助 【R5：107団体（H31～R5累計） → R11：125団体（R7～11累計）】
消防団による地域における警戒活動・訓練の実施
京都アリーナ（仮称）の地域防災拠点としての活用検討

施策2 防犯力の強化



■基本方向

- 地域力を活かした市民ぐるみの防犯運動を推進します。
- 防犯カメラを活用して犯罪の未然防止を図るなど、地域の防犯力を高めます。

■取組及び目標

取組及び目標
地域の防犯ボランティア団体との連携充実
防犯カメラによる地域防犯力の強化 …自治会等への防犯カメラ整備補助による稼働台数【R5：20台 → R11：30台】

<<施策分野7>>ライフラインの強化

施策1 上下水道事業の安定経営



基本方向

- 効率的な施設運営を図るとともに、更なる経営改善に努め、運営基盤を強化します。
- 水道施設を強化し、災害時や緊急時でも安全で良質な水を安定供給します。
- 下水道施設の長寿命化を図るため、予防保全型の維持管理^{*1}を行います。

取組及び目標

取組及び目標
上下水道事業経営の改善 …水道事業 企業債残高対給水収益比率【R5：312% → R15：290%】 向日市上下水道事業経営戦略(向日市水道ビジョン)より …下水道事業 経常収支比率【R5：100.4% → R15：100%以上】 向日市上下水道事業経営戦略(向日市水道ビジョン)より
水道管路の耐震化 …重要な管路（基幹管路）の耐震適合率【R5：32.8% → R10：60%】
下水道施設の長寿命化の推進 …マンホール等管路施設の内部の点検及び調査【R7～11 累計 500 か所】

^{*1} 予防保全型の維持管理

- … 污水管及びマンホール等の管路施設の損傷を早期に見つけ、事故や大規模な修繕に至る前に対策を実施する管理方法のことをいいます。

施策の柱 2

人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

＜施策分野 1＞少子化対策・子育て支援

＜施策分野 2＞健康づくりの推進

＜施策分野 3＞高齢者が安心して暮らせる体制の充実

＜施策分野 4＞障がい者福祉の充実

＜施策分野 5＞地域福祉の充実

＜施策分野 6＞学校教育の充実

＜施策分野 7＞生涯学習の推進

＜施策分野 8＞生涯スポーツの振興

《施策分野1》少子化対策・子育て支援

施策1 安心して産み育てる体制づくり



■基本方向

○安心して子どもを産み、健やかに育てることができる環境づくりを推進します。

■取組及び目標

取組及び目標
幼児教育・保育のベストマッチを推進 …待機児童 【待機児童0人を継続】
子どもの育ちを応援 …こども誰でも通園制度 【こども誰でも通園施設 R8：1か所】
子ども虐待の未然防止対策の推進 …前向き子育て講座修了者数（延べ人数）【R5：8人 → R11：60人】
放課後の児童の居場所拡充 …民間放課後児童クラブの開設支援等
妊娠から出産まで切れ目ない相談支援の実施 …妊娠届出時、出生後のニーズ把握と支援プラン作成の実施割合 【ニーズ把握と支援プラン作成の実施割合：100%】

《施策分野2》健康づくりの推進

施策1 生活習慣病予防による健康生活への支援



■基本方向

- 市民が主体的に健（検）診を受け、生活習慣の改善等の健康づくりに取り組めるよう支援します。
- 生活習慣病予防と介護予防との一体的な健康づくりを推進します。

■取組及び目標

取組及び目標
特定健診の受診率向上 …受診率（向日市国民健康保険実施分）【R5：41.4% → R11：60%】 向日市保健事業実施計画 第3期データヘルス計画（第4期特定健康診査等実施計画） 向日市健康づくり計画 第4期向日市保健計画 第2期向日市食育推進計画より
特定保健指導の実施 …実施率（向日市国民健康保険実施分）【実施率 70%以上を維持】 …特定保健指導対象者の減少率*1【R5：17.1% → 毎年度 25%以上を維持】
糖尿病など生活習慣病の重症化予防 …糖尿病の保健指導（対象：特定健診結果が HbA1c6.5%以上かつ eGFR45～60ml/分/1.73 m ² 未満の者）を実施した割合 【R5：68.6% → R11：75%以上】
長寿健康診査の受診結果を活用した介護予防 …長寿健康診査受診率【R5：49.9% → R11：65%】 …高血圧の保健指導・受診勧奨（対象：血圧 160/100mmHg 以上かつ未治療の者）を実施した割合【R5：75.9% → R11：80%】
がん検診の受診勧奨、がん予防の啓発 …大腸がん検診受診率（向日市国民健康保険加入者）【R5：18.1% → R11：23.0%】 …乳がん検診受診率（向日市国民健康保険加入者）【R5：11.8% → R11：18.0%】
自発的な健康づくりの推進 …ウォーキングアプリ登録者数（R6.10月開始） 【R6：1,049人（R7.3.1現在） → R11：3,000人】

*1 特定保健指導対象者の減少率

… 前年度と当該年度共に特定健診を受診した者の内、前年度特定保健指導の対象で、当該年度特定保健指導の対象ではなくなった者の割合のことをいいます。

≪施策分野3≫高齢者が安心して暮らせる体制の充実

施策1 地域包括ケアシステムの推進



■基本方向

○高齢者が住み慣れた地域で暮らせるよう、通いの場や介護予防の場、見守り体制など地域全体で高齢者を支える地域包括ケアシステムの機能強化を図ります。

■取組及び目標

取組及び目標
生活支援コーディネーター*1と協議体の設置による生活支援体制づくり …住民主体で介護予防に資する取組を実施する通いの場の数（はつらつサロン登録団体数） 【R5：22 か所 → 毎年度 2 か所新規立ち上げ】 こうふくプラン向日（第 10 次向日市高齢者福祉計画 第9期向日市介護保険事業計画） より
介護予防・重度化防止の推進 …調整済み認定率*2（重度（要介護 3～5）） 【R5：向日市 5.7%、京都府 6.0% → R11：京都府数値以下】
認知症高齢者を支える体制づくり …認知症サポーター*3数（認知症サポーター養成講座受講者数） 【R5：9,732 人 → R11：11,000 人】 こうふくプラン向日（第 10 次向日市高齢者福祉計画 第9期向日市介護保険事業計画） より …見守り SOS ネットワーク*4 協力事業所（登録事業所数） 【R5：124 か所 → 毎年度 5 か所新規登録】 こうふくプラン向日（第 10 次向日市高齢者福祉計画 第9期向日市介護保険事業計画） より

*1 生活支援コーディネーター

… 別名「地域支え合い推進員」といいます。高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす人のことをいいます。

*2 調整済み認定率

… 認定率の大小に大きな影響を及ぼす「第 1 号被保険者（市町村の区域内に住所を有する 65 歳以上の者）の性・年齢別人口構成」の影響を除外した認定率のことをいいます。

*3 認知症サポーター

… 認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職域で認知症の人や家族に対して出来る範囲での手助けをする人のことをいいます。

*4 見守り SOS ネットワーク

… 認知機能が低下した高齢者が行方不明になった際に早期発見・保護を含め地域全体で捜索する体制のことをいいます。

《施策分野4》障がい者福祉の充実

施策1 安心して暮らし続けられる共生社会の実現



■基本方向

○障がいの有無にかかわらず、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる施策の充実に努めます。

■取組及び目標

取組及び目標
相談支援体制の強化 …計画相談支援事業所数【R5：5 か所 → R11：6 か所】
地域での生活を支援する福祉サービスの充実 …就労継続支援事業所（A型 ^{*1} ・B型 ^{*2} ）の利用者数（延べ人数） 【R5：2,364 人 → R11：2,700 人】
手話言語条例の啓発・推進 …医療・介護現場における手話の普及【R5：未実施 → R11：実施】

*1 就労継続支援事業所A型

… 事業者と雇用関係を結び、就労機会の提供、知識や能力の向上のために必要な訓練などを行います。

*2 就労継続支援事業所B型

… 事業者と雇用関係を結ばず、一定の賃金水準に基づく就労機会の提供、就労に必要な知識・能力の向上を図る訓練を行います。

《施策分野5》地域福祉の充実

施策1 福祉のまちづくりの推進



■基本方向

○市民一人一人がご近所や地域で助け合い、支え合えるまちづくりを進めます。

■取組及び目標

取組及び目標
地域共生社会実現サポート事業の推進 …実施事業数【R5：3事業 → R11：15事業（R7～11累計）】
地域の見守りネットワーク事業の推進 …協定事業者数【R5：15か所 → 毎年度1か所新規協定締結】

《施策分野6》学校教育の充実

施策1 豊かな学びの創造と確かな学力の育成



■基本方向

○児童生徒が学ぶことの意義や楽しさを感じられる多様な学びの実現に努めるとともに、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行い、確かな学力^{*1}をはぐくむ教育を推進します。

■取組及び目標

取組及び目標
「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善 …授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていた子どもの割合 【R5：小学6年生（国 88%・算 79%）、中学3年生（国 76%・数 72%・英 96%） → R11：小学6年生（国・算）、中学3年生（国・数・英）各教科 90%以上】
ICTを効果的に活用した授業の実施 …学習するときに、ICT端末を使うことで学習内容が理解しやすくなる子どもの割合 【R5：小学6年生（76%）、中学3年生（82%） → R11：増加】
小中の接続を重視した外国語教育の実施 …英語検定3級の取得割合 【R5：中学3年生（38.5%） → R9：60%以上】
伝統や文化、芸術に関する教育の推進
ふるさと向日市への愛着と誇りをはぐくむ「ふるさと学習」の充実 …今住んでいる地域の自然や歴史について関心がある子どもの割合 【R5：小学6年生（88.950.6%）、中学3年生（91.028.3%） → R11：増加】

目標基礎
実績数値
の修正

*1 確かな学力

… 「基礎的・基本的な知識・技能の習得」「知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの要素が統合された学力のことをいいます。

施策2 豊かな人間性の育成と多様性の尊重



■基本方向

- 一人一人の尊厳と人権が尊重され、個性の違いや多様性を認め合い、主体的に行動し、自らの能力を最大限に発揮することができる教育を推進します。
- 多様な考えや価値観に触れることを通じて、人を思いやり尊重する心を育てるとともに、自らの考えや思いを伝えながら感性や情緒、創造力や表現力をはぐくみます。
- すべての児童生徒が安心して通うことができ、楽しく過ごすことができる学校づくりに取り組みます。

■取組及び目標

取組及び目標
あらゆる人権問題の解決に向けて、自ら考え行動できる児童生徒の育成 …人が困っているときは進んで助けようとする子どもの割合 【R5：小学6年生（86.3%）、中学3年生（82.8%） → R11：90%以上】
道徳教育の推進、体験活動や読書活動の充実 …人の気持ちが分かる人間になりたいと思う子どもの割合 【R5：小学6年生（96.5%）、中学3年生（97.5%） → R11：増加】
読書活動を通じた創造力・表現力等の育成 …読書が好きな子どもの割合 【R5：小学6年生（70.9%）、中学3年生（66.5%） → R11：80%以上】
障がいのある子どもの自立や社会参加を目指した特別支援教育の充実
授業のユニバーサルデザイン化など一人一人を大切にした指導の充実
いじめや暴力行為の防止対策の充実
教育支援センターを中心とした不登校の子どもへのきめ細やかな支援の充実
幼保小、小中等の校種間連携・接続の充実

施策3 健やかな身体の育成



■基本方向

- 「スポーツどころ」*1をはぐくむ教育の推進を図ります。
- 学校・家庭・地域が一体となって健康的な生活習慣を確立する教育を推進します。

■取組及び目標

取組及び目標
スポーツの機会の充実 …運動やスポーツをすることが「好き・やや好き」と思う子どもの割合 【R11：90%以上（参考：京都府 小学5年生 男（92.5%）女（84.4%）、中学2年生 男（88.8%）女（73.7%））】
食に関する授業の充実等による食育の推進

*1 「スポーツどころ」

… 「感動」「楽しみ」「健康」「挑戦」「つながり」「公正」といった、人々が日々の生活の中で「よしっ！」「さあ！」「やってみよう！」という前向きで積極的な心のありようの総称のことをいいます。

施策4 学びを支える安心・安全な教育環境の充実



■基本方向

- 自然災害や事故などの多様な危機から子どもを守り、いかなる事態においても子どもたちの学びを止めない危機管理体制を整備します。
- すべての子どもが将来に希望をもって成長していけるように、学びと生活の支援が充実した居場所としての学校づくりに取り組みます。
- 強い使命感と高い専門性を持つ教員の育成を図り、児童生徒が明るくいきいきと学ぶ魅力ある学校づくりを目指します。
- 子どもの豊かな成長を支える教職員の資質能力の向上を図ります。

■取組及び目標

取組及び目標
学校危機管理・安全対策の充実
第2 向陽小学校を始めとする改修
バリアフリー改修の推進 …全小中学校のバリアフリースイレ、スロープによる段差解消の改修等 【R7：完了】
教職員の資質能力の向上に向けた、多様な教職員研修の充実
教育の質の向上と子どもたちの豊かな成長を目指す教職員の働き方改革の推進 …市立学校教職員における1か月の時間外在校時間45時間以内の割合 【R5：小学校（57.4%）、中学校（45.2%） → R11：100%】

施策5 学校・家庭・地域の連携・協働による学校の教育力の向上



■基本方向

- 保護者や地域社会と連携・協働しながら、未来の創り手となる子どもの資質能力をはぐくむ「社会に開かれた教育課程」の実現を目指します。
- 次代の社会の担い手としての責任を自覚し、現代社会が抱える課題に関心をもって、主体的に社会参画できる資質と能力をはぐくみます。

■取組及び目標

取組及び目標
環境や情報などに係る現代的課題に対する関心や理解を深める教育の充実 …調べたいことについて納得するまで調べる子どもの割合 【R5：小学6年生（69%）、中学3年生（77%） → R11：80%以上】
コミュニティ・スクール*1の推進 …「学校と地域が情報を共有し、地域が学校に協力的になった」と思う学校運営協議会委員の割合【R11：70%以上】

*1 コミュニティ・スクール

… 地域住民や保護者等が学校運営に参画する仕組みとして、学校運営協議会制度を導入した学校のことをいいます。

《施策分野7》生涯学習の推進

施策1 生涯学習環境の充実



■基本方向

○市民が生涯にわたり、多様な学習活動を行うことができるよう、自主的、自発的な学習活動を支援するとともに、学習機会の提供、学習の成果を活かす場や機会の充実に努めます。

■取組及び目標

取組及び目標
ふるさと向日市の歴史を活かした講座等多様な学習機会の提供 …特別展又は企画展、文化講演会、歴史講座、日曜談話会の開催 【毎年度各1回以上】
社会教育施設の特色を活かした学習機会と学習成果を活かした活動の場の充実 …本を介した学習機会の提供及び読書推進に向けた活動の場の拡充 …夏休み親子歴史教室など次世代向けの体験事業やむこうまち歴史サークルへの活動支援を通じた、学習機会と活動の場の提供 …市民の教養の向上、生活文化の振興に寄与するため、講座や市民文化展、学習発表会の開催
寺戸公民館の整備

施策2 家庭・地域社会の教育力の向上



■基本方向

- 家庭教育はすべての教育の出発点であり、その担い手である保護者自身が学ぶための学習機会の充実に努めます。
- 学校・家庭・地域社会が連携して、様々な活動を通して地域の絆を強め、地域全体で子どもたちをはぐくむ環境づくりを推進します。

■取組及び目標

取組及び目標
家庭教育講座の実施等、就学前からの子どもの発達に応じた家庭教育に関する学習機会の提供
地域学校協働活動の推進等、地域社会の教育力の向上

施策3 市民文化の振興



■基本方向

- 市民の自主的な芸術や文化活動に対する支援を行うとともに、文化事業の充実を図る等、優れた芸術文化に触れる機会の提供に努めます。
- 本市の多様な歴史を活かした文化芸術資源を掘り起こし、新たな魅力を創出します。

■取組及び目標

取組及び目標
市民会館を活用した文化芸術の振興 …市民会館来館者数【R5：38,473人 → R11：45,000人】
歴史資源の活用と文化資料館利用者の利便性の向上 …収蔵資料等データベースでの資料公開件数 【R5：3,352件 → R11：3,500件】
京都アリーナ（仮称）を活用した文化芸術の振興の検討

《施策分野8》生涯スポーツの振興

施策1 スポーツ活動の推進



■基本方向

○スポーツを「する」「みる」「ささえる」*1を通じたスポーツ人口の拡大を目指し、市民が健康で心豊かに暮らせるよう、市民一人一人のライフステージに応じたスポーツ活動の推進とスポーツに親しめる環境の充実に努めます。

■取組及び目標

取組及び目標
公益財団法人向日市スポーツ文化協会等との連携によるライフステージに応じたスポーツ活動の推進
防災拠点としての機能を備えた多目的グラウンドの整備検討
京都アリーナ（仮称）を活用したスポーツ活動の促進の検討
成人がスポーツを実施する機会の充実 …成人の週1回以上のスポーツ実施率【R6：50.1% → R12：65%程度】 向日市スポーツ推進計画より
市民温水プールの再整備

*1 「する」「みる」「ささえる」

… 文部科学省が策定する「第3期スポーツ基本計画」において示されている、スポーツの捉え方の概念。スポーツは「する」「みる」「ささえる」という様々な形での「自発的な」参画を通して、「楽しさ」や「喜び」を感じることに本質を持つもの、として捉えることとされています。

施策の柱 3

信頼と協働で市民の声が届くまちづくり

《施策分野 1》市民協働の推進

《施策分野 2》人権・平和・男女共同参画の推進

《施策分野 3》自治体 DX の推進

《施策分野 4》情報発信の充実

《施策分野1》市民協働の推進

施策1 市民のまちづくり参加の仕組みの構築



■基本方向

○まちづくりの取組及び事業計画の企画・立案段階から市民の意見や意向を把握し、参画できる仕組みを構築します。

■取組及び目標

取組及び目標
地域コミュニティの活性化 …関係補助金の利用件数 【向日市ががんばる地域応援事業補助金 R5：0件 → R11：10件】
市民の主体的なまちづくり活動への支援 …交流・連携を主とした情報交換を行う団体数【R5：20団体 → R11：40団体】
市民交流の場としての京都アリーナ（仮称）の活用の検討

施策２ 市民交流の推進



■基本方向

○友好交流を通じた「ふるさと向日市」の再発見につなげる事業を展開するとともに、市民が市民交流に意欲を持ち市民同士が自ら交流事業を行えるまちを目指します。

■取組及び目標

取組及び目標
幅広い分野における都市間交流の推進
国際交流を通じた異文化理解の推進

《施策分野2》人権・平和・男女共同参画の推進

施策1 互いの人権を認め合うまちづくり



■基本方向

○市民一人一人がお互いの人権を尊重し合い共に生きることができるよう、人権について、学び、考え、実践していくことにより、人権という普遍的文化の構築を目指して人権教育・啓発事業に取り組むとともに、世界平和都市宣言の理念の実現に向け、平和施策を推進します。

■取組及び目標

取組及び目標
「向日市人権教育・啓発推進計画」の推進
京都府や近隣市町村と連携した人権教育・啓発の推進
平和行動計画に基づいた事業の展開

施策2 男女共同参画社会の実現



■基本方向

○すべての市民一人一人の人権が尊重され、あらゆる場において性別にかかわらず性の多様性を尊重し、誰もがいきいきと暮らし活躍することができる男女共同参画社会の実現を目指します。

■取組及び目標

取組及び目標
女性活躍推進事業の充実 …女性活躍センター利用者数 【R5：5,453人 → R11：6,500人】
ワーク・ライフ・バランスの普及・推進 …男性が育児や介護で休みをとったほうがよいと思う市民の割合 【R6：84.8% → R11：90%以上】
性の多様性に関する正しい知識の普及啓発 …LGBTQ、性的少数者の認知度 【R6：60.9% → R11：80%以上】

≪施策分野3≫自治体 DX の推進

施策1 デジタル行政の推進による効率的な行財政運営



■基本方向

- 行政のデジタル化を推進し、市民の利便性向上や業務の効率化を図ります。
- 将来に渡って安定した行政サービスを行えるよう、変化する社会情勢や多様な市民ニーズに対応できる効果的・効率的な行財政運営を進めます。

■取組及び目標

取組及び目標
行かない窓口*¹（オンライン申請）の推進 …オンライン申請件数【R5：3,782件 → R11：10,000件】 （内びったりサービス* ² による申請 R6：100件→R8：3,000件） …オンラインで実施できる申請手続の件数【R5：25件 → R11：100件】 （内びったりサービスによる手続件数 R6：5件 → R8：20件） …オンライン申請利用者の満足度【R5：— → R11：4.0（5段階評価）】
書かない窓口*³の推進 …窓口タブレットソリューション* ⁴ の利用回数【R5：0件 → R11：7,000件】 （内びったりサービスを活用した窓口タブレットの利用回数 R6：500件→R8：4,000件） …窓口タブレットソリューション利用者の満足度【R5：— → R11：4.0（5段階評価）】
電子書籍サービス「どこでも図書館」の利用促進 …「どこでも図書館」コンテンツ数【R5：0件 → R11：3,000件】 …「どこでも図書館」閲覧数【R5：0件 → R11：70,000件】 …「どこでも図書館」貸出数【R5：0件 → R11：15,000件】 …「どこでも図書館」利用満足度【R5：— →R11：75%】
公金納付の利便性向上 …国民健康保険料等の e L T A X を活用した公金収納のデジタル化の実施【R8：実施】
健全財政の維持

取組の変更

***1 行かない窓口**

… 市民の方が市役所に来庁することなく、電子申請を通じて各種申請や届出など必要な行政手続を行うことができる取組のことをいいます。

***2 ぴったりサービス**

… 国が提供する電子申請システム。オンラインで行政手続の検索や書類作成、電子申請ができます。

***3 書かない窓口**

… 行政手続において、窓口に来庁された市民の方が、書類を記入することなく、必要な手続を行えるようにするためのデジタル技術を用いた取組のことをいいます。

***4 窓口タブレットソリューション**

… 窓口業務において、タブレット端末を活用して市民の方の行政手続を効率的に行うためのシステムのことをいいます。

《施策分野4》情報発信の充実

施策1 まちの魅力の発信



■基本方向

○ふるさと向日市に対する理解と愛着を深められるよう、まちの魅力を様々なツールを有効に活用し、発信します。

■取組及び目標

取組及び目標
誰もがわかりやすく、利用しやすいホームページの作成や広報誌の充実
SNS（LINE 公式アカウント、Instagram）による情報発信力の強化 …LINE 公式アカウント、Instagram に対する満足度(アンケート結果) 【LINE 公式アカウント R6 : 3.04 → R11 : 3.40、 Instagram R6 : 2.92 → R11 : 3.40】 …本市に対する市民の定住意向の割合【R6 : 80.4% → R11 : 90%以上】

第3次ふるさと向日市創生計画 令和8年度版 見直し箇所 一覧

計画 ページ	施策名	見直し事項	見直し案	現行記述	見直し理由
6	歴史・文化資源の整備と活用	取組及び目標	国指定史跡 物集女城跡の整備	物集女城跡の整備	令和6年10月11日付けで国史跡に指定されたことを受け、正式な名称とする。
17	ごみの減量と資源化の推進	取組及び目標	ごみの発生抑制 …家庭系収集ごみ量 【R5:452g/日・人 → R11:413g/日・人】 向日市一般廃棄物処理基本計画より …ごみ総排出量 【R5:13,450t → R11:13,218t】 向日市一般廃棄物処理基本計画より	ごみの発生抑制 …家庭系収集ごみ量 【R5:452g/日・人 → R11:442g/日・人】 向日市一般廃棄物処理基本計画より …ごみ総排出量 【R5:13,450t → R11:13,218t】 向日市一般廃棄物処理基本計画より	令和6年度に第3次計画における目標数値を達成したため、目標を上方修正する。 (これに伴い、引用計画名も削除)
27	豊かな学びの創造と確かな学力の育成	取組及び目標	ふるさと向日市への愛着と誇りをはぐくむ「ふるさと学習」の充実 …今住んでいる地域の自然や歴史について関心がある子どもの割合【R5:小学6年生(50.6%)、中学3年生(28.3%) → R11:増加】	ふるさと向日市への愛着と誇りをはぐくむ「ふるさと学習」の充実 …今住んでいる地域の自然や歴史について関心がある子どもの割合【R5:小学6年生(88.9%)、中学3年生(91.0%) → R11:増加】	目標の基礎としている令和5年度の数値に誤りがあったため、正しい数値へ修正する。
42	デジタル行政の推進による効率的な行政運営	取組及び目標	電子書籍サービス「どこでも図書館」の利用促進 …「どこでも図書館」コンテンツ数【R5:0件 → R11:3,000件】 …「どこでも図書館」閲覧数【R5:0件 → R11:70,000件】 …「どこでも図書館」貸出数【R5:0件 → R11:15,000件】 …「どこでも図書館」利用満足度【R5: — → R11:75%】	電子書籍サービス「どこでも図書館」 …「どこでも図書館」コンテンツ数【R5:0件 → R11:3,000件】 …「どこでも図書館」閲覧数【R5:0件 → R11:70,000件】 …「どこでも図書館」貸出数【R5:0件 → R11:15,000件】 …「どこでも図書館」利用満足度【R5: — → R11:75%】	令和6年度に、「どこでも図書館」を導入したため、取組を改める。

施策の柱Ⅰ 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

施策分野1 歴史あふれるまちづくりの推進

資料 5

施策1 歴史・文化資源の整備と活用

基本方向

○史跡長岡宮跡や史跡乙訓古墳群等市内に所在する文化財の保護及び積極的な整備・活用に努め、文化財を通じて市民の郷土愛を深める施策を推進し、その価値を未来に継承します。

取組及び目標	令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
世代を越えた多くの人々が文化財を身近に感じられる施策の推進 …文化財紹介動画を手軽に再生できるQRコード設置 【R5:0か所 → R11:10か所】	動画を通じて気軽に史跡を知っていただく機会を設け、文化財のさらなる活用及び広報普及を図る。 今年度は物集女車塚古墳及び寺戸大塚古墳の文化財紹介動画の作成及びQRコードを設置する。	文教課
国指定史跡物集女城跡の整備	物集女城跡は、京都府内で初めて国の史跡指定を受けた中世城館であり、本市の「北の玄関口としての歴史・文化遺産」として末永く保全し活用を図るため、用地の買上げを実施する。	文教課

第3次ふるさと向日市創生計画 令和7年度 進捗見通し 一覧

施策の柱Ⅰ 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり		
施策分野1 歴史あふれるまちづくりの推進		
施策2 観光振興の推進		
基本方向		
○「観る・食べる・買う」を充実させるとともに、国内外から積極的に観光客を誘致し地域経済の活性化を図るため、市内商工業の振興と合わせた、総合的、多角的な観光施策を推進します。		
取組及び目標	令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
向日市観光交流センターにおける観光誘客のための事業の実施 …来館者数 【R5:88,610人 → R11:111,000人】	令和7年4月から新指定管理者に交代し、開館時間の拡大や新しいカフェスペースのオープン、地域の賑わいづくりのためのイベント開催など、観光誘客のための事業展開を積極的に行っている。 9月以降からは月一マルシェの開催を開始し、大規模イベントの開催も概ね季節ごとに企画しており、7月には「七夕まつり」を開催し多くの人で賑わった。 10月以降も、「クラフトビールフェア」や「防災イベント」など、各種イベントの開催を予定している。 (新指定管理期間:令和7年4月1日～令和12年3月31日) 令和7年4月～9月来館者数:37,993人	産業振興課
「竹の径」来訪者のための憩いの空間整備	将来にわたって持続できるよう、保全整備を継続していく。	産業振興課
土産等特産品の開発・認定 …開発・認定件数 【R5:8件(H27～R5累計) → R11:20件(R7～11累計)】	引き続き、これまで開発した商品を向日市観光交流センター等で販売し、土産品を通じた市の魅力の更なる発信と拡散を図る。 また8月に京都駅で開催された自治体PR展示イベント「Eki Spot京都」や、9月に愛知県で開催された「ツーリズムEXPO2025」など観光プロモーションの商談会等、様々な機会において、土産等特産品のPRを行った。	産業振興課
観光入込客数 【R5:328,316人 → R11:765,000人】	観光交流センターにおける、新指定管理者による積極的な自主事業(イベント開催)の実施等により、関係人口・交流人口の拡大を図り、センターへの誘客を軸として、市内の観光周遊を促進し、入込客数の増加を図る。	産業振興課
観光消費額 【R5:50,658千円 → R11:338,000千円】	観光入込客の増加のための取組みと連動し、観光交流センターにおける、新指定管理者による指定事業(農商工特産品販売、カフェスペース運営)の的確な実施等により、消費額の増加を図る。	産業振興課
京都アリーナ(仮称)を活用した観光客誘致イベントの開催の検討	アリーナの整備によって、これまで本市を知らなかった方や、本市に訪れたことがなかった方の来訪が見込まれることから、これを契機として、本市の魅力や良い所をたくさん知っていただけるよう、今後のアリーナ整備の進捗に合わせ、具体的な内容を検討していく。	産業振興課

第3次ふるさと向日市創生計画 令和7年度 進捗見通し 一覧

施策の柱Ⅰ 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり		
施策分野2 産業の活性化		
施策1 商工業の活性化		
基本方向		
○計画期間中に整備が予定されている京都アリーナ（仮称）の活用をはじめとした商工業の活性化の方策について、向日市商工会や金融機関とともに検討・実施し、雇用の創出や市域全体への経済効果の波及を目指します。		
取組及び目標	令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
ものづくり産業などへの販路開拓支援 …支援件数 【R5:6件 → R11:30件(R7～11累計)】	ものづくり産業の振興・活性化を図り、市内製造業者の売上向上を支援するため、販路開拓に係る展示会・見本市・商談会に出展する経費の一部を補助金で支援していく。 ※参考:R5～R6:11件	産業振興課
創業希望者へのきめ細かな支援 …創業件数 【R5:36件(R2～5累計) → R11:50件(R7～11累計)】	物価高騰等の影響で、事業者向け支援制度への関心が高まっている。今後も、新規事業に挑戦する事業者を後押しするため、補助金と専門家の経営指導を組み合わせ支援していく。 ※参考:R2～R6:43件	産業振興課

施策の柱Ⅰ 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり		
施策分野2 産業の活性化		
施策2 農業の活性化		
基本方向		
○新鮮で安心・安全な農産物を提供するために地産地消を推進するとともに、担い手の育成や農業資源を活用した農商工の連携を推進し、やりがいのある農業経営を支援します。		
取組及び目標	令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
地元農産物の販路拡大 … <u>地元農産物の販売場所の拡大</u> 【R5:2か所 → R11:3か所】	現在、まちてらすMUKO及びイオンフードスタイル東向日店で地元農産物の販売場所確保している。今後、定期的なトラック市等の開催を行い地元農産物のPR及び販路拡大をおこなっていく。	産業振興課
地産地消の促進 … <u>向日市観光交流センターの活用を軸とした地場産品の更なる販売促進</u>	引き続き、向日市観光交流センター内の農産物販売所の利用促進が図られるよう、商品の品質管理や野菜の端境期への対応等について、生産者とともに課題の解決に向けて取り組む。	産業振興課

第3次ふるさと向日市創生計画 令和7年度 進捗見通し 一覧

施策の柱Ⅰ 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

施策分野3 都市基盤の整備

施策1 道路整備の推進

基本方向

○都市計画道路や幹線市道の整備を推進することで幹線道路のネットワーク及び交通の分散化を図ります。また、いろは呑龍トンネルが完全供用され、浸水安全度が改善されたことから、既存開水路を歩行空間に有効活用します。

○市民生活に密着した生活道路の整備を推進することで、安全で快適な住環境づくりを目指します。

取組及び目標	令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
都市計画道路及び幹線市道の整備 …整備路線 【都市計画道路御陵山崎線及び牛ヶ瀬馬場線、第3064号線、第1083号線、物集女寺戸幹線】	都市計画道路御陵山崎線：道路築造に必要な事業用地について、土地所有者と取得交渉を開始する。 都市計画道路牛ヶ瀬馬場線：道路築造に必要な土地の境界を確定する。 市道第1083号線：道路築造に必要な事業用地について、土地所有者と取得交渉を開始する。 物集女寺戸幹線：歩道整備を目的とした道路詳細設計を実施する。 市道第3064号線：電線共同溝の工事を実施する。	道路整備課 まちづくり推進課
生活道路の整備 …【7路線整備完了（R7～11累計）】	市道第1081号線：拡幅整備に必要な事業用地について、土地所有者と協議を実施する。 寺戸森本幹線2号他：歩行空間の整備を目的とした道路詳細設計に必要となる地形等の測量を実施する。	道路整備課
交通安全対策の一層の推進 … <u>通学路</u> 【5箇所整備完了（R7～11累計）】 … <u>自転車利用促進計画の策定【R7:完了】及び自転車通行レーンの整備【2路線整備完了（R7～11累計）】</u>	物集女幹線：水路改修による歩道整備を目的とし、道路詳細設計を実施する。 市道第1061号線：側溝改修による歩行空間の整備を実施する。 市道第2054号線：歩行空間の整備を目的とした道路詳細設計に必要となる地形等の測量を実施する。	道路整備課

施策の柱Ⅰ 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり				
施策分野3 都市基盤の整備				
施策2 快適で安全便利なまちづくり				
基本方向				
○市民の利便性の向上と産業・観光の振興を図るとともに、都市計画制度を活用した快適で安全便利なまちづくりを推進します。				
取組及び目標	令和7年度進捗見通し及び今後の予定			担当課
幹線道路沿道のにぎわい創出に向けた都市計画変更	幹線道路沿道のにぎわい創出に向けた、京都都市計画地区計画（向日町競輪場地区）の変更手続きを行う。			都市計画課
土地利用の転換による事業所の誘致事業の推進	森本東部土地区画整理組合及び阪急洛西口駅西土地区画整理組合に対して、区画整理事業の円滑な推進のための支援を行う。			まちづくり推進課
				産業振興課
地域特性に応じたまちづくり計画等の支援	鶏冠井・上植野東部地区まちづくり協議会、寺戸北地区まちづくり協議会に対し、地域特性に応じたまちづくり計画の策定に向け、支援等を行う。			都市計画課
歩行者の移動経路におけるベンチ等の休憩施設の整備 …【100基（R7～11累計）】	歩行者の移動経路にある市内の公園やポケットパーク、道路等にベンチ等の設置を行う。			都市計画課
				道路整備課
				上下水道施設課

第3次ふるさと向日市創生計画 令和7年度 進捗見通し 一覧

取組及び目標		令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
ぐるっとむこうバスをはじめとする公共交通の利用促進 … <u>向日市運転免許証自主返納支援事業の申請者</u> 【R5:702人 → R11:1,600人】		公共交通の利用促進策を図るために、市内転入者へ「公共交通利用案内」を配布する。 ぐるっとむこうバスについては、小学生を対象として春・夏・冬の休み期間に無料おためし乗車を実施する。 また、運転免許証自主返納者を支援し、公共交通利用券を交付することで公共交通を利用いただける環境づくりに努める。 ※参考 R6年度末時点 812人	まちづくり推進課
地籍調査の推進 … <u>地籍整備率</u> 【R5:8% → R11:12%】		令和6年度に地籍調査を開始した(寺戸町八反田・石田)について、土地所有者の方とスケジュール調整後、現地立会を行う。	都市計画課
空家等対策計画に基づいた空家等の適正管理の推進		向日市空家等対策計画に基づき、所有者等に対して空き家を適正に管理するよう、啓発や情報提供、助言等を行うことで、地域の安全・安心の確保及び生活環境の保全を図る。	公共建物整備課
名神高速道路スマートインターチェンジ開設に向けた検討		引き続き、関係機関との協議を進め、事業実現に向けた合意形成を図る。	まちづくり推進課

施策の柱Ⅰ 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり			
施策分野3 都市基盤の整備			
施策3 駅周辺の都市基盤整備			
基本方向			
○東西自由通路や東口駅前広場など、JR向日町駅周辺を整備し、駅への利便性や安全性を向上させ、中心にぎわいゾーンへの都市機能の誘導を図るとともに、西口駅前広場の改良を検討します。			
○阪急京都線の連続立体交差の検討を行うとともに、阪急東向日駅周辺の整備を推進します。			
取組及び目標	令和7年度進捗見通し及び今後の予定		
JR向日町駅周辺整備事業の推進	駅アクセス道路である市道第3064号線について無電柱化工事を行う。 引き続き、JR西日本との工事協定書に基づき、東西自由通路の整備を行う。 西口駅前広場の無電柱化や利便性の向上を目的とした施設の配置について検討する。 JR向日町駅周辺地区市街地再開発組合に対して、引き続き、再開発事業の円滑な推進に向けた支援を行う。		
…東西自由通路・東口駅前広場の整備 【R10: 供用開始】			
…西口駅前広場の改良検討			
…市街地再開発事業による再開発ビル整備の推進			
阪急京都線連続立体交差の検討及び駅周辺整備の推進	引き続き、調査検討結果を基に、府との勉強会の実施に向け、内部検討を進める。		

施策の柱Ⅰ 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり

施策分野4 ゼロカーボンシティの実現

施策1 気候変動対策の推進

基本方向

○市民・事業者・行政が一体となって気候変動対策を進め、本市が掲げる2050年（令和32年）におけるゼロカーボンシティの実現を目指します。

取組及び目標	令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
太陽光など再生可能エネルギーの利用推進 …戸建住宅の太陽光発電設備設置件数 【R4:994件 → R13:1,800件】	環境省及び京都府と連携し、戸建住宅に太陽光発電設備を導入する個人に対して、導入費用に係る補助金交付事業を実施し、また、事業の利用推進を図るため、広報等で普及啓発に努めている。今後も継続し、戸建住宅における再生可能エネルギー（太陽光）の利用推進を図る。 【実施内容】 向日市ゼロカーボン推進補助金（令和5年7月から実施） ※向日市家庭向け自立型再生可能エネルギー導入事業費補助金（平成29年度から実施）は、令和7年度から「向日市ゼロカーボン推進補助金」に統合 【交付件数（上記補助金の合計）】 R2年度:15件、R3年度:9件、R4年度:13件、R5年度:25件、R6年度:28件、R7年度:23件（R7.9.30時点） 補助金交付事業の実施により、戸建住宅の太陽光発電設備設置件数の増加を図ることができた。 【実績（戸建住宅の太陽光発電設備設置件数）】 R2年度末:883件、R3年度末:925件、R4年度末:994件、R5年度末:1,132件、R6年度末:1,218件 ※資源エネルギー庁公表資料から抜粋	ゼロカーボン推進課
公用車における電動車の導入 …電動車導入率 【R5:64.5% → R12:100%】 （代替可能な電動車が無い場合を除く。）	令和7年度以降も市場の動向を把握しつつ、計画的に公用車の電動車化を進めていく。 ※参考 R6:69.7%	ゼロカーボン推進課
公共施設におけるLED照明の導入推進 …LED照明導入率【R4:60% → R13:100%】	国の交付金事業等を活用し、公共施設におけるLED照明の導入を推進しており、今後も継続していく。 【導入施設】 未定 【実績】 R3:55%、R4:60%、R5:77%、R6:90%（見込）、R7:未定	財産管理課
温室効果ガス排出量の削減 …市公共施設における温室効果ガス排出量削減率 【R4:23.6% → R12:50%】	国の交付金事業等を活用し、公共施設におけるLED照明や電気自動車の導入を推進することで、温室効果ガス排出量の削減を図り、今後も継続していく。 【実績】（指定管理分を除く） R4:23.6%、R5:16.3%、R6:未定（指定管理分を含む） R4:35%、R5:29.1%、R6:未定	ゼロカーボン推進課

第3次ふるさと向日市創生計画 令和7年度 進捗見通し 一覧

施策の柱Ⅰ 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり			
施策分野4 ゼロカーボンシティの実現			
施策2 緑の保全			
基本方向			
○本市を象徴する緑である竹林や、市内における公園の適正な維持管理を通じて、自然環境の保全や都市緑化に努めます。			
取組及び目標	令和7年度進捗見通し及び今後の予定		担当課
放置竹林対策の実施 … <u>市民ボランティアによる竹林保全</u> 【R6:2か所 → R11:3か所】	竹林ボランティアが整備する竹林面積を更に拡大していくため、様々な世代の方がボランティアに参加していただけるよう、広報誌やHP等を通じて活動内容の周知を行う。		産業振興課
公園等における緑地の適正管理	市内の公園や緑地の樹木剪定や除草・清掃、薬剤散布など緑地の適正管理を行う。		都市計画課

施策の柱Ⅰ 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり		
施策分野5 循環型社会の確立		
施策1 ごみの減量と資源化の推進		
基本方向		
〇ごみの減量と資源化への取組を強化し、持続可能な循環型社会を目指します。		
取組及び目標	令和7年度進捗見通し・今後の予定	担当課
ごみの発生抑制 … <u>家庭系収集ごみ量</u> 【R5:452g/日・人 → R11: 413 g/日・人】 … <u>ごみ総排出量</u> 【R5:13,450t → R11:13,218t】	一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみの発生抑制、ごみ減量等について取り組んでいく。 その中で、家庭系ごみについては、引き続き「古紙回収」に注力し、集団回収助成金や古紙類回収拠点のさらなる周知を図り、市民の古紙回収を後押しする。 事業系ごみについては、本市一般廃棄物収集運搬許可業者を通じて、店舗と住居が同一の小規模事業所等に対し、適正なごみ排出の周知に努めるとともに、乙訓環境衛生組合で展開検査を実施し、排出される事業系ごみの組成を把握し、不適切ごみの内訳を把握する。 また、食品を扱う店舗の食品ロスを削減するため、消費者と店舗を繋ぐマッチングサービスに取り組み、ごみ減量を図る。 大規模事業所に対しては、引き続き事業系一般廃棄物減量等計画書の提出を求め、更なる排出抑制の取り組みを促す。 【家庭系ごみ量：9,035t(R6)】 【家庭系ごみ/日・人:439g(R6)】 【事業系ごみ量：3,325t(R6)】 【ごみ総排出量：13,265t(R6)】	衛生環境課
ごみ減量と分別の啓発強化のためのごみ分別アプリ利用推進 … <u>ごみ分別アプリダウンロード件数</u> 【R5:4,067件 → R11:6,500件】	ごみ分別アプリは手軽かつ詳細にごみ分別を検索することができるツールのため、積極的に利用を促していく。 主には転入者に対して分別アプリを紹介している「ごみ出しルールブック」及び「ごみ出しカレンダー」を配布し、登録を促す。 「広報むこう」6月号に「環境月間」トピックスとして分別アプリの紹介を行うことで市民の皆様にアプリの周知を図った。 R6:5,534件(R7.9.30現在 6,313件)	衛生環境課
資源ごみの再生利用(リサイクル)推進 … <u>再生利用率</u> 【R5:10.3% → R11:12.4%】	ごみ出しルールブックやごみ出しカレンダー配布、分別アプリの利用促進により、分別方法を分かりやすくお知らせすることで、市民の皆さまの分別意識の向上を図り、資源物分別収集をはじめ、古紙等集団回収助成金事業、古紙等回収拠点、資源物回収拠点の利用促進に繋げ、再生利用量、再生利用率を高める。 再生利用量 1,520t(R6) 再生利用率 11.5%(R6)	衛生環境課

施策の柱Ⅰ 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり		
施策分野6 生活の安心・安全の確保		
施策1 災害対策・地域防災の充実		
基本方向		
○自助・共助・公助の連携によりあらゆる災害に対する備えが強化され、誰もが安心して暮らすことのできるまちを目指します。 ○地震や大雨、台風などの災害に対する自助意識の醸成と高揚を図り共助を高めます。 ○情報伝達体制の強化や避難支援体制の整備、避難所運営体制の充実等、災害時の市民の安心・安全を守る取組を推進します。 ○自主防災組織や消防団活動を支援し、火災や事故などの災害への対応能力向上を図ります。		
取組及び目標	令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
防災マップの周知 … <u>防災出前講座・出前授業の実施回数・参加人数</u> 【R5:8回・521人 → R11:50回・3,500人(R7～11累計)】	令和7年9月末現在、防災出前授業を1回実施した。(93名) 今後も継続して行っていく。	防災安全課
桂川・小畑川氾濫時などにおける情報伝達体制の強化	現在の情報伝達システムのバージョンアップを図るため、本市にとって最適なシステムを導入する。	防災安全課
要支援者に対する避難支援体制の整備	避難行動要支援者名簿については、更新済み。 引き続き、要支援者に対する避難支援体制の整備をおこなっていく。 なお、福祉避難所については、令和6年度末現在、社会福祉法人向陵会(乙訓ひまわり園／平成26年4月)と協定を締結しており、乙訓福祉施設事務組合(乙訓若竹苑・ポニーの学校／平成27年1月)とも、福祉避難所の開設について申し合わせを行なっている。 また、向日が丘支援学校に対しては協定の締結に向けて働きかけを行っているところである。また、向日が丘支援学校に対しては、再移転後に福祉避難所の協定締結に向けて、協議を行う予定である。 また、市内の介護老人福祉施設2か所(特別養護老人ホーム向陽苑、特別養護老人ホームサンフラワーガーデン)及び介護老人保健施設1か所(回生会介護老人保健施設ケアセンター回生)とも福祉避難所の協定を締結しており、加えて一般財団法人日本福祉用具供給協会と「災害時における福祉用具等物資の供給等の協力に関する協定」も締結している。	防災安全課 障がい者支援課 高齢介護課
地域における避難所運営訓練の実施 … <u>訓練回数</u> 【毎年1回実施】	毎年1回実施。今年度も1月に実施予定。	防災安全課

第3次ふるさと向日市創生計画 令和7年度 進捗見通し 一覧

取組及び目標	令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
災害備蓄物資の計画的な購入	備蓄計画に沿って計画的に購入していく。	防災安全課
土砂災害特別警戒区域対策の推進	対策工事に向けた、境界確定などの手続きを、京都府や関係部局と連携しながら進めていく。また、引き続き防災マップに記載されている注意事項、【とるべき行動(土砂災害)】の啓発に努める。	防災安全課
自治会・町内会の自主防災組織への自主防災用器具設置の推進 …自治会等自主防火防災用器具設置補助 【R5:107団体(H31～R5累計)→ R11:125団体(R7～11累計)】	<自主防災用器具補助実績> 令和7年度9月末現在、17団体に補助金を交付済み。 (参考 R2～R6:114団体)	防災安全課
消防団による地域における警戒活動・訓練の実施	10月18日～19日に開催の竹の径・かぐやの夕べ及び12月25日～30日に実施予定の消防団年末特別警戒において警戒を行う予定である。 その他、区等からの要請があれば、随時地元消防団による警戒を実施する。	防災安全課
京都アリーナ(仮称)の地域防災拠点としての活用検討	現在の競輪場は、本市の一時避難場所及び指定避難場所に位置づけており、アリーナが整備された際には、同機能以上を有する施設となるよう京都府に引き続き協議していく。	防災安全課

施策の柱Ⅰ 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり		
施策分野6 生活の安心・安全の確保		
施策2 防犯力の強化		
基本方向		
○地域力を活かした市民ぐるみの防犯運動を推進します。		
○防犯カメラを活用して犯罪の未然防止を図るなど、地域の防犯力を高めます。		
取組及び目標	令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
地域の防犯ボランティア団体との連携充実	今後も継続的に啓発活動やパトロールを実施し、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりを実現していく。	防災安全課
防犯カメラによる地域防犯力の強化 …自治会等への防犯カメラ整備補助による稼働台数 【R5:20台 → R11:30台】	自治会等による防犯カメラの設置について、補助の申し出があれば、速やかに適切に対応する。 (参考 R6:2台 R7:0台(令和7年9月末現在))	防災安全課

施策の柱Ⅰ 歴史を活かし、活力と魅力あるまちづくり		
施策分野7 ライフラインの強化		
施策1 上下水道事業の安定経営		
基本方向		
○効率的な施設運営を図るとともに、更なる経営改善に努め、運営基盤を強化します。		
○水道施設を強化し、災害時や緊急時でも安全で良質な水を安定供給します。		
○下水道施設の長寿命化を図るため、予防保全型の維持管理を行います。		
取組及び目標	令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
上下水道事業経営の改善 …水道事業 企業債残高対給水収益比率 【R5:312% → R15:290%】 …下水道事業 経常収支比率 【R5:100.4% → R15:100%以上】	企業債残高対給水収益比率 ・水道事業【R5:312%、R6:288%】 R6はR5より企業債残高が減少し、給水収益が微増となり企業債残高対給水収益比率は好転した。R7も同調の傾向を維持できるよう努める。 (参考 企業債残高対使用料収益比率 下水道事業【R5:1,720%、R6:1,656%】) 経常収支比率 ・下水道事業【R5:100.4%、R6:100.0%】 R6はR5より経常収益が増加しているものの、経常費用も経常収益の増加率以上に増えたため、経常収支比率は微減となった。R7も経常収支に注視し好転できるよう努める。 (参考 経常収支比率 水道事業【R5:102.5%、R6:102.5%】)	公営企業課
水道管路の耐震化 …重要な管路(基幹管路)の耐震適合率 【R5:32.8% → R10:60%】	災害時や緊急時でも安全で良質な水を安定供給するため、水道管路の耐震化を推進する。 (耐震適合率 国の目標:令和10年度 60%)	上下水道施設課
下水道施設の長寿命化の推進 …マンホール等管路施設の内部の点検及び調査 【R7～11累計500か所】	令和7年度についても、引き続き適切な維持管理のため下水道施設調査を実施する。 (年間100か所)	上下水道施設課

第3次ふるさと向日市創生計画 令和7年度 進捗見通し 一覧

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり			
施策分野1 少子化対策・子育て支援			
施策1 安心して産み育てる体制づくり			
基本方向			
○安心して子どもを産み、健やかに育てることができる環境づくりを推進します。			
取組及び目標		令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
幼児教育・保育のベストマッチを推進 …【待機児童0人を継続】		引き続き待機児童0を維持できるよう、保育所だけではなく、預かり保育を行っている幼稚園についても入所の案内をするなど、申請者の希望に添えるよう、可能な限りの受入れ先の確保に努める。また、保育士の確保にも尽力するとともに、市内の私立幼稚園との連携を深めることで、幼児教育・保育の充実を図る。 待機児童(9月末時点) R4～:0人	子育て支援課
子どもの育ちを応援 …こども誰でも通園制度【こども誰でも通園施設 R8:1か所】		条例や規則等の制定や事務処理体制の構築など、市内の環境整備を進めるとともに、事業を実施する施設との連携を密にすることで、令和8年度の実施に向け準備を進める。	子育て支援課
子ども虐待の未然防止対策の推進 …前向き子育て講座修了者数(延べ人数) 【R5:8人 → R11:60人】		令和7年9月から10月に全7回の前向き子育ての連続講座を予定している。 なお、令和7年7月2日に予定している前向き子育て紹介講座には、11名の市民の方から申込があった。 【前向き子育て講座修了者数(延べ人数)】 R5 8名 R6 18名(R6の修了者数 10名)	子ども家庭課
放課後の児童の居場所拡充 …民間放課後児童クラブの開設支援等		民間放課後児童クラブを運営する事業者に対し、施設の利用児童数や開所日数等に応じた運営補助を実施するとともに、新規開業の事業者に対し、施設開設の準備に要する費用の補助を実施し、放課後の児童の居場所拡充に努める。 運営補助:4件 開設補助:1件(見込み)	生涯学習課
妊娠から出産まで切れ目ない相談支援の実施 …妊娠届出時、出生後のニーズ把握と支援プラン作成の実施割合 【ニーズ把握と支援プラン作成の実施割合:100%】		全ての妊婦が、妊娠中及び出産後も安心して出産・子育てを行うことができるよう、妊娠届時に面談によるニーズ把握と支援プランの作成を行う。出産後には、2か月頃までに、全ての乳児と保護者に対して、家庭訪問による面談を行い、再度ニーズ把握と支援の必要性の確認を行う。 ・妊娠届出時の面談によるニーズ把握・支援プラン作成数 170人(対象者170人中) 100.0%(令和7年9月末時点) ・出生後2か月児訪問によるニーズ把握・支援の必要性確認数 149人(対象者163人中) 91.4%(令和7年9月末時点)	健康推進課

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり		
施策分野2 健康づくりの推進		
施策1 生活習慣病予防による健康生活への支援		
基本方向		
○市民が主体的に健(検)診を受け、生活習慣の改善等の健康づくりに取り組めるよう支援します。		
○生活習慣病予防と介護予防との一体的な健康づくりを推進します。		
取組及び目標	令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
特定健診の受診率向上 … <u>受診率(向日市国民健康保険実施分)</u> 【R5:41.4% → R11:60%】	特定健診について、受診(健診)控えは健康上のリスクを高めてしまう可能性があることから、引き続き広報むこうやLINEを活用した啓発を行うとともに、乙訓国民健康保険事務協議会を通じて、乙訓医師会、薬剤師会とも連携し、受診勧奨に努める。	健康推進課
特定保健指導の実施 …【 <u>実施率70%以上を維持</u> 】 … <u>特定保健指導対象者の減少率</u> 【R5:17.1% → 毎年度25%以上を維持】	生活習慣病の予防及び重症化予防を目指し、今後も引き続き個別相談や家庭訪問による特定保健指導を実施していく。 特定保健指導実施率…(令和6年度法定報告は令和7年10月公表予定) 全ての特定保健指導対象者に特定保健指導申込書を送付し、個別の健診結果相談会やフィットネス教室、家庭訪問の案内を行う。特定保健指導申込書の返送がなかった方には全数家庭訪問による保健指導を実施予定。 特定保健指導対象者の減少に向けて、定期的な保健指導や栄養指導に加え、体重や腹囲、血管年齢等の測定会を同時に実施する「からだ改善サポートコース」を設け、積極的な支援を実施する。 また、対象者の検査値から重点的に支援が必要な方を選定し、個別の支援計画を立案し、保健指導を実施していく。 保健師・管理栄養士の保健指導の質の向上を目指し、令和7年5月に従事者研修会を実施した。今後2か月に1度の従事者研修会と事例検討会を実施予定。	健康推進課
糖尿病など生活習慣病の重症化予防 … <u>糖尿病の保健指導(対象:特定健診結果がHbA1c6.5%以上かつeGFR45～60ml/分/1.73㎡未満の者)を実施した割合</u> 【R5:68.6% → R11:75%以上】	糖尿病が重症化するリスクの高い方を医療機関へつなげるとともに、治療中の方には医療機関等と連携して栄養指導や保健指導を行うことで、腎不全や人工透析への移行を予防する。 未治療・治療中断者:令和7年3月までのレセプトが確認できる7月に対象者把握を行った。対象者については、訪問する曜日や時間帯を対象者に合わせて設定し、確実に面談ができるよう工夫して、順次家庭訪問を実施する。 また、検査値から重点的に支援が必要な対象者を選定し、取組の優先度を見極めながら支援を行う。 ・未治療者 23人(令和7年9月末時点) ・治療中断者 7人(令和7年9月末時点) ハイリスク対象者:令和7年7月に対象者把握を行い、7月下旬に対象者のかかりつけ医となっている医療機関を訪ね、家庭訪問実施の可否を伺った。医療機関訪問時には対象者の状況を医師から聞き取ることに合わせて、保健・栄養指導の方向性、使用する保健指導・栄養指導資料等を相談できるよう準備を行った。 医師から許可を得た対象者については、順次家庭訪問を実施する。 ・ハイリスク対象者 40人(うち、医師からの訪問許可 25人)(令和7年9月末時点)	健康推進課

取組及び目標		令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
長寿健康診査の受診結果を活用した介護予防 …長寿健康診査受診率 【R5:49.9% → R11:65%】 …高血圧の保健指導・受診勧奨(対象:血圧160/100mmHg以上かつ未治療の者)を実施した割合 【R5:75.9% → R11:80%】	長寿健康診査の受診率向上を目指し、全世帯に配布する年間予定表に受診案内を記載するとともに、6月下旬に全ての対象者に個別通知を実施した。 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業については、令和6年度の長寿健診結果においてⅡ度高血圧以上で未治療の方を対象に家庭訪問を行い、医療機関への受診勧奨及び保健指導・栄養指導を実施。令和7年3月までのレセプトが確認できる7月に対象者把握を行い、8月から家庭訪問を実施。また、年間を通して出前講座、フィットネス教室、健診結果相談会においてフレイル予防の啓発を実施する。 健康状態が不明な方に対しては、全ての対象者にアンケートを送付し健康状態の把握を行うとともに、健康状態アンケートの返送がなかった方に対して家庭訪問を行い、長寿健診の受診勧奨を行うとともに、必要に応じ医療機関や地域包括支援センターへつないでいく。 ・家庭訪問実施対象者数 17人(令和7年9月末現在) ・家庭訪問実施者数 7人(令和7年9月末時点)	長寿健診実施医療機関に対し、健診結果を返す際に配布していただけるよう、介護予防等事業を案内するチラシを作成し、効果的な啓発を実施する。 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施として、引き続き、保健指導や介護予防体操、オーラルフレイル対策等を実施する。 実施回数:R7:8回(9月末現在)	健康推進課
			高齢介護課
がん検診の受診勧奨、がん予防の啓発 …大腸がん検診受診率(向日市国民健康保険加入者) 【R5:18.1% → R11:23.0%】 …乳がん検診受診率(向日市国民健康保険加入者) 【R5:11.8% → R11:18.0%】	若い世代が、がん検診の申込をしやすいう、年間予定表や市ホームページにおいて、利便性の高いWeb申請の周知を図るとともに、がん検診の啓発も併せて実施する。 大腸がん検診:受診率向上を目指し、6月に乙訓管内全ての委託実施医療機関に受診勧奨チラシの配布を行った。また、10月に国保加入者に対しハガキによる個別の受診勧奨を実施するとともに、3月の大腸がん啓発月間に合わせかぐやの灯でブルーライトアップを行い、大腸がん検診の啓発を実施する。 乳がん検診:受診率向上を目指し、10月のピンクリボン月間に合わせ、国保加入者に対しハガキによる個別の受診勧奨を実施するとともに、乳がんの早期発見・早期治療の啓発を目的に、かぐやの灯をピンクにライトアップする。またライトアップに合わせ、市ホームページ、市公式ラインに乳がん検診の受診勧奨案内を行う。		健康推進課
自発的な健康づくりの推進 …ウォーキングアプリ登録者数(R6.10月開始) 【R6:1,049人(R7.3.1現在) → R11:3,000人】	一人でも多くの方が健康づくりに関心を持ち、積極的に取り組んでいただけるよう、ウォーキングイベントを開始する4月と10月に市役所や市内公共施設にポスター掲示を行うとともに、チラシの配布、市ホームページと市公式ラインにおいてウォーキングアプリの登録方法や、イベントに関する内容を掲載し周知に努める。 ・アプリ登録者数1,315人(令和7年9月末現在)		健康推進課

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり		
施策分野3 高齢者が安心して暮らせる体制の充実		
施策1 地域包括ケアシステムの推進		
基本方向		
○高齢者が住み慣れた地域で暮らせるよう、通いの場や介護予防の場、見守り体制など地域全体で高齢者を支える地域包括ケアシステムの機能強化を図ります。		
取組及び目標	令和7年度進捗見通し・今後の予定	担当課
生活支援コーディネーターと協議体の設置による生活支援体制づくり … <u>住民主体で介護予防に資する取組を実施する通いの場の数(はつらつサロン登録団体数)</u> 【R5:22か所 → 毎年度2か所新規立ち上げ】	新規の通いの場の立ち上げ支援を行うとともに既存の団体の活動支援を行う。 令和7年9月末現在 新規1か所立ち上げ済み 令和7年度中にもう1か所立ち上がるよう支援を行っていく。	高齢介護課
介護予防・重度化防止の推進 … <u>調整済み認定率(重度(要介護3～5))</u> 【R5:向日市 5.7%、京都府 6.0% → R11:京都府数値以下】	介護予防を目的とした体操等を行う地域健康塾に加え、筋力や口腔機能の向上、認知症予防を図る介護予防教室を実施する。 R6調整済み認定率:向日市6.9%、京都府7.3%	高齢介護課
認知症高齢者を支える体制づくり … <u>認知症サポーター数(認知症サポーター養成講座受講者数)</u> 【R5:9,732人 → R11:11,000人】 … <u>見守りSOSネットワーク協力事業所(登録事業所数)</u> 【R5:124か所 → 毎年度5か所新規登録】	認知症地域支援員による認知症サポーター養成講座を実施する。 認知症高齢者等への見守り意識の向上やSOSネットワーク事業の周知を図るため、ステッカーを活用しながら、協力事業所の増加に努める。 認知症サポーター数 R5:9,732人 R6:9,920人 R7:9,943人(9月末現在) 新規見守りSOSネットワーク協力事業所登録 R7:0件(9月末現在) ※参考 R6:130件	高齢介護課

第3次ふるさと向日市創生計画 令和7年度 進捗見通し 一覧

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野4 障がい者福祉の充実

施策1 安心して暮らし続けられる共生社会の実現

基本方向

○障がいの有無にかかわらず、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる施策の充実に努めます。

取組及び目標	令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
相談支援体制の強化 …<u>計画相談支援事業所数</u> 【R5:5か所 → R11:6か所】	令和7年9月現在、4か所である。 今後において、計画相談支援事業所が増えるよう、事業所に対して働きかけを行う。	障がい者支援課
地域での生活を支援する福祉サービスの充実 …<u>就労継続支援事業所(A型・B型)の利用者数(延べ人数)</u> 【R5:2,364人 → R11:2,700人】	令和7年4～8月提供分就労継続支援事業所(A型・B型)の利用者数(延べ人数)929人 継続的な達成が必要であることから、地域での生活を支援する福祉サービスの充実にむけて、今後も利用者に対し適切なサービスの提供を行う。	障がい者支援課
手話言語条例の啓発・推進 …<u>医療・介護現場における手話の普及</u> 【R5:未実施 → R11:実施】	医療・介護現場における手話の普及をめざし、動画の配信などの検討を行っている。	障がい者支援課

第3次ふるさと向日市創生計画 令和7年度 進捗見通し 一覧

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野5 地域福祉の充実

施策1 福祉のまちづくりの推進

基本方向

○市民一人一人がご近所や地域で助け合い、支え合えるまちづくりを進めます。

取組及び目標	令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
地域共生社会実現サポート事業の推進 … <u>実施事業数</u> 【R5:3事業 → R11:15事業(R7～11累計)】	第3次ふるさと向日市創生計画からは、目標の指標を事業所数から事業数に変更したことに伴い、社会福祉法人に対して、複数事業での申請が可能であることを周知し、本事業の更なる推進を図る。 (高齢介護課、障がい者支援課、子育て支援課と連携を図る) ※参考 R7.9月末時点 申請3件	地域福祉課
地域の見守りネットワーク事業の推進 … <u>協定事業者数</u> 【R5:15か所 → 毎年度1か所新規協定締結】	見守りネットワーク事業の事業内容を周知することで未登録事業所に協力を依頼する。 新規協定事業者数 R7:0件(9月末現在) ※参考 R6:17事業者	高齢介護課

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり

施策分野6 学校教育の充実

施策1 豊かな学びの創造と確かな学力の育成

基本方向

○児童生徒が学ぶことの意義や楽しさを感じられる多様な学びの実現に努めるとともに、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行い、確かな学力をはぐくむ教育を推進します。

取組及び目標	令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善 …授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていた子どもの割合 【R5:小学6年生(国88%・算79%)、中学3年生(国76%・数72%・英96%) → R11:小学6年生(国・算)、中学3年生(国・数・英)各教科90%以上】	各学校の実態に応じて、「主体的・対話的で深い学び」に係る授業改善の視点に立ち、市研究指定校として研究テーマを掲げ、具体的な児童生徒の姿を定めるとともに、児童生徒に必要な資質・能力を身に付けさせるため、各単元や授業の目標を明確にした上で、授業改善に取り組んでいる。 各学校においては、発達段階に応じた話し合い活動(自らの考えを交流し、他者の意見を聞き、表現する等)を積極的に取り入れるとともに、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見出して解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりする学習の過程を重視した授業改善に努めている。 向日市立小中学校 研究発表及び公開授業の予定 向陽小(2/10) 2向小(11/18) 3向小(2/6) 4向小(11/7) 5向小(11/11) 6向小(1/30) 勝山中(1/23) 西ノ岡中(1/15) 寺戸中(1/28) 【授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていた子どもの割合(小6、中3)】 R7:小6(国:88.8% 算:91.2%)、中3(国:73.8% 数:78.5% 英:86.8%)	学校教育課
ICTを効果的に活用した授業の実施 …学習するときに、ICT端末を使うことで学習内容が理解しやすくなる子どもの割合 【R5:小学6年(76%)、中学3年生(82%) → R11:増加】	向日市GIGAスクールプロジェクトチーム会議において児童生徒に配付したタブレット端末の効果的な活用について授業実践をもとに交流し、互いに学んだ活用方法を各校の授業改善に取り入れた。また、導入したソフトウェアの授業活用研修会を各学校において開催し、教員のICT活用指導力の向上を図っている。 各学校では授業支援ソフトを活用し、児童生徒が相互の意見交流やグループ発表を行うなど、協働的な学習に積極的に活用される場面が増加している。 昨年度に引き続き、すべての学校が文部科学省の「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」の指定を受け、端末を活用してデジタル化された教科書を使用している。また、一部の小中学校では、京都府の「CBT調査システム構築・活用実証研究」の協力校として、端末を活用してCBT学力・学習状況調査を受検するなど、配付された端末を幅広く活用している。 加えて、端末を家庭に持ち帰り、各単元で身に付けた知識・技能の習得状況を個別に振り返るなど、家庭学習の充実に向けた活用にも取り組んでいる。 GIGAスクールプロジェクトチーム会議日程 第1回(5/13に開催 25名参加) 第2回(7/10に開催 30名参加) 第3回(11/13) 第4回(1/27) 【学習するときに、ICT端末を使うことで学習内容が理解しやすくなる子どもの割合(小6、中3)】 R7:小6(81.7%)、中3(81.1%)	学校教育課
小中の接続を重視した外国語教育の実施 …英語検定3級の取得割合 【R5:中学3年(38.5%) → R9:60%以上】	小学校では、3,4年生の外国語活動では外国語による聞くこと、話すことの言語活動、5,6年の外国語では、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力の育成を図っている。また、小学校の外国語教育の充実に向け、専科教員による授業を実施するとともに、引き続き全小中学校にALTを配置している。 令和5年度より、本市中学3年生を対象とした向日市中学生英語検定チャレンジ事業を実施し、一層英語への関心と学習意欲を高める機会としている。 中学生英語スピーチ大会については、令和6年度より英語で自らの思いや考えを伝えることから、さらに発展して、人との関わりの中で伝え合う力を高め合うことを重視した大会にリニューアルした 中学生英語検定チャレンジ事業:令和7年10月4日(土)永守重信市民会館 中学生英語スピーチ大会:令和7年11月12日(水)永守重信市民会館 【英語検定3級の取得割合(中3)】 R6:中3(51.2%)	学校教育課

第3次ふるさと向日市創生計画 令和7年度 進捗見通し 一覧

取組及び目標		令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
伝統や文化、芸術に関する教育の推進		各学校において、演劇や音楽鑑賞など芸術鑑賞等の活動を予定している。 日本の伝統文化に関わる音楽授業において琴の演奏などの体験活動を実施するとともに、総合的な学習の時間では、能などの伝統文化に触れる機会を設定している。 また、各学校の「ふるさと学習」では、校区の歴史及び向日市の歴史や伝統文化について探究する活動を予定している。	学校教育課
ふるさと向日市への愛着と誇りをはぐくむ「ふるさと学習」の充実 … <u>今住んでいる地域の自然や歴史について関心がある子どもの割合</u> 【R5: 小学6年(50.6%)、中学3年生(28.3%) → R11: 増加】		各学校では「ふるさと学習」として、史跡、施設(図書館や文化資料館等)の見学、市職員等を外部講師とした学習を進めている。また、6年生児童が向日市の史跡等について関係機関(文化財調査事務所、産業振興課、企画広報課など)と連携し、調査・研究を行い、その成果を伝える予定にしている。 また、各学校で取り組んだ「ふるさと学習」の学習成果物を文化資料館に展示することにより、児童生徒が向日市について学んでいる状況を市民に伝える予定である。 各中学校においては、総合的な学習の時間において「WEB版 向日市ふるさと検定」を受検する予定である。これをふるさと向日市への関心を一層高める機会としたい。 中学2年生を対象とした「職場体験活動」については、101の事業所に協力を得て、予定通り実施できた。 職場体験活動 勝山中学校: 9月3～5日 西ノ岡・寺戸中学校: 8月27～29日 【今住んでいる地域の自然や歴史について関心がある子どもの割合(小6、中3) R7: 小6(55.6%)、中3(34.3%)	学校教育課

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり		
施策分野6 学校教育の充実		
施策2 豊かな人間性の育成と多様性の尊重		
基本方向		
○一人一人の尊厳と人権が尊重され、個性の違いや多様性を認め合い、主体的に行動し、自らの能力を最大限に発揮することができる教育を推進します。		
○多様な考えや価値観に触れることを通じて、人を思いやり尊重する心を育てるとともに、自らの考えや思いを伝えながら感性や情緒、創造力や表現力をはぐくみます。		
○すべての児童生徒が安心して通うことができ、楽しく過ごすことができる学校づくりに取り組みます。		
取組及び目標	令和7年度進捗見通し・今後の予定	担当課
あらゆる人権問題の解決に向けて、自ら考え行動できる児童生徒の育成 …人が困っているときは進んで助けようとする子どもの割合【R5:小学6年生(86.3%)、中学3年生(82.8%) → R11:90%以上】	各学校では、児童生徒や地域の実態等を踏まえ、人権に配慮した教育活動に努めるなど、教育活動全体に人権教育を適切に位置付け、一人一人を大切にした教育を推進している。 児童生徒を対象とした人権学習においては、人権意識の高揚及び人権問題の解決に向けた資質・能力の育成に向け、普遍的な視点からのアプローチと、個別的な視点からのアプローチによる学習を充実させている。とりわけ、同和問題学習では、学習したことが知的理解にとどまることなく、自分自身の課題としてとらえ、その解決に向けて実践できる意識・意欲・態度を育成する学習を実施している。 また、令和3年度に実施した「向日市立小中学校教職員の人権教育に関する意識調査結果」を踏まえ、経験10年以上ぐらいの中堅教員を中心に、教職員研修を実施した。差別の当事者による講話を実施し、教職員の人権意識の高揚及び人権教育の充実を図っている。 さらに、各学校において同和問題(部落差別)に係る知識の習得や自分事として考えることに重きを置いた校内研修会を実施することにより課題の解消に努めている。 向日市教職員研修会:令和7年8月18日(月) 【人が困っているときは進んで助けようとする子どもの割合(小6、中3)】 R7:小6(85%)、中3(79.3%)	学校教育課
道徳教育の推進、体験活動や読書活動の充実 …人の気持ちが分かる人間になりたいと思う子どもの割合【R5:小学6年生(96.5%)、中学3年生(97.5%) → R11:増加】	各学校では「特別の教科 道徳」の授業を核とし、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、指導方法及び学習評価の工夫改善を行っている。 また、児童生徒に豊かな人間性や社会性を身に付けさせるため、読書活動を充実させるとともに公共の精神や伝統・文化に関する体験活動を通して、社会の一員として主体的に生きるための基本となる豊かな人間性を育む道徳教育を推進している。 地域探検や動植物の観察などの体験活動に加え、地域の人材等を活用し、農作物の栽培や収穫、昔遊び体験などの体験活動を各校で実施方法を工夫して行っている。 また、修学旅行等の宿泊行事を実施し、豊かな自然や文化に触れる体験を通して人間的な触れ合いを深めている。 「特別の教科 道徳」実践交流会(令和8年2月に予定) 【人の気持ちが分かる人間になりたいと思う子どもの割合(小6、中3)】 R7:小6(97.3%)、中3(96.3%)	学校教育課
読書活動を通じた創造力・表現力等の育成 …読書が好きな子どもの割合【R5:小学6年生(70.9%)、中学3年生(66.5%) → R11:80%以上】	各学校では、朝読書など全校で一斉に読書をする機会を設定するとともに、学校図書館支援員を活用して図書室の環境整備や読み聞かせ、授業に関わる関連本を紹介するなど、児童生徒の創造力や表現力を高める取組を進めている。 【読書が好きな子どもの割合(小6、中3)】 R7:小6(71%)、中3(55%)	学校教育課
障がいのある子どもの自立や社会参加を目指した特別支援教育の充実	特別支援学級在籍の児童生徒の支援はもとより、通常の学級に在籍し支援が必要な児童生徒に対して、各学校の特別支援教育コーディネーターを核として個別の指導計画を立て、支援員を活用した支援や通級指導などを実施し、すべての児童生徒を大切にしたい特別支援教育の充実に努めている。 また、切れ目ない支援の充実のため、就学前と小学校、小学校と中学校、中学校と高等学校の校種間等で、移行支援シート(発達の状況等の記録)の活用を推進している。	学校教育課

第3次ふるさと向日市創生計画 令和7年度 進捗見通し 一覧

取組及び目標	令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
授業のユニバーサルデザイン化など一人一人を大切にした指導の充実	各学校では、すべての児童生徒にとってわかりやすい授業、過ごしやすい学級となるよう、教室環境が整理整頓されていることはもとより、児童生徒が生活の見通しを持ちやすい視覚支援等の工夫に努めている。 また、多様な視点からアセスメントを行い、各教科等の授業の場面においては、教員のタブレット端末を効果的に活用し課題を提示したり、児童生徒の学習状況をタイムリーに把握したりするなど、明確な指示の出し方や個別支援を確立するとともに、一人一人の学習の状況に応じた学習支援に努めている。	学校教育課
いじめや暴力行為の防止対策の充実	各学校は、向日市いじめ防止基本方針及び各学校のいじめ防止基本方針を踏まえ、いじめの未然防止やいじめへの対応、重大事態への対応等について共通理解を図るとともに、特定の教職員が、いじめに係る情報を抱え込むことのないよう組織的な対応に努めている。校長、教頭、教務主任、生徒指導主任、学年主任、養護教諭等で構成したいじめ対策防止委員会を定期的に開催し、校内での情報共有を行うとともに、児童生徒及び保護者への対応方針等を検討している。 また、年2回のいじめアンケート及び個別面談を実施し、児童生徒一人一人の状況を把握するとともに、いじめと認知した事象について3か月後に追跡調査を行うなど、きめ細かな指導・支援に努めている。 年度当初には、問題事象への対応方針についても全教職員で共通理解を図るとともに、とりわけ暴力行為に対しては、決して許されない行為であり、指導に当たっては家庭と連携し、毅然とした対応を行っている。 R7 重大ないじめ発生件数 0件 ※9月末現在	学校教育課
教育支援センターを中心とした不登校の子どもへのきめ細やかな支援の充実	各学校では、不登校の未然防止、早期対応を図るため、保護者と連携し、児童生徒一人一人の状況を把握し、指導・支援に努めている。また、不登校の状況に応じて、ひまわり広場やフリースクール等の関係機関と連携し、児童生徒の学びの機会の保障に努めている。加えて、児童生徒一人一人の状況に応じた支援を充実させるため、SCやSSW等の専門家を活用し、学校として組織的な支援を継続している。 教育委員会では、ひまわり広場を開所し、学びの保障に努めている。また、各学校に対しては、心の相談サポーターを配置し、不登校の未然防止に努めている。さらに、SCやSSW等の専門家を、不登校早期対応チームとし、各学校への巡回相談の回数を拡充し、学校の不登校対応の充実を図っている。 さらに、京都府教育委員会の指定を受け、勝山中学校区の1中学校2小学校で校内支援センターを設置し、児童生徒の教室復帰や自立に向け、小中連携のもと、アセスメントに基づいた支援の充実に取り組んでいる。	学校教育課
幼保小、小中等の校種間連携・接続の充実	幼保小の円滑な接続を図るため、小学校教員と保育所や幼稚園の保育士や教員との連絡会を実施し、幼児と児童に係る情報交流を行っている。 小学校の児童と近隣の保育所・幼稚園の幼児との交流については、遊びや学校行事、学習等での交流を行う予定である。 また、中学校ブロックごとに児童生徒の学習状況についての情報交換や、授業などの指導方法の改善についての研修会を実施する予定である。	学校教育課

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり		
施策分野6 学校教育の充実		
施策3 健やかな身体の育成		
基本方向		
○「スポーツごころ」をはぐくむ教育の推進を図ります。		
○学校・家庭・地域が一体となって健康的な生活習慣を確立する教育を推進します。		
取組及び目標	令和7年度進捗見通し・今後の予定	担当課
スポーツの機会の充実 …運動やスポーツをすることが「好き・やや好き」と思う子どもの割合 【R11:90%以上 (参考:京都府 小学5年生 男(92.5%)女(84.4%)、中学2年生 男(88.8%)女(73.7%))】	各学校では、これまでの新体力テスト等の結果を踏まえ、体育の授業を核として児童生徒の体力・運動能力の向上の取組を進めてきた。具体的には、小学校では休み時間等の外遊びの奨励、中学校では部活動で基礎的な体力トレーニングを実施するとともに、体育大会等を通じて、運動に親しみ、体力の向上に積極的に取り組んできた。また、各学校では、体育の授業において健康や体力づくりについての基礎的な知識を学ぶ学習を行っている。 令和7年度以降は、体力向上の取組に加え、運動やスポーツをすることに対する関心や意欲を高めるために、スポーツの機会の充実を図っている。 また、「薬物乱用防止教室」等、健康で生きがいのある生活を営むため、身近に迫っている状況を踏まえた学習を行うとともに、健康的な生活について保健だより等で家庭へ啓発し、生活習慣の見直しの取組を連携するなど、児童生徒の健やかな身体の育成を図る取組を進めている。 【運動やスポーツをすることが「好き・やや好き」と思う子どもの割合】 R7:小6(88%) 中3(88%)	学校教育課
食に関する授業の充実等による食育の推進	小学校では、日々の給食指導や給食週間の取組、給食委員会の活動等を通して、食に対する正しい知識や食事のマナーの向上を図り、食育の推進を行う。 また、中学校では、家庭科の授業を通じた指導に加えて、給食の時間においては、各学級担任や給食センターの栄養教諭・栄養士が献立を通じた食育を行う。 また、給食を身近に感じ、食への興味関心を持ってもらえるように、今年度も「中学校給食献立コンクール」を実施している。(9月1日応募締切)	学校教育課

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり				
施策分野6 学校教育の充実				
施策4 学びを支える安心・安全な教育環境の充実				
基本方向				
○自然災害や事故などの多様な危機から子どもを守り、いかなる事態においても子どもたちの学びを止めない危機管理体制を整備します。				
○すべての子どもが将来に希望をもって成長していけるように、学びと生活の支援が充実した居場所としての学校づくりに取り組みます。				
○強い使命感と高い専門性を持つ教員の育成を図り、児童生徒が明るくいいきと学ぶ魅力ある学校づくりを目指します。				
○子どもの豊かな成長を支える教職員の資質能力の向上を図ります。				
取組及び目標		令和7年度進捗見通し及び今後の予定		担当課
学校危機管理・安全対策の充実		学校では、児童生徒一人一人の状況について日常的に把握するとともに、いじめや暴力のない学校・学級づくりに努めている。また、避難訓練や交通安全教室、とりわけ自転車の安全な乗り方など、安全教育の取組を充実させることにより、安心・安全な生活を送ることができる児童生徒の育成に努めている。		学校教育課
第2向陽小学校を始めとする改修		向日市小中学校個別計画に基づき、第2向陽小学校の改築に向けて基本計画・基本設計を行い、実施設計に着手する。		文教課
バリアフリー改修の推進 …全小中学校のバリアフリースロープによる段差解消の改修等 【R7:完了】		スロープによる段差解消を進め、子供たちの安全・安心な教育環境の充実を図る。		公共建物整備課
				文教課
				公共建物整備課

第3次ふるさと向日市創生計画 令和7年度 進捗見通し 一覧

取組及び目標		令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
教職員の資質能力の向上に向けた、多様な教職員研修の充実		教職員の資質能力の向上を目的とした向日市教職員研修会を実施する予定である。 キャリアに応じた講座を設定し、今年度は、管理職、生徒指導主任、教育相談主任、養護教諭、学年主任を対象にした「学力向上」、経験10年以上ぐらいの中堅教職員を対象にした「人権学習」、経験1年目から10年未満ぐらいの若手教員を対象にした「生徒指導」としている。各学校においては、学校ごとに設定した重点研究テーマに沿った校内研修の実施に加え、特別支援教育、教育相談、人権教育などの研修を実施している。 また、各学校の学力向上等に係る課題克服のため、京都府教育委員会から研究指定を受け実践研究を進めるとともに、大学教授等の専門家を講師として招いた校内研修を行うなど、各学校の児童生徒の実態や教員の状況に応じた研究等により学校の教育力を高めている。 向日市教職員研修会(8/18)	学校教育課
		教育の質の向上と子どもたちの豊かな成長を目指す教職員の働き方改革の推進 …市立学校教職員における1か月の時間外在校時間45時間以内の割合 【R5:小学校(57.4%)、中学校(45.2%) → R11:100%】	学校教育課

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり		
施策分野6 学校教育の充実		
施策5 学校・家庭・地域の連携・協働による学校の教育力の向上		
基本方向		
○保護者や地域社会と連携・協働しながら、未来の創り手となる子どもの資質能力をはぐくむ「社会に開かれた教育課程」の実現を目指します。		
○次代の社会の担い手としての責任を自覚し、現代社会が抱える課題に関心をもって、主体的に社会参画できる資質と能力をはぐくみます。		
取組及び目標	令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
環境や情報などに係る現代的課題に対する関心や理解を深める教育の充実 … <u>調べたいことについて納得するまで調べる子どもの割合</u> 【R5:小学6年(69%)、中学3年生(77%) → R11:80%以上】	各学校では、社会科や理科の授業及び総合的な学習の時間において、日常生活や社会と関連付けながら、自然環境を保全することの大切さを指導するとともに、持続可能な社会の構築(SDGs)等について考察する学習を通して、解決に向け一人一人の工夫が大切であることを指導している。また、市立図書館と連携したり、環境やSDGsに関する書籍の蔵書数を増やし、学習が充実するよう環境整備に努めている。 また、3つの小学校において、市役所及び市民会館の見学を通してゼロカーボンシティ宣言を踏まえた本市の取組について学習した。 なお、配付したタブレット端末を教科等の学習場面で活用しており、とりわけ情報ネットワーク等を活用する際には情報モラルについて指導するとともに、特別活動の時間において、スマホや携帯電話を使用する際に潜む危険を理解する指導や、トラブルを未然に防止する手段について指導している。 情報モラル教育については、企業による出前授業を実施する予定の学校もある。 市役所及び市民会館の見学実績 向陽小学校、第2向陽小学校、第3向陽小学校 ※3年生 【調べたいことについて納得するまで調べる子どもの割合(小6、中3) R7:小6(71.6%)、中3(77.5%)	学校教育課
コミュニティ・スクールの推進 …「 <u>学校と地域が情報を共有し、地域が学校に協力的になった</u> 」と思う学校運営協議会委員の割合 【R11:70%以上】	昨年度末のアンケートで「学校と地域が情報を共有し、地域が学校に協力的になった」と答えた委員の割合は、50.7%であったが、概ね年3回程度開催している学校運営協議会以外にも、学校運営協議会委員の方々には、授業参観や学校行事への参観など様々な機会に参加いただいております、より情報共有ができる状況となっている。 各学校の学校運営協議会では、それぞれの学校や校区に応じた取組を熟議のテーマとしており、今後具体的な取組が検討される。 参考 【「学校と地域が情報を共有し、地域が学校に協力的になった」、「どちらかと言えばなった」と思う学校運営協議会委員の割合】 R6:「協力的になった」50.7%、「どちらかと言えばなった」45.1% 計95.8%	学校教育課

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり			
施策分野7 生涯学習の推進			
施策1 生涯学習環境の充実			
基本方向			
○市民が生涯にわたり、多様な学習活動を行うことができるよう、自主的、自発的な学習活動を支援するとともに、学習機会の提供、学習の成果を活かす場や機会の充実に努めます。			
取組及び目標		令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
ふるさと向日市の歴史を活かした講座等多様な学習機会の提供 …特別展又は企画展、文化講演会、歴史講座、日曜談話会の開催【毎年度各1回以上】		○企画展「くらしのなかの戦争」を令和7年7月19日(土)～8月31日(日)に開催【観覧者数1,725人】 ○文化講演会を実施予定(日程、演題は未定) ○歴史講座「向日市・乙訓の漢文石碑を読もう」を全2回の連続講座形式(1回のみ参加可)で実施済み ①令和7年5月18日(日)【参加者数41人】②令和7年5月25日(日)【参加者数39人】 ○日曜談話会「石碑にまつわる古文書を読もう」を令和7年6月15日(日)に実施済み【参加者数27人】 ○企画展「くらしのなかの戦争」関連事業として、日曜談話会「展示解説と戦争紙芝居上演」を令和7年8月17日(日)に実施済み【参加者数29人】	文化資料館
社会教育施設の特徴を活かした学習機会と学習成果を活かした活動の場の充実 …本を介した学習機会の提供及び読書推進に向けた活動の場の拡充 …夏休み親子歴史教室など次世代向けの体験事業やむこうまち歴史サークルへの活動支援を通じた、学習機会と活動の場の提供 …市民の教養の向上、生活文化の振興に寄与するため、講座や市民文化展、学習発表会の開催		図書や雑誌などの資料購入に加え、LINE図書館案内システム、公式HP、広報や新聞などをとおして、継続的でタイムリーな情報提供を行い、あらゆる年代の方に対し、学習機会の充実に図る。 電子書籍サービスのコンテンツ数充実により、いつでもどこでも利用できる学習機会の提供を図る。 講座の実施などにより、ボランティア団体を支援し、おはなし会、本の修理、朗読会、ビブリオバトルの活動を通じて、それぞれの学びの成果を活かせるように図る。 ○英文学者・書誌学者で和紙研究者でもあった寿岳文章の業績や居宅・向日庵について学習するとともに、本格的な紙漉き、和紙うちわ作りなどを通じて地域の歴史と和紙文化を学ぶ「夏休み親子歴史教室」を令和7年7月23日(水)～25日(金)に開催した。少しでも多く参加していただくため、午前・午後の入れ替え制とし、定員を前年度の16人から32人に大幅に拡大した。【参加者数28人】 ○文化資料館を拠点として活動している自主学習グループ「むこうまち歴史サークル」への活動場所や学習資料の提供、古文書解読の助言などの支援を引き続き行っている。同サークルの4つの班のうち、石造物班は令和7年度は活動を休止することになったが、歴史学習班、史跡めぐり班、古文書班は意欲的に活動を継続している。	図書館 文化資料館
		市民の多様な学習活動を支援するとともに、学習機会の提供及び学習の成果を活かす場や機会の充実に努める。 (R7予定) 市民文化展、市民教養講座 4回、市民健康講座 2回、市民文化講座1回、子どもふれあい講座 6回 地区公民館学習発表会、地区公民館趣味・教養講座 11回、地区公民館学習発表会「展示の部」・「舞台の部」	中央公民館
寺戸公民館の整備		社会教育施設として地域住民の集いや学習活動、文化活動の拠点として機能を拡充するとともに、エレベーターを設置するなどバリアフリー化を図り、市民交流を活発化し、ふるさと向日市に対する愛着と誇りを高めるため、新たに寺戸公民館を整備する。 所在地 向日市寺戸町飛龍11-13 用地面積 687.82㎡ 構造 鉄骨2階建 概要 会議室6室、カフェスペース、授乳室、エレベーター設置 太陽光発電利用	生涯学習課 中央公民館

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり		
施策分野7 生涯学習の推進		
施策2 家庭・地域社会の教育力の向上		
基本方向		
○家庭教育はすべての教育の出発点であり、その担い手である保護者自身が学ぶための学習機会の充実に努めます。		
○学校・家庭・地域社会が連携して、様々な活動を通して地域の絆を強め、地域全体で子どもたちをはぐくむ環境づくりを推進します。		
取組及び目標	令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
家庭教育講座の実施等、就学前からの子どもの発達に応じた家庭教育に関する学習機会の提供	家庭教育講座は、家庭での教育力向上を目指して青少年健全育成連絡協議会との共催で主に子育て世代を対象として実施してきたが、令和7年度から、学習機会の充実と参加者を効果的に増やすことができるよう事業を見直し、子ども家庭課の「前向き子育て講座」と連携して実施している。	生涯学習課
地域学校協働活動の推進等、地域社会の教育力の向上	学校を核として地域住民等の参画や地域の特色を生かし、家庭や地域社会との連携を図りながら、地域学校協働活動の充実に向け協議を行う。	生涯学習課

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり		
施策分野7 生涯学習の推進		
施策3 市民文化の振興		
基本方向		
○市民の自主的な芸術や文化活動に対する支援を行うとともに、文化事業の充実を図る等、優れた芸術文化に触れる機会の提供に努めます。		
○本市の多様な歴史を活かした文化芸術資源を掘り起こし、新たな魅力を創出します。		
取組及び目標	令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
市民会館を活用した文化芸術の振興 …市民会館来館者数 【R5:38,473人 → R11:45,000人】	自主事業として、8月と3月に「ピアノリレーコンサート」、11月に「市民音楽祭」、「市民ふるさとステージ」、3月に「ピアノコンサート」を開催するとともに、2月には乙訓芸術文化祭実行委員会主催の「乙訓芸術文化祭日本舞踊への招待」を開催する予定である。また、1月には、京都府との共催で乳幼児を持つ親子を対象とした「0才からのクラシック」を開催を予定しており、普段はあまり利用のない年齢層へのイベントを実施することにより来館者数の増加を図る。 市民会館来館者数 R5:38,473人、R6:37,166人、R7(9月末現在):4,998人 ※参考 市民会館利用回数 R5:1,482回、R6:1,946回、R7(9月末現在):215回	文化推進課
歴史資源の活用と文化資料館利用者の利便性の向上 …収蔵資料等データベースでの資料公開件数 【R5:3,352件 → R11:3,500件】	○令和4年度特別展「向日市教育150年記念学校展－教育のあゆみと学校－」に合わせて制作した映像番組8本をデータベースに追加し、公開した。収蔵品管理システムの付属アプリ「ポケット学芸員」でも公開し、同アプリをダウンロードしたスマートフォンやタブレットでの視聴も可能となった。 ○年間を通じて多数の事業を実施している中、データベースのメンテナンスに専従する職員を配置することはできないが、未登録の収蔵資料を順次整理し、追加登録・公開を進めている。 資料公開件数 令和6年度末:3,373件 令和7年10月7日現在:3,419件	文化資料館
京都アリーナ(仮称)を活用した文化芸術の振興の検討	アリーナを活用した文化芸術の振興について検討するための情報収集に努める。	文化推進課

施策の柱Ⅱ 人と暮らしに明るくやさしいまちづくり		
施策分野8 生涯スポーツの振興		
施策1 スポーツ活動の推進		
基本方向		
○スポーツを「する」「みる」「ささえる」を通じたスポーツ人口の拡大を目指し、市民が健康で心豊かに暮らせるよう、市民一人一人のライフステージに応じたスポーツ活動の推進とスポーツに親しめる環境の充実に努めます。		
取組及び目標	令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
公益財団法人向日市スポーツ文化協会等との連携によるライフステージに応じたスポーツ活動の推進	公益財団法人向日市スポーツ文化協会等との連携を図り、各種事業を実施するとともに、フレンドシップ協定を活用していくなど、引き続き各種団体と連携したスポーツ活動の推進を図る。	生涯学習課
防災拠点としての機能を備えた多目的グラウンドの整備検討	まとまった用地の確保やナイター設備に係る周辺農地への影響、財源確保など多岐にわたる課題について、関係部局と協議・検討を行う。	生涯学習課
京都アリーナ(仮称)を活用したスポーツ活動の促進の検討	アリーナを活用したスポーツ活動の促進が図られるよう、施設の整備状況等を見ながら、情報収集を行う。	生涯学習課
成人がスポーツを実施する機会の充実 … <u>成人の週1回以上のスポーツ実施率</u> 【R6:50.1% → R12:65%程度】	引き続き、公益財団法人向日市スポーツ文化協会と連携し、体育館のスポーツ教室と健康増進センターのスタジオプログラムの実施等により、成人がスポーツをする機会の提供を図ることで、成人の週1回以上のスポーツ実施率65%を目指す。	生涯学習課
市民温水プールの再整備	市民温水プールの再整備に向けて、必要な事項を関係部局と協議・検討を行い、基本設計及び実施設計に取り組む。	生涯学習課

施策の柱Ⅲ 信頼と協働で市民の声が届くまちづくり		
施策分野1 市民協働の推進		
施策1 市民のまちづくり参加の仕組みの構築		
基本方向		
○まちづくりの取組及び事業計画の企画・立案段階から市民の意見や意向を把握し、参画できる仕組みを構築します。		
取組及び目標	令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
地域コミュニティの活性化 … <u>関係補助金の利用件数</u> 【向日市ががんばる地域応援事業補助金 R5:0件 → R11:10件】	令和6年度には、補助金利用件数が前年度の0件から4件へと増加した。これは、広報誌やHP等による関係自治会への情報提供の強化や申請手続等に関する相談対応、区長会での補助制度の周知活動等によるものと考えられる。 令和7年度の申請件数は現時点で2件だが、今後は未申請の区への働きかけを強化し、特定の地域に偏ることなく均等な支援を行うことができるよう努め、自治会活動が維持継続できるよう必要な支援を行い、地域住民の自治意識の高揚及び自治会活動の促進を支援する。	総務課
市民の主体的なまちづくり活動への支援 … <u>交流・連携を主とした情報交換を行う団体数</u> 【R5:20団体 → R11:40団体】	令和7年度についても、引き続き市民の主体的なまちづくり活動を支える環境づくりを支援する。 【ネットワークづくりの支援】 かけはし交流会の開催(年1回) 【知識・スキルの支援】 かけはし講座の開催(年1回) 【情報提供による支援】 京都府の地域交響プロジェクト等、まちづくり活動支援につながる情報の提供	広聴協働課
市民交流の場としての京都アリーナ(仮称)の活用を検討	現在、アリーナの整備や運営について、詳細な情報を持ち合わせていないため、検討をするに至っていないが、今後京都府や運営事業者から具体的な情報が判明した際には、本市として、市民交流の場としての活用ができるか検討を行っていく。	広聴協働課

第3次ふるさと向日市創生計画 令和7年度 進捗見通し 一覧

施策の柱Ⅲ 信頼と協働で市民の声が届くまちづくり		
施策分野1 市民協働の推進		
施策2 市民交流の推進		
基本方向		
○友好交流を通じた「ふるさと向日市」の再発見につなげる事業を展開するとともに、市民が市民交流に意欲を持ち市民同士が自ら交流事業を行えるまちを目指します。		
取組及び目標	令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
幅広い分野における都市間交流の推進	引き続き、竹結びフェスタの事業者選定や当日のスタッフとして携わり、京都市と共にイベントを盛り上げていけるよう取り組む。	秘書課
国際交流を通じた異文化理解の推進	向日市・杭州市友好交流40周年の記念事業として、大阪関西万博の中国パビリオンにおいて、向日市と杭州市が対面し、記念品の交換や交流会を実施した。	秘書課

施策の柱Ⅲ 信頼と協働で市民の声が届くまちづくり		
施策分野2 人権・平和・男女共同参画の推進		
施策1 互いの人権を認め合うまちづくり		
基本方向		
○市民一人一人がお互いの人権を尊重し合い共に生きることができるよう、人権について、学び、考え、実践していくことにより、人権という普遍的文化の構築を目指して人権教育・啓発事業に取り組むとともに、世界平和都市宣言の理念の実現に向け、平和施策を推進します。		
取組及び目標	令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
「向日市人権教育・啓発推進計画」の推進	引き続き「平和と人権のつどい」の開催や、人権問題の解決に向けた啓発展示を実施し、市民の人権意識の高揚に努めるとともに、より多くの世代に人権意識が浸透するよう、内容や表現方法の工夫を行う。	広聴協働課
	第2次向日市人権教育・啓発推進計画」に基づきだれもが生涯のあらゆる機会を通じて人権について学び、人権尊重を日常生活の人間関係の中で習慣として身につけ実践することができるよう、人権に関する多様な学習の機会の提供を図る。	生涯学習課
京都府や近隣市町村と連携した人権教育・啓発の推進	京都府や近隣市町村と引き続き連携し、共通課題への対応や広域的な人権啓発の推進を図る。	広聴協働課
平和行動計画に基づいた事業の展開	第9期向日市平和行動計画では、第8期計画で実施してきた事業を継承するとともに、被爆80年の節目を迎えることから、平和の発信について取組を深める。 【継続】 ・広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式への市民代表派遣 ・平和と人権のつどい ・平和書道展 ・平和学習DVDの貸出し ・向日市バーチャル平和資料館のコンテンツの充実 ・広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式参加者感想文集の作成 【新規】 ・被爆樹木の苗木植樹	広聴協働課

施策の柱Ⅲ 信頼と協働で市民の声が届くまちづくり		
施策分野2 人権・平和・男女共同参画の推進		
施策2 男女共同参画社会の実現		
基本方向		
○すべての市民一人一人の人権が尊重され、あらゆる場において性別にかかわらず性の多様性を尊重し、誰もがいきいきと暮らし活躍することができる男女共同参画社会の実現を目指します。		
取組及び目標	令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
女性活躍推進事業の充実 … <u>女性活躍センター利用者数</u> 【R5:5,453人 → R11:6,500人】	引き続き、向日市女性活躍センターあすもあを拠点に、女性の学びや交流、チャレンジの場を提供し、自分らしく活躍できる環境づくりを推進するとともに、若年層や子育て世代にも届くよう、啓発の内容や手法の工夫を行う。 【参考】女性活躍センター利用者数 R5:5,453人 → R6:5,772人	広聴協働課
ワーク・ライフ・バランスの普及・推進 … <u>男性が育児や介護で休みをとったほうがよいと思う市民の割合</u> 【R6:84.8% → R11:90%以上】	引き続き、市民が自分らしい働き方と暮らし方ができるよう、ワーク・ライフ・バランスの重要性に関する普及啓発の推進に取り組む。また、高齢者層には性別による固定的役割分担意識が根強く残っているなど、各世代の特性に応じた啓発が必要であることから、その内容や手法を工夫し、さらなる意識の醸成と啓発の推進を図る。	広聴協働課
性の多様性に関する正しい知識の普及啓発 … <u>LGBTQ、性的少数者の認知度</u> 【R6:60.9% → R11:80%以上】	引き続き、性の多様性に関する正しい知識の普及啓発に取り組む。また、男女共同参画週間などの機会を活用し、あらゆる世代の理解が深まるよう、講演や学びの場を継続的に提供していく。	広聴協働課

施策の柱Ⅲ 信頼と協働で市民の声が届くまちづくり		
施策分野3 自治体DXの推進		
施策1 デジタル行政の推進による効率的な行財政運営		
基本方向		
○行政のデジタル化を推進し、市民の利便性向上や業務の効率化を図ります。		
○将来に渡って安定した行政サービスを行えるよう、変化する社会情勢や多様な市民ニーズに対応できる効果的・効率的な行財政運営を進めます。		
取組及び目標	令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
行かない窓口（オンライン申請）の推進 … <u>オンライン申請件数</u> 【R5：3,782件 → R11：10,000件】 （内ぴったりサービスによる申請 R6：100件→R8：3,000件） … <u>オンラインで実施できる申請 手続の件数</u> 【R5：25件 → R11：100件】 （内ぴったりサービスによる手 続件数 R6：5件 → R8：20件） … <u>オンライン申請利用者の満 足度</u> 【R5 → R11：4.0（5段階評価）】	行政手続きに係る市民の利便性向上を目指し、オンライン申請の拡充に取り組んだ。利便性や事務効率の観点から効果が高いと見込まれる手続きを選定し、各課と調整しながら手続きのオンライン化を進めた。また、各課から要望があった手続きについても順次オンライン化を行った。これにより、オンラインで申請できる手続き、申請件数ともに増加した。 【令和6年度】 ・オンライン申請件数：6,594件（内ぴったりサービスによる件数：82件（標準様式20件、独自様式62件）） ・オンライン手続件数：57件（内ぴったりサービスによる手続件数：38件（標準様式22件、独自様式16件）） ・利用者満足度：3.9 【令和7年度（9月末まで）】 ・オンライン申請件数：3,001件（内ぴったりサービスによる件数：283件（標準様式49件、独自様式234件）） ・オンライン手続件数：65件（内ぴったりサービスによる手続件数：44件（標準様式22件、独自様式22件））	デジタル戦略課
書かない窓口の推進 … <u>窓口タブレットソリューション の利用回数</u> 【R5：0件 → R11：7,000件】 （内ぴったりサービスを活用した 窓口タブレットの利用回数 R6：500件→R8：4,000件） … <u>窓口タブレットソリューション 利用者の満足度</u> 【R5：→ R11：4.0（5段階評価）】	「書かない窓口」の実現による市民の利便性向上に加え、オンライン申請と窓口申請のシステムをぴったりサービスに統一することで、受付後の事務の効率化を図ることを目的として、昨年度末に窓口タブレットを導入し、今年度より本格運用に向けた取組を開始した。現在は一部の手続を対象に活用しており、拡大を検討していく。 【令和6年度】 ・窓口タブレット利用回数：19回 ・利用者満足度：3.5 【令和7年度（9月末まで）】 ・窓口タブレット利用回数：50回	デジタル戦略課

第3次ふるさと向日市創生計画 令和7年度 進捗見通し 一覧

取組及び目標		令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
電子書籍サービス「どこでも図書館」の利用促進 …「どこでも図書館」コンテンツ数 【R5:0件 → R11:3,000件】 …「どこでも図書館」閲覧数 【R5:0件 → R11:70,000件】 …「どこでも図書館」貸出数 【R5:0件 → R11:15,000件】 …「どこでも図書館」利用満足度 【R5 — →R11:75%】		電子書籍コンテンツを一層充実させるとともに、市立小・中学校が児童・生徒に貸与するタブレットから、気軽に電子書籍サービスを利用できる環境を整備する。 「どこでも図書館」コンテンツ数【R5:0件→R6:1,011件→R7目標:2,000件】 「どこでも図書館」閲覧数【R5:0件→R6:3,960件→ R7目標:56,000件】 「どこでも図書館」貸出数【R5:0件→R6:813件 R7目標:12,000件】 「どこでも図書館」利用満足度【R5 — →R6:73%→R7目標:74%】	図書館
公金納付の利便性向上 … <u>国民健康保険料等のeLTAXを活用した公金収納のデジタル化の実施</u> 【R8:実施】		eLTAXを利用するために必要な調査研究や庁内協議を行うとともに、地方税共同機構に対する利用申請手続きを行った。	会計課
健全財政の維持		引き続き、安定した行政サービスの提供が行えるよう中長期的な視点に立った財政運営に努めていく。	財政課

施策の柱Ⅲ 信頼と協働で市民の声が届くまちづくり		
施策分野4 情報発信の充実		
施策1 まちの魅力の発信		
基本方向		
○ふるさと向日市に対する理解と愛着を深められるよう、まちの魅力を様々なツールを有効に活用し、発信します。		
取組及び目標	令和7年度進捗見通し及び今後の予定	担当課
誰もがわかりやすく、利用しやすいホームページの作成や広報誌の充実	市ホームページについて、引き続き市民の方々にとって見やすいホームページとなるよう、各種サブサイトの充実を図り、掲載する情報についても精査しながら運用していく。 また、広報誌においても、これまでと同様、写真を大きく使用した視覚的に訴える誌面作りを心がけ、誰にでも伝わる文章となるよう記事の精査を行っていく。	企画広報課
SNS（LINE公式アカウント、Instagram）による情報発信力の強化 … <u>LINE公式アカウント、Instagramに対する満足度(アンケート結果)</u> 【LINE公式アカウント R6:3.04 → R11: 3.40、Instagram R6:2.92 → R11: 3.40】 … <u>本市に対する市民の定住意向の割合</u> 【R6:80.4% → R11:90%以上】	引き続き、即時性の高い情報発信ツールとして、迅速かつ積極的な情報発信を行っていく。 また、市公式LINEについては、令和7年度中に機能の拡張を予定しており、欲しい情報のみを受け取ることができる「セグメント配信」やデザイン性に優れたフレックスメッセージの配信のほか、「書かせない」「待たせない」「迷わせない」「行かせない」行政サービスの実現 に向けて、LINE上におけるオンライン予約システムの導入などユーザビリティの向上に努めていく。	企画広報課

令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金事業実績について

資料 6

- 本事業は、デジタル田園都市国家構想の実現による地方の社会課題解決・魅力向上の取組を加速化・深化する観点から、地方公共団体の意欲的な取組が支援されるものです。
- 本交付金を活用した事業の効果については、目標数値を設定し、その達成度合いを、各自治体における有識者委員会において検証することが求められているため、下記のとおり検証を実施します。

1、デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）

- ・地方創生に資する先駆的な取組を支援するもの。
- ・令和4年度から令和6年度にかけて、向日市が取り組む事業として採択され、事業を実施した。

事業名	事業概要	事業内容	事業実績額	目標/実績数値	評価
減塩を核とした健康で質の高い生活を志向するまちづくり	”減塩”をテーマとし、誰もが健康で自分らしい暮らしを続けられるよう、健康づくりと地域の活性化に資する事業を実施する。 既に事業採択を受けていた城陽市との地域間連携事業とし、幅広く減塩の取組を推進することで、山城地域における健康意識醸成の波及効果を高めていく。	【健康ポイント事業】 生涯にわたって健康的に過ごせるよう、定期的な運動や健康診査（検診）の受診等を推進するため、これらの活動を行った者に対し健康ポイントを付与し、一定のポイント以上集めたものの中から抽選で賞品を贈呈する。 減塩レシピコンテストで選定されたレシピを紹介し、減塩を意識した食事を取り入れることをポイント付与の対象と位置づけ、減塩に対する意識を高めることに繋げた。	約 106千円	①特定健診受診率 （向日市国民健康保険実施分） R6目標：55%（R5年法定報告） → R6実績：41.4%（R5年法定報告） ②特定保健指導実施率 （向日市国民健康保険実施分） R6目標：65%（R5年法定報告） → R6実績：78.9%（R5年法定報告） ③健康ポイント事業達成者数 R6目標：200人 → R6実績：107人 （上期：健康ポイント事業107名、 下期：健康ウォーキングアプリKENPOS 1,087名 計1,194名）	様々な機会を捉え、幅広い市民を対象として、特定健診等の受診、健康イベントへの参加や減塩を意識した食事を取り入れる等の生活習慣の改善に取り組んでいただくことにより、健康づくりの意識の醸成につながった。

2、デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ)

- ・デジタル技術を活用し、地方の活性化や行政・公的サービスの高度化・効率化を推進するため、デジタル実装に必要な経費などを支援するもの。
- ・令和6年度 向日市が取り組む事業として採択され、事業を実施した。

事業名	事業概要	事業内容	事業実績額	目標/実績数値	評価
向日市どこでも図書館事業	まちの魅力を高め、誰もが快適に暮らし続けられる地域づくりの一環として、向日市立図書館における電子書籍サービスを実施する。 行政サービスの利便性向上により、図書館利用者の満足度を高め、本市に「ずっと住み続けたい」という定住意欲の促進を図ることを主な目的とする。	【電子書籍サービス】 ・インターネット上の向日市専用クラウド型電子図書館「どこでも図書館」から、電子書籍の閲覧、貸出ができるサービスを開始。 ・本市に在住・在勤・在学の方であれば、PC・スマホ・タブレット上から、年中無休で24時間、いつでもどこでも利用可能とした。	約8,387千円	①「どこでも図書館」コンテンツ数 R6:1,000冊、R7:2,000冊、R8:2,500冊 → R6実績:1,011冊 ②「どこでも図書館」閲覧(ログイン)数 R6:9,500件、R7:56,000件、R8:62,700件 → R6実績:3,960件 ③「どこでも図書館」貸出数 R6:1,400冊、R7:12,000冊、R8:13,200冊 → R6実績:813冊(読み放題パック閲覧回数905回→合計1,718冊) ④「どこでも図書館」利用満足度 R6:60%、R7:65%、R8:75% → R6実績:73% ⑤本市に対する市民の定住意向の割合 R6:80%、R7:85%、R9:90% → R6実績:80.4%	「いつでも」「どこでも」利用できる電子書籍サービスを提供することにより、行政サービスの利便性が高まり、図書館利用者の満足度向上や定住意欲の促進につながった。一方で、サービスの認知度が不十分であると考えられることから、今後も継続的な周知・広報に取り組むとともに、魅力的なコンテンツの提供に努める。
「ぴったりサービス」を利用した行政手続きデジタル化事業	まちの魅力を高め、誰もが快適に暮らし続けられる地域づくりの一環として、「行かない・書かない窓口」サービスを実装する。 行政手続きにおけるオンライン申請の導入および窓口タブレットソリューションの活用により、市民の利便性向上を図り、市民の満足度を高めるとともに、本市に「ずっと住み続けたい」という定住意欲の促進につなげていく。	【オンライン申請サービス(行かない窓口)】 ・国が提供する電子申請システム「ぴったりサービス」を用い、行政手続きのオンライン化を進めた。 ・市民はPC・スマホ・タブレット上から、年中無休で24時間、いつでもどこでも利用可能とした。 ・手続きのために、市役所に出向く必要がなくなり、「書かずに」「待たずに」申請を行えるようにした。 【窓口タブレットソリューション(書かない窓口)】 ・ぴったりサービスと連携した窓口タブレットソリューションを導入し、書かない窓口を実施。 ・電子申請と窓口受付後の業務フローを統一化し、職員の事務効率化を図った。	約10,082千円	①ぴったりサービスによる申請件数 R6:100件、R7:1,000件、R8:3,000件 → R6実績:62件 ②ぴったりサービスによる申請手続きの件数 R6:5件、R7:10件、R8:20件 → R6実績:16件 ③窓口タブレットソリューションの利用回数 R6:500回、R7:2,000回、R8:4,000回 → R6実績:19回 ④オンライン申請利用者の満足度(5段階評価) R6:3.0、R7:3.5、R8:4.0 → R6実績:3.9ポイント ⑤本市に対する市民の定住意向の割合 R6:80%、R7:85%、R9:90% → R6実績:80.4% ⑥窓口タブレットソリューション利用者の満足度(5段階評価) R6:3.0、R7:3.5、R8:4.0 → R6実績:3.5ポイント	サービスの運用開始が令和6年度末となったことから、令和6年度の運用期間が短く、申請件数や利用回数が目標値を下回ることとなった。一方、利用者は、市役所に足を運ばなくともいつでも申請ができること等から、高い満足度につながったと思われる。 令和7年度以降は、引き続きオンライン申請や窓口タブレットソリューションの導入を検討していることから、広報等によりサービスの利用促進を図り、利便性向上に努める。

令和7年度新しい地方経済・生活環境創生交付金(地域防災緊急整備型)事業について

- 本事業は、避難所の生活環境を抜本的に改善するため、地方公共団体の先進的な防災の取組支援のため、国から交付金が交付されるものです。
- 令和7年度 向日市が取り組む事業として交付決定が得られており、事業を進めています。
- 本交付金を活用した事業については、目標数値を設定し、その達成度合いを各自治体における有識者委員会において検証することが求められており、次年度の委員会において、効果検証を実施します。

(新しい地方経済・生活環境創生交付金(地域防災緊急整備型))

事業名	事業概要	購入する資機材等	事業予定額	KPI	進捗・今後の予定
向日市防災 力強化事業	避難所の生活環境整備のため、プライバシーが確保されるパーティション等の購入、またそれらを備蓄するための備蓄倉庫を購入する。また、蓄電池の購入により、災害時の電力を確保する。資機材について、平時は、防災訓練や小中学校での出前授業で避難所を体験してもらう際に利用する。	・備蓄倉庫 ・パーティション ・炊き出し用テント ・簡易ベッド ・蓄電池	60,674千円	①備蓄倉庫の数 R7:10箇所、R8:10箇所、R9:10箇所 ②パーティションの保有数 R7:1,000張、R8:1,000張、R9:1,000張 ③交付金事業で購入した資機材の地域イベントでの活用 R7:10回、R8:15回、R9:20回 ④避難所開設時、パーティションテントや簡易ベッド等を設置できる人の割合 R7:50%、R8:80%、R9:100% ⑤資機材利用方法の認知度 R7:50%、R8:80%、R9:100%	避難所に設置する備蓄倉庫及び備蓄物資等の購入手続きを進めている。令和8年1月に実施予定の防災訓練にて活用予定。